

近世

1 法令 8点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1279	1		弘化2	1845	御高札之写 全一冊	京橋銀座4丁目 本屋又助		綴	「徳川様御代 御高札也」の記載
1122	1		嘉永6	1853	(御触書写)	等々力町村 役元		紙	一部破損
619	1		明治元カ	—	徳川様御制事掟之目安帳	信州安曇郡保高組 等々力町村 二木姓		縦帳	幕府の取決め事(議定)の収録帳 年号・年表付
1021	1		明治2・12	1869	御布令書写	二木氏控		縦帳	御一新による改正事項の記載
1335	1		明治2・12	1869	(天領御一新ニ付御布告書之写...)	戸部署		紙	折紙
1161	1		明治3・1	1870	御用向留書帳 (明治2年11月9日よりの御触書写し)	等々力町村 武左衛門控		横帳	明治維新関係
608	1		年代不詳	—	小笠原古見録 乾	保高組等々力町村 二木氏		縦帳	宛状、布達、禁制等を 書写した備忘録
609	1		年代不詳	—	小笠原古見録 坤	保高組等々力町村 二木氏		縦帳	No. 608と同綴 宛状、布達、禁制等を 書写した備忘録

3 幕政・藩政 21点 (1)差出帳等 1点 (2)御用金 6点 (3)郷夫等 2点 (4)その他 12点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
995	3	1	卯12月	—	(御触文の覚カ)		郡所	横帳	「馬喰町御用屋舗取扱御貸附金」の記載あり。
454	3	2	文政元・12・23	1818	乍恐奉願口上之覚 (賞詞頂戴に付光栄)	保高組等々力町村 願主 茂吉外1人	庄屋 白沢民衛門 外1人	紙	
1241	3	2	文政カ	—	保高組 (被褒賞者の町村名・氏名・褒賞内容等を書上)			紙	苗字・独御礼、一統御礼
827	3	2	文久3・5・26	1863	後永続金人別書上帳并増金共印 置候	等々力町村 庄屋 新四郎外2人	松平丹波守	横帳	「松平丹波守様御用金 仰付ラレ表書之通り増金 迄仰付ラレ候ニ付差上候 控書也」と裏に記載あり。
822	3	2	慶応元	1865	御永続金并御才覚金 村方割合 書上帳 (松本藩の長州征伐)	保高組等々力町村 堰役 彦兵衛		横帳	藩命による軍用金献納 の書上、人名・金額の 記載あり。
1250	3	2	慶応元・12	1865	安政三丙辰年十二月二十八日… (拝領品目録)	保高組等々力町村 与頭 道蔵外1人	等々力伝右衛門	紙	No. 1248と同綴 才覚金への報償の下賜 を記載
24	3	2	年代不詳	—	依恩借後納之事 (御用金借用之証)	信玄外3人	同郡百姓惣代八人者 江	紙	甲斐の国の文言あり (後年元龜3年の写カ)
915	3	3	嘉永7・1・8	1854	(異国船到来に関わる人馬備え の村方寄合)			横帳	当籤した名前の記載あり。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
18	3	3	安政3・10	1856	御公役様御宿諸色控	等々力村狐嶋村両村 出役 白金村 庄屋 望月喜代蔵 等々力村 長百姓 彦兵衛		横帳	家具什器類の書上げ、 大工関係、金銭の覚、 給仕、御巡見の節の役 割担当等
240	3	4	正徳3・5	1713	(殿様病気につき御祈祷)	土方縫殿助外1人	金井因幡	紙	水野忠直公カ 通知状 の控
204	3	4	享保	—	信州松本御城ニ而水野出羽守様 御家来録			縦帳	
594	3	4	享保カ	—	松平丹波守様御支配御山内御林 御預り名所			紙	
622	3	4	寛保3	1743	松本御城名細帳	保高組等々力町村 二木彦兵衛		縦帳	松本藩々士分限書上、 松本領内御朱印地書 上、松本藩御代々御法 号等各種資料
620	3	4	文化14	1817	信州松本松平丹波守様御家中・ 御家並録	信州松本保高組等々 力町村 二口姓		縦帳	松本御家並録 享保元年～文化14年迄
17	3	4	嘉永元・ 10・26	1848	鮭川・殿様御野行諸事控	等々力町村 庄屋 新四郎		横半	彦兵衛控と表紙に記 す。鮭川を中心にした 殿様の野行について準 備・経過一切を記す。
1274	3	4	文久4	1864	徳川様 御公儀御役人様 (御役人附早見)	本石町二丁目 伏見屋重兵衛		綴	40mm×125mm
1086	3	4	慶応4	1868	(薩州武鑑の写し)			紙	島津家位高を記載
513	3	4	明治4・8・ 16	1871	奉任官是迄之通奉任官不残免職			綴	廃藩置県時の官吏更迭

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
660	3	4	1月19日	—	(召喚状)	飯尾孝兵衛外2人	等々力町村 拾ヶ堰 堰役中	紙	包紙あり。 明後日朝四ッ時役所へ罷 出る件
20	3	4	年代不詳	—	信州松本松平丹波様御家中録			横帳	御家中昇進録分限帳
884	3	4	年代不詳	—	御国替 (領主の国替、藤堂和泉守外8 人)			紙	

4 村政 46点 (1)村役人 11点 (2)五人組 3点 (3)願書・書上帳等 11点 (4)村入用 8点 (5)御用留・雑事記等 13点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
19	4	1	文政2・3・4 4~	1819 ~	松本出張諸事覚帳			横帳	宿泊日数・出費・見舞 受納覚等
336	4	1	文政7・7	1824	等々力町村庄屋白沢藤左衛門御 役勤柄左ニ奉申上候	保高組等々力町村 長立 彦四郎外2人	庄屋 白沢藤左衛門	紙	庄屋に対し長立の3人が 意見した。
967	4	1	文政7・8	1824	乍恐奉申上候口上覚 (庄屋 白沢藤左衛門への意見 書)	保高組等々力町村 長立 彦次郎外2人	組頭 宗左衛門	紙	村の諸事について記載
116	4	1	天保13・6	1842	奉差上済口証文之事 (宇兵衛が村の軒役、倉番、火 の番などを勤めないの村方一 同から訴え)	保高組等々力町村 願方 庄屋 平八 外10人	等々力伝右衛門	紙	
32	4	1	安政5・1	1858	定 (村持地所売渡の規定)	保高組等々力町村 庄屋 新四郎外54人		紙	売渡規定九ヶ条
980	4	1	明治4	1871	議事局 (上・下局の議長、副議長等14 人の氏名)		松本戸部所	紙	「御一新之砌」の記載 あり。
782	4	1	10月14日	—	差紙 (呼出状)	等々力伝右衛門	等々力町村 庄屋中	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
724	4	1	年代不詳	—	(各組大庄屋名一覧)	二木		紙	名前の羅列のみ
895	4	1	年代不詳	—	断簡 (地方役人不和合について役場への申し分)			紙	
958	4	1	年代不詳	—	廻状 (御役人の出張)	拾箇堰役人	田尻村外9村 御役人中	紙	
989	4	1	年代不詳	—	覚 (歴代村役人の氏名)	二木昇平		綴	延享4年以降の等々力町・貝梅村における歴代庄屋名
150	4	2	文化2・3・4	1805	内済取替一札之事 (屋丁普請の分担取決め)	願人 弥曾八外58人	保高町村 庄屋 茂左衛門外1人	紙	
22	4	2	天保15・2	1844	御公儀被仰出五人組江御達條々	等々力町 二木彦兵衛		縦帳	
655	4	2	文久3・2	1863	従公儀五人組合被仰渡控連判帳写			縦帳	
912	4	3	正徳元～	1711	保高組村々寺社御改帳写し (外保高組寺社道路書上写等)	二木		縦帳	表紙も含め正徳元年～諸々の件について覚書
929	4	3	享保13・6	1728	保高組村々高除地丁数寺社家数書上控	保高組等々力町村 二木彦兵衛所持		横帳	御代官小松仁兵衛様書上之写
185	4	3	宝暦8・2	1758	一札之事 (困窮のため戸隠免の地を切起して、入上糶で極難の百姓を取続かせたい)	武左衛門外16人		紙	
110	4	3	寛政4・10	1792	乍恐奉願口上之覚 (近年特に困窮し出奉公する者が増え年貢未進が増大)	長百姓 多郎兵衛 外3人	等々力孫右衛門	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
828	4	3	文化元・6	1804	保高組 等々力町村・貝梅村 持高馬数書上帳	等々力町村・貝梅村 庄屋 丈右衛門外1人		横帳	
916	4	3	文化4・4	1807	後役民右衛門江諸帳面引渡し之 覚控	両村先役 丈右衛門	庄屋 民右衛門	横帳	庄屋交代時の引継帳簿 類
969	4	3	文化10・5	1813	乍恐奉申上口上之覚 (真龍院下作勘定帳面の取調 べ)	丈右衛門		紙	
391	4	3	天保7・ 12・9	1836	乍恐追訴ヲ以奉願上候 (新堰入用金不作の為返済出来 兼について)	等々力町村 願主 丈右衛門外2人	等々力伝右衛門	紙	
121	4	3	年代不詳	—	乍恐返答仕口上之覚 (返答書の素案文)			紙	諸役に不参加の村民の 理由
250	4	3	年代不詳	—	(村の田畑家数記録の一部)			紙	一枚のみ
1249	4	3	年代不詳	—	(庄屋交替時の引継帳面類書出 しの一部カ)			紙	No. 1248と同綴
10	4	4	寛政3・5	1791	亥諸割物帳 (等々力町村・貝梅村)	庄屋 彦兵衛		横帳	保高川普請等の各種費 用割
1066	4	4	寛政7	1795	卯諸事割帳	年番庄屋 彦兵衛		横帳	
1063	4	4	文化元・8	1804	子年諸役金寄覚帳	等々力町村 庄屋 条右衛門		横帳	余内役・日割返し・高 割・屋丁割等を記載
6	4	4	文化6・12	1809	曖済口一札之事 (等々力町村御年賦代金返済の 件)	保高組等々力町村 長立 丈右衛門外5人	保高町村庄屋 曖人 茂左衛門	紙	曖(あつかい)は調 停・仲裁の意
634	4	4	安政3・10	1856	借物諸書附入			袋	No. 635が中身

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
635	4	4	安政3・10	1856	(御公儀様御出張における買物等の記録)	二木彦兵衛		綴	No. 634の中身
957	4	4	年代不詳	—	乍恐奉願口上之覚 (近時御用通行での人足出費増加に伴う困窮について)			状	下書
1331	4	4	年代不詳	—	規定之事 (保高村芝地の仕附料等)			紙	案文カ 「年代、出所等」の記載なし
263	4	5	延享2・12	1745	定 (蔵屋敷地取替について)	等々力町 与頭 弥七外2人	等々力町 半蔵	紙	
1116	4	5	天明元	1781	丑暮諸事付出シ覚帳	等々力町 庄屋		横帳	貝梅役糶、野山手糶、 種貸元利、歩行給等を記載
133	4	5	文政2	1819	万日記覚帳			横帳	
134	4	5	嘉永元	1848	松本 松平丹波守様御支配中 保高組等々力町村書留帳			横帳	未11月11日～申11月20日
610	4	5	嘉永2・ 10・5	1849	出府諸雑用控	惣代		横半	食品、日用品等の出納 帳控
490	4	5	嘉永6・12	1853	(願書・早魃、不如意、不作)			紙	
741	4	5	安政2	1855	安曇郡村々筑摩郡当郡村々名細 調書上帳	二木姓		横半	石高・家数・人口・寺 社等の書上
209	4	5	安政3・ 10・1	1856	御公役様御巡見人足元帳	出役 庄屋 望月喜代蔵 二木彦兵衛		横半	日別・役割別・人足割 等

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
210	4	5	安政3・10	1856	御公役様御小休臨時控	出役 白金村 望月喜代蔵 等々力町村 二木彦兵衛		横半	
191	4	5	安政4カ	1857	(加藤余十郎の接待のため小魚 漁をしたところ紛議発生)			紙	
739	4	5	安政5・1	1858	懐中記録帳	保高 二木彦兵衛		縦帳	
1258	4	5	年代不詳	—	等々力町村町割之口方持主代々 村境書付屋丁石高書付覚			縦帳	村境と各々の屋敷面積 を記載
755	4	5	年代不詳	—	断簡 (村名と村役人26名の名前のみ 記載)	保高組寺所村 与頭 九左衛門 外9村22人	服部五左衛門外2人	紙	

5 租税 133点 (1)本年貢①年貢免状の交付 70点 ②年貢の収納 32点 ③年貢の皆済 20点 (2)諸役①小物成・小役 7点 ②運上・冥加 2点 ③課役 2点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
577	5	1-1	慶長19・ 4・10	1614	両郡村検地高帳 (筑摩郡・安曇郡)			横半	後年の写カ
576	5	1-1	正保4・3	1647	信濃国郡分村高帳 (各村々の石高書上)			横半	後年の写カ
809	5	1-1	承応2・9・ 23	1653	穂高与等々力町巳年永川欠之帳	佐藤十右衛門外1人		横帳	No. 817迄同綴
810	5	1-1	寛文9・9・ 15	1669	保高与等々力町田畑酉永川欠改帳	丸山三郎兵衛外2人		横帳	No. 809と同綴
813	5	1-1	寛文12・ 7・20	1672	保高与等々力町子ノ永川欠并当 流改帳	林彦四郎外3人		横帳	No. 809と同綴
814	5	1-1	延宝7・8・ 25	1679	保高与等々力町未ノ永川欠改帳	藤原与右衛門外3人		横帳	No. 809と同綴

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
811	5	1-1	延宝8・8・18	1680	等々力町申ノ田畑永川欠改帳	林彦四郎外3人		横帳	No. 809と同綴
817	5	1-1	延宝9・8・17	1681	等々力町田畑永川欠之帳	藤原与右衛門外3人		横帳	No. 809と同綴
812	5	1-1	天和3・9・21	1683	等々力町永川欠亥ノ改帳	等々力伝左衛門外1人		横帳	No. 809と同綴
534	5	1-1	元禄4・12	1691	大町組村々指出帳控 (当該年大町組内52ヶ村への年貢免状の書写帳)	等々力町村 庄屋 二木彦兵衛		横帳	
1117	5	1-1	元禄8・10	1695	穂高組等々力町永川欠帳	鈴木儀左衛門外4人		横帳	中田4ヶ所の永川欠を記載
764	5	1-1	元禄11・10・3	1698	保高組貝梅村寅永川欠改帳 (下畑ノ七畝拾二歩分粃四升四合)	丸山安右衛門外3人	中根又右衛門	横帳	彦兵衛と六兵衛の2箇処分
815	5	1-1	元禄11・10・3	1698	穂高組等々力町寅永川欠改帳	丸山安右衛門外3人		横帳	No. 809と同綴
816	5	1-1	元禄15・閏8	1702	等々力町午永川改帳	川村仲七外1人		横帳	No. 809と同綴
21	5	1-1	享保14・11・15	1729	酉年免相定之事 (保高村)	小松仁兵衛外3人	保高村 庄屋 組頭 惣百姓	巻紙	高680石6升3合2勺
470	5	1-1	天明7・11	1787	保高組等々力町村未田畑当流改帳	深尾利野右衛門外3人		横帳	
472	5	1-1	天明8・11・5	1788	申年免相定之事	松井祐蔵外6人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
1179	5	1-1	天明8・11	1788	保高組貝梅村申畑方当流帳	折竹箴右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃4石3斗1升の記載

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1180	5	1-1	天明8・11	1788	保高組等々力町村申田畑当流帳	折竹箴右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃6斗1升の記載
206	5	1-1	寛政元	1789	保高組等々力町村貝梅村田畑反別書上帳	保高組等々力町村 長百姓 彦兵衛外2人		縦帳	等々力町村 高201石6 斗8升4合 貝梅村 高54石8斗6升2 合
337	5	1-1	寛政元	1789	穂高組貝梅村永川欠反歩分帳控	保高組等々力町村 長百姓 彦兵衛外2人		縦帳	元禄7～寛政元の永引
479	5	1-1	寛政元・ 11・15	1789	未年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
1008	5	1-1	寛政元・11	1789	保高組貝梅村畑方当流帳			横帳	
1178	5	1-1	寛政元・11	1789	保高組等々力町村酉田方当流改帳	折竹箴右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃2斗1升の記載
307	5	1-1	寛政2・ 11・15	1790	戌年免相定之事	松井祐蔵外5人	等々力町村 庄屋・組頭・惣百姓	紙	高202石2斗3升7合 (史料番号307～315一 巻)
1176	5	1-1	寛政2・11	1790	保高組貝梅村戌畑方当流帳	折竹箴右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃1石3斗2合の記載
1177	5	1-1	寛政2・11	1790	保高組等々力町村戌当流改帳	折竹箴右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃2斗1升の記載
308	5	1-1	寛政3・ 11・15	1791	亥年免相定之事	松井祐蔵外6人	等々力町村 庄屋・組頭・惣百姓	紙	高202石2斗3升7合
473	5	1-1	寛政3・ 11・15	1791	亥年免相定之事	松井祐蔵外6人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
1174	5	1-1	寛政3・11	1791	保高組等々力町村亥田方当流改帳	内山林左衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃2斗6升の記載

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1175	5	1-1	寛政3・11	1791	保高組貝梅村亥畑方当流帳	内山林左衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃1石3斗2合の記載
309	5	1-1	寛政4・ 11・15	1792	子年免相定之事	松井祐蔵外6人	等々力町村 庄屋・組頭・惣百姓	紙	高202石2斗3升7合
474	5	1-1	寛政4・ 11・15	1792	子年免相定之事	松井祐蔵外6人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
1172	5	1-1	寛政6・11	1794	保高組貝梅村寅畑方当流改帳	内山林左衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃1石3斗2合の記載
1173	5	1-1	寛政6・11	1794	保高組等々力町村寅田方当流改帳			横帳	No. 1162と同綴
205	5	1-1	寛政7	1795	保高組貝梅村畑方永引帳 (上畑・中畑・下畑・下々畑の 永引)			縦帳	反 <sup>ノ</sup> 1町4反4畝13歩8石8 斗1升2合8勺引き
475	5	1-1	寛政7・ 11・15	1795	卯年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
310	5	1-1	寛政8・ 11・15	1796	辰年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	等々力町村 庄屋・組頭・惣百姓	紙	高202石2斗3升7合
476	5	1-1	寛政8・ 11・15	1796	辰年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
1170	5	1-1	寛政8・11	1796	保高組貝梅村畑方当流改帳	草間作右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃1石3斗2合の記載
1171	5	1-1	寛政8・11	1796	保高組等々力町村田方当流改帳	草間作右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分粃4斗4升4合の記載
934	5	1-1	寛政9・9	1797	保高組等々力町村巳田方虫付改帳	草間治右衛門外3人		横帳	虫害田の面積や分粃調査

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
311	5	1-1	寛政9・11・15	1797	巳年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	等々力町村 庄屋・組頭・惣百姓	紙	高202石2斗3升7合
477	5	1-1	寛政9・11・15	1797	巳年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
1168	5	1-1	寛政9・11	1797	保高組貝梅村畑方当流改帳	米山作市左衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分廻1石3斗2合の記載
1169	5	1-1	寛政9・11	1797	保高組等々力町村田方当流改帳	米山作市左衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分廻4斗4升4合の記載
312	5	1-1	寛政10・11・15	1798	午年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	等々力町村 庄屋・組頭・惣百姓	紙	高202石2斗3升7合
478	5	1-1	寛政10・11・15	1798	午年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
1166	5	1-1	寛政10・11	1798	保高組貝梅村畑方当流帳	草間作右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴
1167	5	1-1	寛政10・11	1798	保高組等々力町村田方当流帳	草間作右衛門外3人		横帳	No. 1162と同綴 分廻4斗4升4合の記載
313	5	1-1	寛政11・11・15	1799	未年免相定之事	岡田宇左衛門外6人	等々力町村 庄屋・組頭・惣百姓	紙	高202石2斗3升7合
1164	5	1-1	寛政11・11	1799	保高組等々力町村未田方当流改帳	高橋隆蔵外3人		横帳	No. 1162と同綴 下田2ヶ所 分廻4斗4升4合の記載
1165	5	1-1	寛政11・11	1799	保高組貝梅村未畑方当流改帳	高橋隆蔵外3人		横帳	No. 1162と同綴
1162	5	1-1	寛政12・11	1800	保高組等々力町村申田方当流改帳	高橋隆蔵外3人		横帳	No. 1180迄同綴 個人・村地下田各1ヶ所を記載

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1163	5	1-1	寛政12・11	1800	保高組貝梅村申畑方当流帳	高橋隆蔵外3人		横帳	No. 1162と同綴 上畑1ヶ所、下畑8ヶ所 を記載
314	5	1-1	享和元・ 11・15	1801	酉年免相定之事	倉田五郎次郎外8人	等々力町村 庄屋・惣百姓	紙	高204石5斗7升4合
480	5	1-1	享和元・ 11・15	1801	酉年免相定之事	倉田五郎次郎外8人	貝梅村	紙	54石8斗6升2合
471	5	1-1	享和元・11	1801	保高組等々力町村田方当流改帳	木下織左衛門外3人		横帳	
531	5	1-1	享和元・11	1801	保高組貝梅村酉畑方当流改帳	木下織左衛門外2人		横帳	
13	5	1-1	享和2・11	1802	保高組等々力町村田方当流帳・ 保高組等々力町村田方当流改帳	村瀬左内 藤沼九郎之丞外2人		横帳	
530	5	1-1	享和2・11	1802	保高組貝梅村畑方当流帳	村瀬佐内外2人		横帳	虫食破損
315	5	1-1	享和3・ 11・15	1803	亥年免相定之事	折竹五太夫外6人	等々力町村 庄屋・惣百姓	紙	高205石9斗8升9合
316	5	1-1	享和3・ 11・15	1803	亥年免相定之事	折竹五太夫外6人	貝梅村 庄屋・惣百姓	紙	高54石8斗6升2合 (No. 316~318一卷)
12	5	1-1	享和3・11	1803	保高組貝梅村畑方当流改帳	二木	村瀬左内外2人	横帳	
14	5	1-1	享和3・11	1803	保高組等々力町村田方当流改帳	村瀬左内外2人		横帳	
317	5	1-1	文化2・ 11・15	1805	丑年免相定之事	折竹五太夫外7人	等々力町村 庄屋・惣百姓	紙	高205石9斗8升9合

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
318	5	1-1	文化2・11・15	1805	丑年免相定之事	折竹五太夫外7人	貝梅村 庄屋・惣百姓	紙	高54石8斗6升2合
159	5	1-1	天保4・9	1833	巳中稲作高覚 (中稲の作高の内見したもの)	保高組貝梅村 与頭 源十 庄屋 平八	等々力伝右衛門	紙	
654	5	1-1	年代不詳	—	(等々力町村上納石高、永引・ 屋敷免の反別書上)			縦帳	
992	5	1-1	年代不詳	—	等々力町当流永引帳 (年毎の御支配方・代官・役人 の氏名)	相馬仁兵衛		横帳	No. 993と同綴 承応2年～宝暦11年の永 引書付
111	5	1-2	慶安4・2・12	1651	保高組等々力町 庄三郎控	河村儀左衛門外3人		紙	毎年完納すべしと書か れた年貢免状
1015	5	1-2	寛文3	1663	御先代保高組名細書上帳 (松本記)	二木所持ス		縦帳	
1061	5	1-2	寛保3・12	1743	保高組等々力町・貝梅村 亥御 年貢勘定帳	庄屋 清左衛門		横帳	
1075	5	1-2	天明8	1788	申御年貢帳	等々力町村 庄屋 彦兵衛外1人		横帳	
1068	5	1-2	寛政元・6	1789	西ノ諸事割帳	等々力町・貝梅村 役元		横帳	
1069	5	1-2	寛政元・12	1789	西暮諸事割	庄屋 彦兵衛外1人		横帳	
208	5	1-2	寛政3	1791	等々力町村貝梅村亥年御年貢勘 定	庄屋 三五郎 彦兵衛		横帳	浅右衛門外72人の年貢 勘定綴
1074	5	1-2	寛政5・11	1793	等々力町村・貝梅村 御年貢勘 定	年番庄屋 彦兵衛		横帳	
1072	5	1-2	寛政7・11	1795	等々力町村・貝梅村 卯御年貢 勘定帳	庄屋 彦兵衛		横帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
652	5	1-2	寛政8	1796	辰等々力町村御年貢勘定口	年番庄屋		横帳	控カ 人別年貢高割出と明細 な納入分・未進分
653	5	1-2	寛政10・11	1798	等々力町村・貝梅村 御年貢勘定帳	庄屋 彦兵衛		横帳	
1078	5	1-2	寛政11	1799	寛政十一年 (年貢勘定帳)	庄屋 彦兵衛		横帳	個人別高、負担高等を 記載
939	5	1-2	寛政11・10	1799	御物成庭帳	等々力町村 庄屋 彦兵衛		横半	個人別の収納控帳
1077	5	1-2	寛政11・11	1799	等々力町村・貝梅村 未御年貢勘定帳	庄屋 彦兵衛		横帳	
1071	5	1-2	寛政12・7	1800	申年内諸割物帳	庄屋 利右衛門外1人		横帳	
918	5	1-2	享和元・8	1801	申年未進過五年賦勘定帳	等々力町村 庄屋 利右衛門外1人		横帳	寛政12年～文化元年間 の過・未進記録
1020	5	1-2	享和元・12	1801	万諸覚控帳 (年貢収納)			縦帳	諸役徴収金
1070	5	1-2	享和2・7	1802	戌年内諸割物帳	年番庄屋 彦兵衛		横帳	
1001	5	1-2	享和2・12	1802	保高組等々力町村困穀帳		郡所	横帳	享和3年～文化10年の困 穀個人別割当高書上帳
1076	5	1-2	享和3	1803	等々力町村・貝梅村 亥御年貢勘定帳	年番庄屋 丈右衛門		横帳	
917	5	1-2	享和3・9	1803	御物成庭帳	等々力町村 年番庄屋 条右衛門		横帳	等々力町村・貝梅村に おける種貸・作喰元利 の個人別納入状況
914	5	1-2	享和3・11	1803	(物成庭帳の一部)	保高組等々力町村・ 貝梅村 庄屋 丈右衛門外1人	安藤伊兵右衛門外1人	横帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1344	5	1-2	文化2・9	1805	等々力町村・貝梅村 丑御年貢 上納払通 (折竹五太夫㊦ 2口ノ338俵1 斗5合)	越庄屋 利右衛門 外1人		横帳	「白大豆14俵9分、稗1 俵、油種1斗4升」此払 の内訳あり。
1073	5	1-2	文化2・11	1805	等々力町村・貝梅村 丑御年貢 勘定帳	庄屋 条右衛門		横帳	
1160	5	1-2	文化3・8	1806	丑御蔵尻村々差引覚帳	等々力町村・貝梅村 庄屋 条右衛門		横帳	狐島村渡方・同村請取 方、保高町村遣し方・ 同村請取方の明細書
1019	5	1-2	文政10	1827	万日記覚帳 (堰普請・人足等の日誌)	二木条右口門		縦帳	
1181	5	1-2	天保10	1839	御年貢役金通	丈右衛門		包紙	包紙のみ 「御書下ヶ 等々力町 村分」と記載
1196	5	1-2	安政5・11	1858	安政五年戊午十一月書上控 (年貢収納の控)			紙	等々力・貝梅村の石高 を記載
703	5	1-2	慶応2	1866	御年貢諸役金之通	等々力町村 入作 彦兵衛		横半	明治8年に至る彦兵衛の 年貢・租税
1058	5	1-2	慶応2	1866	御年貢役銭帳	保高組等々力町村 二木彦内		横半	慶応2年～明治15年迄記 載
1040	5	1-2	年代不詳	—	断簡 (村名・人名・金額のみ羅列)			紙	133人の記載あり。
1401	5	1-2	年代不詳	—	(水野出羽守 御代御納粃)	二木家		紙	包紙に粃44粒在中 写真に史料番号なし。
398	5	1-3	宝暦11・5	1761	差上申口上之覚 (白金村年貢勘定での御蔵粃払 い滞りの件)	等々力町村 庄屋 武左衛門外6人	等々力文右衛門外1人	紙	筆録
493	5	1-3	宝暦11・ 7・19	1761	差上申口上之事 (白金村の上納分が滞納)	白金村 安兵衛外1人	等々力文右衛門外1人	紙	筆録

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
327	5	1-3	明和元・12	1764	乍恐奉願口上之覚 (納艸の不足・無尽・年貢)	保高組等々力村 武右衛門外4人	等々力文右衛門	紙	
9	5	1-3	寛政3・9	1791	亥御年貢上納払通 (等々力町村・貝梅村)	庄屋 彦兵衛 三五郎		横帳	松井祐蔵に関わるもの
770	5	1-3	寛政5・9	1793	保高町村・貝梅村 丑御年貢上 納払通	等々力町村 庄屋 彦兵衛外1人	松井祐蔵	横帳	代官の皆済㊦あり。
217	5	1-3	寛政7・9	1795	卯御年貢上納払通	等々力町村 貝梅村 庄屋 彦兵衛 三五郎		横帳	
773	5	1-3	寛政8・9	1796	等々力町村・貝梅村 辰御年貢 上納払通	庄屋 彦兵衛外1人	岡田宇左衛門	横帳	
831	5	1-3	寛政9・9	1797	巳御年貢上納払通 (等々力町村・貝梅村)	等々力町村・貝梅村 庄屋 彦兵衛	岡田宇左衛門	横帳	
1067	5	1-3	寛政10	1798	午諸割物帳	等々力町村 庄屋 彦兵衛		横帳	
830	5	1-3	寛政10・9	1798	午御年貢上納払通	等々力町村・貝梅村 庄屋 彦兵衛	岡田宇左衛門	横帳	
1065	5	1-3	寛政11	1799	未年内諸割物帳	庄屋 彦兵衛		横帳	夏・冬割、御用金上納 割、冬小役割等を記載
829	5	1-3	寛政12・9	1800	未御年貢上納払通	等々力町村・貝梅村 庄屋 彦兵衛外1人	河田三郎左衛門	横帳	
11	5	1-3	享和元・9	1801	酉御年貢上納払通 (等々力町村・貝梅村)	庄屋 彦兵衛 利右衛門	折竹時右衛門	横帳	
772	5	1-3	享和3・9	1803	等々力町村・貝梅村 亥年貢上 納払通	越庄屋 利右衛門 外1人	折竹五太夫	横帳	代官の皆済㊦あり。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
335	5	1-3	文化元・9	1804	差出申一札之事 (本年貢皆済)	保高組等々力町村 五人組頭 新右衛門 外89人	庄屋 利右衛門外1人	紙	奥書あり。
1062	5	1-3	文化3・12	1806	丑御蔵尻人別帳	等々力町村 庄屋 丈右衛門		横帳	
705	5	1-3	慶応2	1866	御年貢役金之通	彦兵衛		横半	
595	5	1-3	年代不詳	—	書簡 (不足米と定免引について)			紙	等々力村百姓の下作田 不作の文言あり。
996	5	1-3	年代不詳	—	高・反別書上帳	庄屋 清左衛門		横帳	地字・斗代・反別・氏 名の書上
1064	5	1-3	年代不詳	—	西亥未進渡し覚帳	庄屋 丈右衛門控		横帳	作喰貸付・人足人別等 を記載
1280	5	2-1	天明7	1787	馬方帳 (年貢)	条右衛門		横半	
533	5	2-1	寛政9	1797	巳諸事割帳 (余内割・勤屋丁割・高割)	等々力町村 彦兵衛		横帳	
328	5	2-1	寛政10・9	1798	乍恐以追訴奉願上候口上之覚 (紺屋株と地境の吟味)	等々力町村 願主 与頭 兵左衛門	保高町村 庄屋 儀左衛門外1人	紙	
97	5	2-1	寛政12・8	1800	濟口一札之事 (下作年貢の指引きについての 覚)	保高組狐嶋村 梅八外3人	等々力村 庄屋 惣左衛門外3人	紙	等々力町と狐島両村の 下作御年貢は役元勘定 帳にて差引為替仕来候
771	5	2-1	文化2・10	1805	丑御物成庭帳	等々力町 庄屋 丈右衛門		横帳	年貢収納記録
1345	5	2-1	文化3・7	1806	寅年内諸割帳 (引渡帳控)	等々力町村・貝梅村 庄屋 武右衛門		横帳	個人別年貢の割当帳

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1325	5	2-1	1月27日	—	戊年新切割定之事	彦兵衛		紙	分家に関する文書カ
1343	5	2-2	天明4・8	1784	等々力町村冥加靱控帳 (52人分靱ノ3石8斗3升)	預り庄屋 彦兵衛 外1人	等々力伝右衛門	横帳	「冥加靱差上…」の記載
955	5	2-2	天保10・9	1839	乍恐奉願口上之覚 (鮭獵運上金上納の件)	等々力利右衛門外3人	望月惣左衛門	状	下書
589	5	2-3	文化2	1805	乍恐奉願口上之覚 (堰普請に係る屋丁役の軽減願)	保高村 願主 弥曾八外37人	与頭 李左衛門外1人	紙	等々力孫右衛門宛の裏書あり。
590	5	2-3	年代不詳	—	貸渡申紺屋役取替証文之事			紙	控の断片 年季明けには上納する様にとの内容

6 土地 46点 (1) 検地 18点 (2) 新切検地等 20点 (3) 出入 6点 (4) 地券等 2点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1029	6	1	慶安4・2・13	1651	保高組貝梅村検地帳	荒川弥左衛門外2人		縦帳	昭和44年4月8日に表紙等補修と記載あり。
928	6	1	元禄4・8	1691	等々力町・貝梅村両所之持高 (狐嶋村分)	彦兵衛分		横帳	
774	6	1	元文2・11	1737	保高組等々力町村見取帳 (見取畑の反別改)	鷲見拓右衛門外2人		縦帳	
1115	6	1	宝暦11・10・11	1761	等々力町村・貝梅村 高立帳	庄屋 武左衛門		横半	検地小帳
775	6	1	天明6・3	1786	保高組等々力町村敷地見取畑書 上帳	等々力町村 長百姓 彦兵衛外2人	寄藤兵太夫外1人	縦帳	車屋を建てる敷地見取
213	6	1	寛政7	1795	保高組等々力町村田畑永引帳	保高組等々力町村 長百姓 太郎兵衛外3人		縦帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
215	6	1	寛政7・10	1795	保高組等々力町村田方見取帳	内山林左衛門外3人		縦帳	
947	6	1	寛政7・10	1795	保高組等々力町村田方見取帳写	飯田多門外3人		縦帳	
779	6	1	寛政9・9	1797	保高組等々力町村田方見取判請帳控	保高組等々力町村長百姓 太郎兵衛外2人	米山佐市左衛門外3人	縦帳	村竿の記載あり。
948	6	1	寛政9・9	1797	保高組等々力町村田方見取判請帳控	保高組等々力町村長百姓 太郎兵衛外2人	米山佐市左衛門外3人	縦帳	
332	6	1	寛政11・11	1799	乍恐奉願口上之覚 (困窮により田地相続不可能、借入金多い)	等々力町村長百姓 太郎兵衛外2人	等々力孫右衛門	紙	
776	6	1	享和元・11	1801	保高組等々力町村田方見取判請帳控	等々力町村長百姓 太郎兵衛外2人	木下織左衛門外3人	縦帳	
839	6	1	享和元・11	1801	保高組等々力町村田畑見取高入判請帳控	保高組等々力町村長百姓 太郎兵衛外2人	木下織左衛門外3人	縦帳	地字・面積・竿請と石高を定め役人から判請する為の資料
778	6	1	文化2・10	1805	保高組等々力町村田方見取御改帳	保高組等々力町村長百姓 太郎兵衛外2人	村瀬佐内外3人	縦帳	村竿の記載あり。
514	6	1	明治3	1870	明治三年御改世ニ付調控	二木喜内		綴	田畑の地字・面積・石高改め
1237	6	1	酉11月21日	—	断簡 (此坪百四坪…)	狐嶋村 山崎常弥		紙	略図・周辺間数の記載あり。
777	6	1	年代不詳	—	(田畑反別書上帳・貝梅村)			縦帳	高54石8斗6升2合
985	6	1	年代不詳	—	等々力町村・貝梅村 諸帳面控			紙	年毎の検地帳冊数を書上

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
115	6	2	元文元・10	1736	(竿請願の案文)	弥三郎	庄屋 藤八外1人	紙	屋鋪添の空地の検地願 い
214	6	2	宝暦8・2・ 1	1758	切起証文一札之事	庄屋 二木武左衛門外2人		横帳	昭和45年9月8日補修と 記された表紙付
762	6	2	天明3・ 11・15	1783	幅下新切人別帳 (新切丁場割)	等々力町村		横半	
966	6	2	寛政4	1792	乍恐奉願口上之覚 (烏川の川筋瀬向と竿請下作 願)			紙	下書カ
330	6	2	寛政6・8	1794	請負申新切証文之事 (新切田の入札)	等々力町村 請負人 金蔵外1人	庄屋 彦兵衛外3人	紙	
7	6	2	享和2・6	1802	保高組等々力村貝梅分起返し永 引帳控	長百姓 弥右衛門 庄屋 利右衛門 彦兵衛	村瀬左内 藤沼九郎之丞外2人	綴	
8	6	2	享和2・6	1802	保高組等々力町村新切御高入御 改帳	長百姓 弥右衛門 庄屋 利右衛門 彦兵衛	村瀬左内 藤沼九郎之丞外2人	綴	
838	6	2	文化元	1804	保高組等々力町村 新切・斗代 上 検地帳	牧忠右衛門外7人		縦帳	享和元～2年における新 切検地・斗代上分の合 巻
824	6	2	文政7・12	1824	所新切ニ付願書之事	等々力町村 願方惣代 嘉右衛門 外15人	井口半蔵	横帳	No. 823と同綴 難渋に付新開の件
393	6	2	文政11・3	1828	議定書之事 (質地花見分の地代は出さない 取決)	等々力町村 五人組頭・組合惣 代・長立・三役人		紙	控
26	6	2	天保2・10	1831	差上申証文之事 (畔竿改検地帳を以相改間違 いがないこと)	保高組等々力町村 長百姓 条右衛門 外2人	森善八郎外3人	紙	
386	6	2	嘉永元・11	1848	保高組貝梅村起返シ控帳 (田畑人別書上げ)			横帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
31	6	2	文久4・2・1	1864	(苧敷花見の新開について)	等々力町村 武左衛門掛合控	等々力村 等々力治右衛門	紙	
65	6	2	文久4・2	1864	規定之事 (苧敷花見の新開場所に関わる 地代等の規定)	庄屋 新四郎 与頭 道蔵 長百姓 彦兵衛 外56人		紙	
4	6	2	12月8日	—	烏川筋起返□□□□割合帳 (烏川の荒地の起返に当っての 区分を60人に割振ったもの)			横帳	「いろは」と「1・2… 21」の記号で表示。
127	6	2	年代不詳	—	(壱番～十七番の長さ・巾・坪 数と人別、新堰の村別入用割)			綴	
157	6	2	年代不詳	—	内済之趣意 (花見の新開・地代等の件)			紙	後半部分破損
689	6	2	年代不詳	—	飯田村地所成り之者 (人別・俵数)			紙	
786	6	2	年代不詳	—	等々力町村字鎮守 (人別・下田・下畑の書上)			紙	
861	6	2	年代不詳	—	(差出書・貝梅村新切竿請等差 出書)			包紙	包紙のみ
192	6	3	正徳元	1711	差上申立会連判証文之事 (村堺を改めるため立合願いた い)	麻績組塔原村 庄屋 孫兵衛 外8ヶ村33人		紙	
34	6	3	寛政9・7	1797	乍恐奉願口上之覚 (個人居屋敷と郷蔵地境いの 件)	保高組等々力町村 五人組頭 勘兵衛 外11人	等々力孫右衛門	紙	町村兵左衛門居屋敷と 郷御蔵地境入込みの件
124	6	3	文化10・4	1813	御尋ニ付乍恐奉申上候	保高組等々力町村 丈右衛門	庄屋 民右衛門外1人	紙	真龍院の土地を丈右衛 門が下作したが年貢が 未進となった件につい ての丈右衛門の言い分

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
105	6	3	文化10・5	1813	差上申内済証文之事	保高組等々力町村 願主 真龍院 相手方 丈右衛門 外2人	等々力源右衛門	紙	下作していたが年貢が 未納になった件の示談 書
823	6	3	文政7	1824	等々力町村惣百姓願横帳控	惣百姓 村役人	大庄屋	横半	No. 824と同綴 村内の花見林争や穂高 宮警固問題について
189	6	3	年代不詳	—	田地ニ付真龍院掛り合事			紙	断簡
123	6	4	明和4・ 12・1	1767	地替一札之事 (真龍院が庫裡建替の際、彦兵 衛持分の地所と一部地替)	真龍院	彦兵衛	紙	
905	6	4	年代不詳	—	断簡 (田畑の反別を記載)			紙	覚書カ

## 7 林野 3点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
599	7		文政6・3・ 19	1823	池田組青木花見村より願書差上 げ申候口上之覚	保高組等々力町村・ 貝梅村 長立 彦四郎外4人	井口半蔵	紙	苧敷木伐払について
1041	7		天保2・4	1831	奉願口上之覚 (花見苧敷質地の年限内未返却 の件)	保高組等々力町村 彦四郎外4人	井口半蔵	紙	
998	7		慶応カ	—	松平丹波守様御支配官林廻り御 領内中控帳	保高組等々力町村 二木昇平		横帳	御山内、御林の預り・ 山廻り責任者の記載

8 入会 7点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
988	8		延享2・9・10	1745	家屋敷田畑菟敷場割			紙	下書き（2枚綴） 財産分割の取決カ
1002	8		延享2・9・10	1745	家屋敷田畑菟敷場 雑金諸差引 相渡シ帳	清左衛門	武八	横帳	
1003	8		延享2・9・10	1745	家屋敷田畑菟敷場 諸差引相渡 シ帳	清左衛門	九十郎 母	横帳	虫食い
946	8		天明6・11	1786	烏川通 橋爪村 貝梅村江申掛 出入一件	保高組等々力町村・ 貝梅村 長百姓 彦兵衛		縦帳	
712	8		文化5	1808	等々力町村菟敷花見調帳控			横帳	個人別の菟敷・花見数 と負担金
713	8		文化5	1808	等々力町村菟敷花見調帳			横帳	個人別の菟敷・花見数 と負担金
999	8		文化5・3	1808	等々力町村菟敷花見調帳			横帳	村名・人名・質入先・ 年数・金額等の記載あり。

9 金融 15点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
699	9		天保13	1842	金銀大宝恵帳	二木彦兵衛		縦帳	最初の3枚に貸金・人物 名の記録
701	9		天保13・1	1842	金銭出入覚帳	二木彦兵衛		横半	生活物資、村関連等の 金銭出入
937	9		天保13・9	1842	清左衛門江取替金調帳	彦兵衛控		横半	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
700	9		弘化2・12	1845	福德宝恵入帳	二木彦兵衛		横半	金銭貸出法の記入
936	9		安政2・2	1855	清左衛門江取替金之調帳	本塩屋所持		横半	
926	9		安政6・12	1859	蔦屋ゑんサエ金子備調帳	塩屋彦兵衛所持		横帳	金子貸借控
927	9		安政6・12	1859	蔦屋ゑんサエ金子備調帳	塩屋控		横帳	金子貸借控
1218	9		文久2	1862	覚 (金5両受取り)	三代吉	彦兵衛	紙	
702	9		文久2・1	1862	利息勘定帳	二木彦兵衛		横半	借主、金額・利払い経過等を記入
87	9		亥3月	—	覚 (金銭受領証)	松川村 角右衛門	等々力町 彦兵衛	紙	
91	9		11月6日	—	書簡 (金銭借用願い)	等々力定右衛門	二木彦兵衛	状	金10両貸出し願う、2日間にて元利返金する。
54	9		年代不詳	—	覚 (積金講仕法)	二木		紙	無尽に関わる取決め8ヶ条
193	9		年代不詳	—	(雑綴4葉 借金の内金・残高・利足等を記したメモ)			綴	
343	9		年代不詳	—	断簡 (380匁…)			紙	
904	9		年代不詳	—	(他・廿九日一分二朱 り子二銭五厘…)			紙	利子の計算書

10 売買 27点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
395	10		寛政2・9	1790	譲渡し田地家屋敷之事	等々力町村 譲り主 藤右衛門 外4人	等々力町村 丈右衛門	紙	未進の為手放す。後書 に状態改善後に屋敷を 返して貰いたい。
122	10		寛政9・12	1797	一札 (譲り受けた土地の返却)	本人 治兵衛外3人	等々力町 丈右衛門	紙	
1146	10		寛政9・12	1797	永譲渡申 苅敷山証文之事	等々力町村 譲主 茂兵衛外2人	惣所中	紙	
114	10		寛政10・12	1798	譲り渡し申家屋敷田地之事	等々力町村 譲り主 丈右衛門 外3人	同町村 治兵衛	紙	田3筆と家屋敷を永譲 り、4両を受取る。
1139	10		寛政11・6	1799	永譲り渡し申屋敷之事	等々力町村 譲り主 富右衛門 外3人	丈右衛門	紙	
1147	10		享和元・12	1801	永譲り渡申田地之事	等々力町村 譲主 富右衛門外2人	彦兵衛	紙	
33	10		文化元・8	1804	覚 (竹購入代支払いについて)	保高組等々力町村 庄屋 条右衛門外1人	飯尾熊重郎	紙	
103	10		文化2・8	1805	永譲り渡し申屋敷之事	等々力町 主 治兵衛外3人	当町村 当太郎	紙	間口8間4半分 分粉1斗2升7合の屋敷
46	10		天保8・3	1837	譲渡申畑地証文之事 (下々畑12歩を1両1分2朱にて 譲渡)	等々力町村 譲主 徳太郎 口入 久右衛門	狐島村 吉太郎	紙	奥書 与頭 源十 庄屋 平八
71	10		弘化4・10	1847	譲渡申証文之事	保高組等々力町村 譲主 藤蔵 受人口入 三治郎	等々力町村 彦兵衛	紙	
230	10		嘉永3・7	1850	譲渡し申田地之事	等々力町村 譲り主 右兵衛外2人	等々力町 彦兵衛	紙	烏川起返し地下々田2畝 6歩

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
72	10		嘉永4・3	1851	書添之事 (田地譲渡に添え)	譲り主 美代吉 五人組 吉左衛門	等々力町村 彦兵衛	紙	
234	10		安政2・12	1855	譲渡申畑地証文之事	狐島村 譲主 佐伝次外1人	等々力町村 彦兵衛	紙	
256	10		安政3・1	1856	譲り渡申居屋敷家之事	等々力町村 譲主 幾蔵外3人	等々力町村 彦兵衛	紙	庄屋・組頭の奥書あり。
794	10		安政6・1	1859	福德円満帳 (蔦屋ゑん用掛売)	塩屋彦兵衛		横半	紙袋在中
264	10		万延元	1860	譲渡申田地之事	保高組等々力町村 譲主 新十外1人	等々力町村 彦兵衛	紙	
168	10		文久2・4	1862	譲り渡申畑地証文之事 (拾箇堰中土手要所の場所)	成相組町村 譲主 与伝次外7人	拾箇堰 御役人衆中	紙	
1080	10		明治3・9	1870	乍恐奉願口上之覚 (古屋購入と修繕費用)			紙	案文
1305	10		明治3・9	1870	乍恐奉願口上之覚 (家屋売払い)	願主 彦兵衛	名主 治左衛門外1人	綴	
1281	10		明治3・10	1870	差上申済口一札之事 (家購入の代金訴訟)	願人 彦兵衛外3人	吉野村 与一郎外1人	綴	
491	10		明治3・12	1870	請合申一札之事 (蔵の敷石等の代金を受領)	塚原村 受主 石工 平之丞	等々力町村 塩屋彦兵衛	紙	控
231	10		明治5・2・28	1872	譲渡し申約定之事	安曇郡等々力村 借用主 上條新十郎 外1人	同郡等々力町村 二木彦内	紙	通貨単位が両のため近世文書に分類
96	10		明治5・4	1872	金子請取之覚 (持地丸嶋売買、代金34両の内 20両受取)	等々力村 新十	等々力町村 彦内	紙	通貨単位が両のため近世文書に分類

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1090	10		明治5・10・22	1872	譲渡し申苅敷山之事	安曇郡等々力町村 譲主 井口広次郎 外1人	同組等々力町村 二木彦内	紙	「柳花見壺カ所割地7両1分2朱にて譲渡」と記載 通貨単位が両のため近世文書に分類
43	10		11月1日	—	書簡 (過日頼まれた田地の件、取調べた結果の報告)	等々力利右衛門	二木彦兵衛	状	包紙に「書付入」とあり。
1350	10		1月13日	—	覚 (受取書・一金壺両貳分)	等々力町村 新四郎	彦兵衛	紙	
1182	10		年代不詳	—	覚 (1月6日～2月11日の取引記録)			紙	横半の一部カ

#### 11 貸借 31点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
113	11		元文元・8	1736	借地願書之事 (元禄15年来の水害のため屋敷際の土地借地)	青木花見村 弥三郎	等々力町村貝梅村 庄屋 藤八外1人	紙	
394	11		元文元・8	1736	借地証書之事 (水害による屋敷場流失の借地願書)	池田組青木花見 弥三郎	等々力町村貝梅村 庄屋 藤八外1人	紙	控
107	11		寛政11・10	1799	借地仕一札之事	等々力町村 兵左衛門	惣御役所衆中	紙	
155	11		文化9・5	1812	乍恐奉願口上之覚 (金子借用滞る者の件)	等々力町村 井口三五郎	庄屋 民右衛門 与頭 源右衛門	紙	
461	11		文化14・2	1817	借用申金子之事 (金子12両)	等々力村 堰廻り 善左衛門 外2人	矢原村 弥五左衛門	紙	消印

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
463	11		文化14・4	1817	借用申金子之事 (金子8両)	保高組等々力村 堰廻り 善左衛門 外2人	等々力村 利兵衛	紙	
458	11		文化14・4	1817	借用申金子之事 (金子13両)	矢原村 組頭 忠兵衛外1人	等々力町村 民右衛門	紙	消印
497	11		文化14・4	1817	借用申金子之事 (矢原堰宮浦の仕立替10両借 用)	保高組等々力村 堰廻り 善左衛門外2人	等々力村 利兵衛	紙	印墨消し。
502	11		文化14・4	1817	借用申金子之事 (矢原堰上樋仕立、金子5両)	保高組等々力村 堰廻り 善左衛門 外2人	等々力町村 井口三五郎	紙	印墨消し。
494	11		文化14・ 4・4	1817	借入金四拾両之覚 (堰の調査結果よりの上樋修理 経費)	保高組等々力町村 堰廻り 善左衛門 外2人	矢原村 孫左衛門外3人	紙	
466	11		文化14・7	1817	拝借仕候金子之事 (金40両)	保高組寺所村	後部五左衛門外2人	紙	
598	11		文政元	1818	覚 (領収証)	青木花見村 吉治郎	等々力町村 丈右衛門	紙	13両2分の受取
228	11		天保2・3	1831	奉差上済口証文一札之事 (諸借入金相済み)	保高組等々力町村 訴詔方 庄屋 平八 外3人	井口半蔵	紙	添書 前書の通り三月五日御 役所様へ差上相済
235	11		天保9・9	1838	質入申一札之事	借主 富右衛門外1人	保高町村 嘉藤次	紙	金2両1分の借りの利子 として鮭役勤め期間を 質入とする。
232	11		天保11	1840	覚 (金子5両借用の件)	等々力町村 借主 彦兵衛 口入 留右衛門外1人	等々力太郎左衛門	紙	借地返済の節は証文の 地所を返してほしいと の文言あり。
1208	11		天保13	1842	通い利覚 (利子計算)			紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
75	11		嘉永4・12	1851	借用申金子之事	嵩下村 初弥 請人 寅太郎 太郎左衛門	等々力町 □代吉 彦兵衛	紙	
243	11		安政2	1855	覚 (預け手形受取証)	おしゅん外1人	等々力町 彦兵衛	紙	
245	11		安政3・1	1856	借用申証文之事 (家屋敷一軒と利足分7両)	等々力町村 借主 彦兵衛	当人 幾蔵 組頭 吉左衛門外3人	紙	後尾に返金明細が記されている。
1089	11		安政4・12	1857	借用仕高入証文之事 (居屋敷の高入にて5両借用)	保高組等々力町 借用主 源助外2人	等々力町村 三代吉	紙	庄屋 新四郎外の奥書と裏に「質地流の際は彦兵衛に譲渡」と記載
793	11		安政5・9	1858	金銀宝恵帳	塩屋彦兵衛外1人		横半	紙袋在中
69	11		元治元・1	1864	家財書入証文之事 (萱家一軒7両にて借用、利息2割)	保高組等々力町村 借用主 新十郎 受人加判 清左衛門	等々力町村 彦兵衛	紙	
106	11		慶応2・8	1866	借用申金子之事	保高組等々力町村 借主 留吉外1人	町 彦兵衛	紙	家屋敷・家財を残らず書入れ金10両を借用
101	11		慶応3・5	1867	借用申証文之事 (3両を利足2割にて2ヶ月間借用)	等々力町村 借主 源助 受人 倉吉	等々力町村 彦兵衛	紙	
68	11		慶応3・ 12・31	1867	借用申金子之事 (3両を年利2割)	等々力町村 借用主 新十郎	等々力町村 彦兵衛	紙	
100	11		慶応3・12	1867	借用申金子之事 (金7両、利足2割にて借用)	等々力町村 借用主 留吉	等々力町村 彦兵衛	紙	
246	11		慶応4・6	1868	借用申金子之事	等々力町村 借主 新十郎	等々力町村 彦兵衛	紙	
1252	11		11月16日	—	書簡 (金子2両2分の至急借用を依頼)	保高町 塩屋武左衛門	松山奎兵衛	状	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1254	11		1月25日	—	書簡 (来2月15日までの金子2両2分 拝借願)	鳥羽奎兵衛	塩屋武左衛門	紙	同内容の別史料あり。
1332	11		4月5日	—	書簡 (貸金の催促)	望月重吉	等々力町 二木彦内	状	
1231	11		年代不詳	—	(包)借用証文 外証文入			包紙	包紙のみ 「望月忠蔵より」の記 載あり。

## 12 質物 34点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
108	12		宝暦3・2	1753	質物=置申苧敷場之事	等々力町 置主 宇源治外2人	狐島村 長右衛門	紙	幅下花見を質地に金子 借用
118	12		天明3・12	1783	惣所苧敷山敷地証文之事	証人 武左衛門外3人	等々力町村 半蔵	紙	苧敷山3ヶ所の敷地3両 を受取
840	12		寛政4・2	1792	保高組 等々力町村・貝梅村 証文控帳	庄屋 彦兵衛		縦帳	質地・金子借用証文数 10枚の控帳
90	12		寛政4・12	1792	敷地仕借用申金子之事	等々力町村 借主 丈右衛門 口入 儀八 庄屋 三五郎 彦兵衛	浅右衛門	罨紙	上田5畝10歩、分粳8斗 の田地3両にて売る。
261	12		寛政7・2	1795	質地=致借用申金子之事	等々力町 庄屋 三五郎	民右衛門	紙	
156	12		寛政7・4	1795	質地高分借用申金子之事	等々力町庄屋 彦兵衛外4人	保高町村 喜左右衛門	紙	
112	12		寛政9・12	1797	質地致高分借用申金子之事	等々力町村 借主 文蔵外2人	惣檀中 真龍院	紙	下々畑2畝6歩を高分し て4両借用した。これは 松尾寺の祠堂金

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1011	12		寛政9・12	1797	松尾寺雑金借附証文控帳			横帳	
154	12		寛政10	1798	永譲渡シ申畑之事	保高組狐島村 譲主 佐右衛門外3人	池田組青木花見村 清三郎	紙	
117	12		寛政12・12	1800	致敷地苧敷山之事	等々力町村 借主 条右衛門外3人	当町村 喜平治	紙	金7両の質地（敷地）に 柳花見を充当する。
826	12		享和元・12	1801	等々力町村・貝梅村 諸証文控帳	等々力町村 庄屋 彦兵衛外1人		横帳	質地・金子借用証文類 の控帳
492	12		文化5・10	1808	苧敷花見年限相極証文之事	等々力町村 文蔵外4ヶ村14人	等々力町村 庄屋 民右衛門外2人	巻紙	村の刈敷を18年賦の質 地とする。
1140	12		天保10・8	1839	質地借用証文之事	等々力町村 借主 彦兵衛	井口啓太郎	紙	墨消
258	12		嘉永3・11	1850	質流譲リ渡申田地之事	等々力町村 譲主 藤蔵外4人	等々力町村 三代吉	紙	
247	12		嘉永4・4	1851	質地流譲渡申証文之事	等々力町村 譲主 潤作外2人	等々力町村 彦兵衛	紙	
255	12		嘉永4・7	1851	質地＝相渡田所之事	保高組等々力町村 置主 徳作外1人	等々力町村 三代吉	紙	
259	12		嘉永4・7	1851	質地流譲渡申田地之事	等々力町村 譲主 栄治外2人	等々力町村 彦兵衛	紙	
1327	12		安政2・3	1855	質地流＝相渡証文之事	保高組等々力町村 井口喜左衛門	松河組松河村 一柳市野右衛門	紙	奥書あり。
77	12		安政3・8	1856	質流＝譲渡申畑地之事	保高組狐嶋村 譲主 吉太郎	等々力町村 彦兵衛	紙	庄屋 新四郎、組頭 道蔵の奥書あり。
73	12		万延2・1	1861	質地流譲渡申田地之事	等々力町村 預り主 村方中	彦兵衛	紙	庄屋新四郎外の奥書あ り。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
74	12		文久2・12	1862	質地流譲渡申屋敷地之事	等々力町村 譲主 源助 加判受人 倉吉 常左衛門	等々力町村 彦兵衛	紙	
1142	12		文久3・12	1863	質地流証文之事	松川村 本人 一柳七郎右衛門外3人	等々力町 彦兵衛	紙	
66	12		文久4・1	1864	借地仕証文之事 (御蔵屋敷内地所)	借用主 利兵衛 受人加判 重右衛門	等々力町村 長百姓 彦兵衛	紙	
242	12		元治元・10	1864	質地流ニ相渡申証文之事	松川組松川村 質地流主 一柳七郎右衛門	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	等々力町庄屋と組頭の 奥書あり。
1143	12		元治元・10	1864	質地流ニ相渡申証文之事	譲主 茂兵衛外1人	松川組松川村 一柳七郎右衛門	紙	庄屋 新四郎外の奥書 あり。
1145	12		元治元・10	1864	質地流ニ相渡し申証文之事	松川組松川村 譲主 一柳七郎右衛門外1人	等々力町村 彦兵衛外	紙	庄屋 新四郎の奥書あ り。
40	12		慶応2・9	1866	質入借用証文之事 (家敷・家財担保に10両借用)	保高組等々力町村 借用主 留吉 受人 兼弥	等々力町村 彦兵衛	紙	
257	12		慶応3・3	1867	質地流ニ相渡申田地之事	保高組狐しま村 譲主 高橋	等々力町村 彦兵衛	紙	
1230	12		慶応3・12	1867	質地入置証文之事 (下田2筆50両借用)	望月忠蔵	彦兵衛	紙	組頭 清十郎の奥書あ り。
67	12		慶応4・1	1868	質地証文之事	保高組等々力村 等々力定右衛門	等々力町村 彦兵衛	紙	柳花見附別紙図面あ り。
254	12		明治2・12	1869	質地証之事	等々力町村 借用人 新次郎外1人	等々力町村 彦兵衛	紙	名主 井口次郎左衛 門、組頭 青柳道蔵の 奥書あり。
252	12		明治3・2	1870	質地流譲渡申屋敷之事	保高組等々力町村 譲主 源助外2人	等々力町村 彦兵衛	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
233	12		明治5・2	1872	質地流ニ譲リ渡し申茹敷山之事	安曇郡等々力町村 譲主 尾川三代吉 後家外2人	等々力町村 二木彦内	紙	通貨単位が両のため近 世文書に分類
260	12		明治5・2・ 28	1872	質地証文之事	安曇郡等々力村 借用主 上條新十郎 外1人	等々力町村 二木彦内	紙	通貨単位が両のため近 世文書に分類

#### 14 米穀 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
120	14		元禄5・2・ 18	1692	手形之事 (懸案となっていた郷蔵を拙者 西裏の畑へ移転)	等々力町 庄屋 喜兵衛	等々力町 組頭 彦兵衛外2人	紙	

#### 15 交通 5点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1398	15		嘉永7	1854	京都 一條殿御用			その他	形態 板2枚 裏面に「サムハラ」と 記載、手形(紙)を挟 む。 写真に史料番号なし。
1399	15		嘉永7	1854	一條殿御内 (往来手形)	一條殿	在町役人中	紙	写真に史料番号なし。
1400	15		嘉永7カ	—	印鑑 一條殿 (往来手形の一部)	役所	一條殿御用	紙	破損あり。 写真に史料番号なし。
1007	15		安政5	1858	新屋鋪地縄張御見分帳	長百姓 彦兵衛控	小沢弘義外1人	横帳	
50	15		慶応2・2	1866	奉願口上之覚 (通行手形下付願)	筑摩郡会田町村 願人 百姓 恒八	名主 久次郎 与頭 左栄次	紙	女1人の通行

16 宿駅 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1060	16		文化10・10	1813	三宿加人馬四ヶ組江戸出訴内済写 (洗馬・本山・塩尻)	潮村 理兵衛		横帳	写 天野助治郎様御裁許・内済の記録

17 助郷 5点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
925	17		文久元・10	1861	姫宮様御下向ニ付助郷人足帳	出役 長百姓 彦兵衛倅 武左衛門		横帳	No. 924と同綴 出役人名、出勤人足割、御通行荷物等の記載あり。
924	17		文久元・11	1861	和宮様御通輿ニ付助郷賃銀割帳	貝梅村・等々力町村 長百姓 彦兵衛控		横帳	No. 925と同綴 洗馬宿・本山宿から等々力町村・貝梅村への助郷賃銀割等が記載
1004	17		文久元・11・1～	1861	和宮様御下向ニ付人足帳	出役 武左衛門控		綴	No. 1005と同綴
1005	17		文久元・11・1～	1861	和宮様御通輿ニ付助郷賃銀割帳	保高組等々力町村・貝梅村 世話役 武左衛門控		横帳	No. 1004と同綴
738	17		12月16日	—	廻状 (助郷について)	藤森善兵衛	細萱村外6ヶ村 庄屋・組頭中	状	「右之者共御用之義有…」と記載

18 運輸 4点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
62	18		明和元・12	1764	中馬荷物并ニ口銭中馬稼之村名馬数等之申渡			紙	中馬裁定の本文は載せてあるが、具体的な村名や馬数等は省略されている。
153	18		享和3・9	1803	内済一札之事 (松本町つけ出しの荷品と口銭)	松本町問屋 倉科七郎左衛門 大町組惣代大町村庄屋 平林左五右衛門 外各組惣代26人		紙	
188	18		10月15日	—	覚 (急回状)	古厩村庄屋 林 善兵衛	等々力町村外6ヶ村	紙	杉舟木・松小屋板を小泉村まで川下りしたいので御村々御通し下されたく
244	18		9月28日	—	呼出状(廻状) (筏流し難渋の件)	等々力伝右衛門	等々力町村 庄屋・組頭中	状	

19 通信 47点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
80	19		12月5日	—	(礼状)	等々力定右衛門	二木彦兵衛	状	馳走御礼、余分の金を都合する。
274	19		寅12月11日	—	口演 (極内々でお話申上げた一件)	井口新四郎	二木彦兵衛	紙	
582	19		7月9日	—	書簡 (急用事・御調べ御出付きの相談)	上堀金村 同 米倉彦三郎	等々力町村 御堰役 二木彦兵衛	状	
665	19		9月7日	—	書簡(飛札を以て申上候)	狐島村・等々力村役人	等々力町村 御庄屋 井口新四郎 外1人	状	「先般御公役様御参詣の節…」と記載あり。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
671	19		6月1日	—	書簡 (急飛脚を以て申上候)	臼井喜多右衛門外1人	二木彦兵衛	状	重要事項の破断により 出府する等の記載あり。
673	19		7月17日	—	書簡 (病氣見舞と近況)	飯沼宗兵衛	二木彦兵衛	状	
684	19		4月2日	—	書簡 (風邪にて欠勤したが14日には 出勤)	堰役 米倉彦三郎	御堰役 二木彦兵衛	状	
744	19		11月10日	—	書簡 (印形についての御願)	高橋代伝次	二木彦兵衛	状	
756	19		5月23日	—	書簡 (手紙文の最終部分)	等々力村 同役 望月善兵衛	等々力町村 御堰役 二木彦兵衛	状	紙片にて前の部分は欠 落
881	19		1月3日	—	断簡 (内容不詳)	飯沼宗兵衛外1人	二木彦兵衛	紙	「此間中者御苦勞□□ニ 奉存候…」と記載
888	19		10月23日	—	書簡 (御公儀様の等々力治右衛門宅 での休憩通知)	等々力伝右衛門	白金村 庄屋中	状	
890	19		3月25日	—	書簡	飯沼宗兵衛	二木彦兵衛	状	
892	19		7月4日	—	書簡	穂高図書	二木彦兵衛	状	
953	19		7月17日	—	書簡	等々力孫右衛門	二木彦兵衛外1人	状	
954	19		8月7日	—	書簡 (旅先より)			状	越後方面への家族旅よ り出した手紙
959	19		8月16日	—	書簡	望月忠蔵	二木彦兵衛	状	
960	19		7月11日	—	書簡 (金銭問題について)	伊藤弥兵衛	二木彦兵衛	状	一部破損

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
964	19		1月24日	—	書簡 (美濃へ出発)	小川方	二木	状	連絡書
1044	19		11月10日	—	書簡 (忠右衛門との手打の件)	白沢孫右衛門	二木彦兵衛	状	「東都にて…」と封筒に記載あり。
1049	19		4月29日	—	書簡 (飛札ヲ啓上致シ候…)	中嶋刑部左衛門外4人	松平丹波守様 御役人中	状	No. 1050と同包写カ
1050	19		1月11日	—	書簡 (年始の挨拶)	板倉伊予守	松平丹波守	状	No. 1049と同包写カ 「貴札致許見候…」
1083	19		10月12日	—	書簡 (実意ある御案内と御馳走への礼状)	久保田恵二	二木丈右衛門	状	「一筆啓上致候」の記載あり。
1091	19		1月5日	—	書簡 (礼状)		上	状	
1242	19		7月23日	—	書簡 (出府、帰村の報告)	町村 浜与五兵衛	等々力町村 二木彦兵衛	状	
1243	19		7月27日	—	書簡	細萱村 庄屋 宗兵衛外1人	保高町村 彦兵衛	状	「細萱□□破談に付」と記載
1244	19		5月21日	—	廻状 (拾ヶ堰 通水について)	拾ヶ堰役人	上堀金村外4ヶ村 御役人衆中	状	「大急回状 上堀金村始」と記載
1245	19		4月16日	—	書簡 (前文御免下さるべく候…)	いい沼宗兵衛	二木彦兵衛	状	「急要用」の記載
1253	19		丑12月12日	—	書簡	嶋田利右衛門	飯嶋了喜	状	丑12月16日嶋田利右衛門方よりの書状写
1255	19		寅1月5日	—	書簡 (大豆小豆外の相場と取引)	飯嶋了喜	飯沼宗兵衛外6人	状	一部破損 江戸からの書状

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1275	19		7月12日	—	書簡 (松本・渚の住居の様子)	野田素耕	二木彦兵衛外1人	状	封筒に在中
1339	19		7月20日	—	書簡 (出府について)	横内代八郎	彦兵衛	状	「此段御願申…」の記載
1351	19		戌3月21日	—	書簡 (畔竿の帳面について)	井口新四郎	二木彦兵衛	状	
1370	19		11月24日	—	書簡 (任幸便一筆啓上致仕候)			状	「中萱之儀は御世話を 見合わせて下さる様 …」の記載
344	19		年代不詳	—	包紙 (一條殿所)			包紙	
745	19		年代不詳	—	書簡 (二木村の娘への縁談)			状	虫食い
783	19		年代不詳	—	書簡 (岩井様相談に来訪)	望月忠蔵	二木彦兵衛	状	
801	19		年代不詳	—	(御書下ヶ 貝梅村方)			包紙	破損
952	19		年代不詳	—	書簡	庄屋 伊七郎	堰役 彦兵衛	状	「至急用」と記載
956	19		年代不詳	—	書簡 (一筆啓上致シ仕り候)	くらや 嘉蔵	保高宿 二木彦兵衛	状	病気回復の礼状
961	19		年代不詳	—	書簡 (小海渡の底樋修理工事)	浜与五衛	御堰役 二木彦兵衛	状	
1082	19		年代不詳	—	書簡 (一両日中に一寸御立寄願いたい)	加藤伴内	等々力町 彦兵衛	状	包紙に在中 伝言文
1092	19		年代不詳	—	書簡	等々力孫右衛門	二木彦兵衛	状	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1123	19		年代不詳	—	包紙（至急要用）	町村堰役 浜与兵衛	堰役 二木彦兵衛	包紙	包紙のみ
1265	19		年代不詳	—	（包）書簡包紙	喜多村勝十郎	等々力町村 庄屋・組頭中	包紙	包紙のみ
1285	19		年代不詳	—	書簡 （飛却にて無心）		二木様	状	
1286	19		年代不詳	—	書簡 （見舞）	鳥羽拝	二木様	状	虫食い
1371	19		年代不詳	—	書簡 （祇園祭の狂言興行への招待 状）			状	

## 20 戸口 7点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
23	20		享和3・5	1803	奉願口上之覚 （逗留延期願）	保高組等々力町村 庄屋 利右衛門外1人	等々力孫左衛門	紙	
657	20		享和4・2	1804	寺送り一札之事	刈谷原町村 真言宗 洞光寺	等々力町村 御役人中	紙	養子縁組の送り状
659	20		享和4・2	1804	宗門送一札之事	刈谷原町村 名主 善八郎外1人	等々力町村 庄屋 理右衛門外1人	紙	刈谷原村惣右衛門への 養子縁組
658	20		文化元・3	1804	差上申一札之事 （宗門改の詳細な条目内容）	等々力町村 庄屋 利右衛門 外10人		紙	控
656	20		文政9・9	1826	一札之事 （寺送り）	御領所塔原村 給念寺	保高町村 御役人中	紙	仕立業をする為、塩崎 村の親子3人が寺送り状 を持参
456	20		天保9・1	1838	宗門送一札之事			紙	雛形

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
990	20		年代不詳	—	町南方始め (戸別調査の覚書)			綴	

### 21 農業 3点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
216	21		寛政9・8	1797	保高組等々力町村田方虫附書上帳	庄屋 彦兵衛		横帳	
532	21		寛政9・8	1797	保高組等々力町村虫附書上帳	庄屋 彦兵衛		横帳	小字・田地区分・畝歩の個人別書上
236	21		嘉永カ	—	奉願口上之覚 (薄荷製法鑑札頂戴願い)	保高組等々力町村 長百姓 彦兵衛	庄屋 新四郎外1人	紙	村役人を経て産物会所宛へ出している。

### 23 農村 3点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
28	23		正徳元・10	1711	差上申立合連判証文之事 (村地境之義古来より相定り罷候)	麻績組塔原村 庄屋 外33人	丸山安右衛門	紙	後尾に「本書は丸山安右衛門方にある」と記あり。
27	23		宝暦11・4	1761	濟口一札之事 (出入訴訟に付糶256俵余で内濟)	等々力町村 武左衛門外2人	等々力村 治左衛門外1人	紙	
837	23		寛政10・2	1798	保高組等々力町村水車屋敷見取帳 (治右衛門・茂兵衛の2綴)	等々力町村 長百姓 太郎兵衛 外2人	飯田多内外1人	縦帳	

### 25 養蚕 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
503	25		年代不詳	—	蚕かいの秘伝 (宗印伝)			紙	

## 26 畜産 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
397	26		天明4・2	1784	一札之事 (馬野飼としない時期)	百姓代 常右衛門 外3人	庄屋 源左衛門外3人	紙	

## 27 林業 3点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
35	27		文化2・9	1805	御預り申漆木之事 (木高五拾四本 内式拾八本搔 木 式拾六本苗木)	保高組等々力町村 庄屋 丈右衛門外1人	笠井宝右衛門外1人	紙	
900	27		4月16日	—	記 (諸木・本数)			紙	No. 900~902迄同包 一部破損
1291	27		9月24日	—	記 (13匁4歩8厘)	当屋	上	紙	杓材代金

## 29 水産業 16点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
597	29		享保元・ 12・15	1716	鮭御役川共ニ永相渡シ申事	保高組等々力町村 渡り主 平左衛門 外5人	等々力町 太郎兵衛	紙	
1224	29		享保8	1723	覚 (鮭株の受取)	等々力町村 太郎兵衛	等々力町村 新四郎	紙	
677	29		宝暦14・6	1764	差上申御請書之事 (御免札なしの唐網獵につい て)	信州安曇郡等々力村 獵師 孫左衛門 外10人	等々力文右衛門	紙	
678	29		宝暦14・6	1764	差上申御請書之事 (御免札なしの投網獵届の件)	信州安曇郡保高組白 金村 与頭 太右衛門外1人	等々力文右衛門	紙	後尾に天保3年御改の記 述あり。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
679	29		宝暦14・6	1764	差上申御請書之事 (免札なしの唐網漁者が届を守る件)	郡所	等々力文右衛門	紙	奥書あり。
160	29		寛政3・3	1791	永譲り渡申鮭川之事 (鮭漁の権利譲渡の事)	等々力町譲主 吉兵衛外3人	等々力町村 彦右衛門	紙	永譲渡代金5両 上納銀 銀1匁5分
1226	29		天保7	1836	乍恐返答書仕奉上候			巻紙	破損あり。 「保高川・万水川・欠 川・蓼川の鮭不漁に対 し、先規通りに…」と 記載
145	29		天保9	1838	譲渡申鮭川之事	等々力町 譲主 彦右衛門外2人	留右衛門外1人	紙	
611	29		嘉永元	1848	覚 (鮭川盛りニ付殿様御野行)	等々力町 長百姓 彦兵衛		紙	
691	29		嘉永3・9	1850	乍恐奉願口上之覚 (鮭・小魚猟における従来通の 許可願)	等々力町村 願人 三次郎外3人	等々力伝右衛門	紙	
613	29		嘉永7・9・ 17	1854	鮭川筏川下ヶ御渡場江掛出入一 件	等々力町村 長百姓 彦兵衛控		横半	
614	29		嘉永7・9・ 28	1854	保高川筋筏川下一件控	等々力町村 長百姓 彦兵衛		横半	筏渡世と鮭猟
51	29		嘉永7・10	1854	差上申仮規定之事 (筏下ヶと鮭猟の取決め)	池田組青木花見村 訴訟方 八十八外9人	上原仁野右衛門外2人	紙	
612	29		嘉永7・10	1854	保高川筋筏川下ヶ一件控 (筏川下ヶと鮭猟)	等々力町村 長百姓 彦兵衛		横半	
674	29		年代不詳	—	一札之事 (矢原堰での川漁禁止要請)	村方御役人衆中	寺所村 御役人	紙	案文
886	29		年代不詳	—	鮭猟ニ付出入起し覚			紙	鮭猟許可済み8人の小魚 猟禁止指示の記載

### 30 手工業 5点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1085	30		寛政10・ 2・10	1798	差上申一札之事 (水車屋の開設願)	保高組等々力町村 願主 治右衛門外3人	飯田多門外1人	綴	2通あり。
158	30		寛政11・5	1799	差出し申一札之事 (水車搗臼数願高の余分調べの 件)	車屋願主 次右衛門 外1人	庄屋 彦兵衛 与頭 兵左衛門	紙	
994	30		天保16	1845	細工物内入分			綴	半戸棚・箆笥・額縁等 細工物代内入記録
1246	30		10月19日	—	おぼへ (衣裳の仕立賃)	飯田町 仵石や	等々力町 二木口	紙	
1081	30		年代不詳	—	おほへ (ノ31文3分5厘余の鍛冶屋の仕 切書)	塩屋 丈右衛門	町 本家	紙	

### 34 商業 5点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1369	34		寛政11・4	1799	奉願口上之覚 (地境と紺屋株の願書)	等々力町村 彦左外5人	等々力孫右衛門	紙	
1284	34		5月14日	—	書簡	塩屋又右衛門	保高町 塩屋彦兵衛	状	
1368	34		12月11日	—	舌代 (金子の受取)	井口隠居	二木彦兵衛	紙	
1191	34		年代不詳	—	断簡 (松本天神前美濃屋…)			紙	包紙の一部
1328	34		年代不詳	—	油道具調書入		上押野村 官三郎	紙	「油道具残分として代 銀38両相渡す」の記載

35 商人 2点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
44	35		弘化5	1848	奉願口上之覚 (薄荷諸国売捌につき御鑑札頂戴願い)	保高組等々力町村 願主 長百姓 彦兵衛	等々力町村 庄屋 新四郎 与頭 道蔵	紙	
903	35		年代不詳	—	午年御通	堺屋勘十郎	塩屋彦兵衛	袋	空紙袋

36 水利 398点 (1)願書 50点 (2)堰普請目論見・仕様 105点 (3)堰普請割・堰普請人足等 86点 (4)堰普請入用 71点 (5)堰普請出入 21点 (6)堰掛り等 65点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
59	36	1	宝暦3・3	1753	矢原堰 保高組村ニ願書 成相組新田町返答書写	保高組寺所村以下9ヶ 村の村役人連名	等々力八右衛門	綴	矢原堰普請経費を一切負担しない事をめぐる訴訟関係文書
628	36	1	寛政5	1793	奉願口上之覚 (井口寸法は規定のとおり願いたい)			横帳	矢原堰の井口寸尺誤りの為、流末迄水届かず。
287	36	1	文化12	1815	穂高村 成相組・長尾組 拾ヶ 村新堰新堀々立願書控	等々力町村 堀役 丈右衛門		横帳	
280	36	1	文化12	1815	拾箇村組合堀立日記	吉野村 庄屋 勘兵衛控写		横半	
423	36	1	文化14・11	1817	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏底樋普請代糶 200俵の返済猶予願)	保高組寺所村 庄屋 源次郎外9ヶ村	等々力孫右衛門 藤森善太夫	紙	
169	36	1	文化	—	奉願口上之覚 (十ヶ村冥加糶献上願書)	保高組吉野村外5ヶ村 成相組新田町村外2ヶ 村 長尾組下堀金村外2ヶ 村	藤森善太夫 丸山杵右衛門 等々力伝右衛門	紙	十ヶ村新堰に関する御厚恩への冥加について
29	36	1	文政4・7	1821	乍恐奉願口上之覚 (新堰開削願い)	池田組萩原村 願主 惣左衛門外8人	組頭 惣右衛門外2人	紙	萩原堰の堀立て

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
181	36	1	文政5・12	1822	奉願口上之覚	拾ヶ村役人	平光堅次外3人	紙	拾ヶ村新堰水門樋橋修復70両頂戴。
432	36	1	文政8・10	1825	(裏面の斜書に矢原堰宮裏願書控)	保高組 庄屋 白沢藤左衛門 外5カ村		紙	破損欠落
411	36	1	文政9	1826	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮浦ぬる堰の残水 堰仕立替検分の申請)			紙	下書
430	36	1	文政9・ 10・17	1826	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰・ぬる堰満水場の御見 分願)	穂高組寺所村、細萱 村、白金村外7ヶ村 成相組新田町村 各村役人名	井口半蔵外1人	紙	
437	36	1	文政11・10	1828	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏上樋の土手・ 石垣・砂留流失につき普請申 請)	保高組寺所村 与頭 清左衛門 外7ヶ村	井口忠兵衛 藤森善太夫	紙	
174	36	1	文政12・11	1829	差上申済口一札之事 (穂高神社神領の用水願)	願主 穂高司馬外3人	御郡所	紙	
585	36	1	文政13・3	1830	奉願口上之覚 (矢原堰寺所村地内水門朽損対 応願)			紙	
596	36	1	文政カ	—	細萱宮裏底樋口願			紙	元文2年小倉御林より材 料頂くの記あり。
420	36	1	天保3・11	1832	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮浦上樋場所の普 請諸木注文につき御見分願)	保高組等々力町村 堰役 丈右衛門外1人	等々力伝右衛門	紙	
436	36	1	天保3・11	1832	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏底樋改修の普 請申請)	井掛惣代 保高組等々力町村 堰役 丈右衛門外3人	等々力伝右衛門	紙	
413	36	1	天保4・2	1833	差上申一札之事 (矢原堰細萱宮裏底樋補修の普 請申請)	井掛惣代 保高組等々力町村 堰役 丈右衛門外3人	近藤茂右衛門外1人	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
207	36	1	天保4・11・6	1833	矢原堰細萱宮裏底樋 (この上樋底樋の損傷普請の経歴)		近藤茂右衛門外3人	紙	
396	36	1	天保5・12	1834	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏上樋場上下の朽損部普請申請書)	保高組等々力町村 庄屋 弥兵衛外3人	等々力伝右衛門	紙	
863	36	1	天保6・1	1835	乍恐奉願口上之覚 (新堰役人の辞退届)	願主 堰役 丈右衛門外2人	等々力伝右衛門	紙	老齢・病身のため
179	36	1	天保6・11	1835	乍恐奉願口上之覚 (拾ヶ堰の諸入用金の未返済)	等々力町村 願主 堰世話役 丈右衛門外2人	等々力伝右衛門	紙	
416	36	1	天保11・9・14	1840	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰宮裏上樋場所損傷の件、木品取揃御許容願)	井掛村々 惣連中		紙	
409	36	1	天保13・11	1842	乍恐追訴奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏御普請の入用金願)	矢原口惣	惣	紙	控
218	36	1	嘉永元	1848	矢原堰願書控	訴訟人 保高町村 庄屋 儀左衛門外1人	寺社御奉行所	横帳	田沢村枝郷徳次郎の水防
56	36	1	嘉永4・8	1851	奉願口上之覚 (細萱村宮裏の矢原堰底樋について検分願出)			紙	下書
465	36	1	嘉永5・11	1852	乍恐奉口上之覚 (矢原堰宮裏底樋の普請)	等々力町村 堰役 彦兵衛 外各村々28人	藤森善太夫外1人	紙	
866	36	1	嘉永6・2・28	1853	(保高組屋丁役の難渋理由と申出)			紙	破損 犀川・保高川・万水 川・烏川等の普請
368	36	1	嘉永6・11	1853	矢原堰宮裏底樋願書控	等々力町村 堰役 彦兵衛		横半	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
435	36	1	嘉永7・2	1854	奉願口上之覚 (矢原堰底樋の朽損と見分)	保高組矢原村 堰役 彦兵衛外4人	藤森善太夫	紙	
426	36	1	嘉永7・4	1854	差上申請負証文之事 (矢原堰宮浦底樋仕建替につき 請負)	保高組等々力町村 請負人 玉吉外1人	矢原堰井掛り 御役人衆中	紙	奥書あり。
417	36	1	安政5・11	1858	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏底樋修理普請 の御見分願)	井懸り一同		紙	案文
593	36	1	安政5・11	1858	奉願口上之覚 (矢原堰宮裏底樋破損につき御 普請願)	保高組等々力町村 堰役 彦兵衛外9ヶ村	藤森善太夫外1人	紙	案文
441	36	1	安政6・11	1859	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏底樋普請の資 材援助申請)	保高組等々力村 堰役 彦兵衛外9ヶ村	藤森善太夫 等々力伝右衛門	紙	
401	36	1	文久2・2	1862	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏底樋大破場所 御見分願)	等々力町村 堰役 彦兵衛外等々 力村・矢原村・白金 村4人	藤森善太夫	紙	奥書の大庄屋印は消印
407	36	1	文久2・2	1862	奉願口上之覚 (矢原堰底樋等破損の修理木品 準備の為の見分願)	保高組等々力町村 堰役 彦兵衛外4人		紙	案文 加除修正あり。
408	36	1	文久2・2	1862	奉願口上之覚 (矢原堰砂入場・底樋の普請場 所等の見分願)	保高組等々力町村 堰役 彦兵衛外4人	藤森善太夫	紙	
167	36	1	文久2・11	1862	乍恐奉歎願口上之覚 (十ヶ堰流末不順水と近年諸経 費入用増につき歎願書)	保高組柏原村 願人 長百姓 勘左衛門 外4人		紙	
440	36	1	文久2・11	1862	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏底樋普請の入 用品等の申請)	保高組等々力村 堰役 彦兵衛外9ヶ村	藤森善太夫 等々力伝右衛門	紙	
238	36	1	6月7日	—	(呼出状)	笠井室右衛門外1人	等々力町村 堰役世話役中	横半	相尋候御用之儀有之候 間今晚中細萱村役宅迄 可被罷出候

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
675	36	1	閏5月10日	—	書簡 (新堰井口沢の満水荒所について)	井口新四郎	二木彦兵衛外1人	状	
682	36	1	5月11日	—	書簡 (堰筋急用事・満水にて橋落ち諸道具等流失)	矢原村 西沢忠兵衛	等々力村 望月十三郎	状	前半部破損
736	36	1	4月13日	—	書簡 (矢原堰砂堀は滞りなく相済…)	等々力村 同役 望月善兵衛	等々力町村 御堰役 二木彦兵衛	状	
753	36	1	1月13日	—	書簡 (拾ヶ堰初会合来ル十七日柏原村大堂ニおいて…)	庄屋 伊藤弥兵衛	堰役 彦兵衛外1人	状	
896	36	1	4月24日	—	(拾ヶ堰横掘の順水不能について)	伊藤弥兵衛外1人	彦兵衛外1人	紙	
962	36	1	9月15日	—	差紙 (十ヶ堰の件で呼出)	濱与五衛	等々力町村 御堰役 二木彦兵衛	状	
963	36	1	9月13日	—	書簡 (堰の諸木代)	堰役 米倉彦三郎	御同役 二木彦兵衛	状	
360	36	1	年代不詳	—	乍恐以書付奉願上候 (矢原堰廻りの申出)	等々力町村 井掛り惣代兼親類 彦兵衛	御役所	横帳	控
431	36	1	年代不詳	—	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰砂堀の申請)	保高組等々力町村 堰廻り 長百姓 丈右衛門外7ヶ村		紙	下書カ
661	36	1	年代不詳	—	廻状 (伝達文書)	等々力町村 彦兵衛	新田町村外9ヶ村 右村々御役所中	紙	矢原堰宮裏御普請の御救願書
136	36	2	寛保2・4・2	1742	矢原堰土井口寸尺御改帳写	等々力町 彦兵衛	堰廻役人中	横帳	
137	36	2	寛保2・4	1742	矢原堰土井口寸尺写		松村作太夫外2人	横帳	各地区の井口の寸法

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
138	36	2	宝暦3・3	1753	矢原堰井掛リニ付新田町と取合ニ付口上書返答書写	等々力町庄屋 武左衛門		横帳	
139	36	2	安永4・4	1775	安永四乙未矢原堰土井口御改覚控帳	保高組等々力町村彦兵衛		横帳	
512	36	2	安永4・4	1775	覚(安永4年・享保12年の矢原堰井口の見分)	保高組柏原村庄屋 与一衛門外6ヶ村	等々力文右衛門	紙	
676	36	2	天明2	1782	保高組・長尾組・成相組 勘左衛門堰堀立御目論見	成相組成相町村庄屋 勘治外14ヶ村 33人	等々力文右衛門外1人	紙	梓川・木曾川の周辺普請
302	36	2	寛政5・2	1793	保高組矢原堰掘普請目論見帳			横帳	寺所村外9ヶ村の工事区間と人足数 No. 299と同綴
627	36	2	寛政5カ	1793	(堰普請の場所及材料)			横帳	No. 628と同綴
615	36	2	寛政7	1795	矢原堰覚帳(普請の記録)			縦帳	井口毎の杭数覚・井掛高覚等
222	36	2	文化12	1815	(拾ヶ堰人足割)			横半	
1017	36	2	文化12・12	1815	保高組・長尾組・成相組 拾箇村新堰堀立目論見帳			横帳	
288	36	2	文化13・9	1816	拾箇新堰川東大底樋仕建控	井懸り拾ヶ村引負人 輪兵衛		横帳	堰役彦兵衛控
285	36	2	文化カ	—	拾箇新堰水門絵図(製図)			紙	
277	36	2	文政4	1821	矢原堰・十ヶ新堰日記帳	等々力町村堰役 丈右衛門		縦帳	
538	36	2	文政5・17	1822	新堰貝梅沖諸入用調控			横帳	拾ヶ堰

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
200	36	2	文政6	1823	長尾組・成相組・保高組 拾箇 村新堰井口仕替普請調下		久野外3人	横帳	井口の場所を明示。
299	36	2	文政9・3	1826	ぬる堰残水矢原堰合水目論見帳	安江郡左衛門	井口半蔵 御目録見御役人 松田豊七外1人	横帳	堰廻り 丈右衛門控 No. 305まで同綴
300	36	2	文政9・4	1826	矢原堰入口新堀御目論見写 同 断井掛り役人目論見控帳			横帳	堰廻り 丈右衛門控 No. 299と同綴
173	36	2	文政11・ 3・5	1828	奉願口上之覚 (諸木注文の鑑札願)	井掛り惣代 成相組成相町村 堰役 市右衛門外3人	井口半兵衛外2人	紙	木曾川口梓川口の水門 の諸木注文書写
758	36	2	文政11・3	1828	請負申一札之事 (新堰木曾川口水門老ヶ所)	保高組保高町村 請負人 藤吉外1人	拾箇村井掛り 御役人衆中	紙	奥書(庄屋 甚三郎外1 人)あり。 入用木注文書の内訳明 細を記載
600	36	2	文政11・5	1828	矢原堰細萱宮裏切り口内目論見 之覚	細萱村 請負人 源蔵外1人	矢原堰井掛り 御役人衆中	紙	人足合計462人
740	36	2	文政11・10 ～	1828	ぬる堰・矢原堰 御目論見帳 人足割賦控	堰役 丈右衛門		横半	
601	36	2	文政11・ 12・11	1828	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏上樋場所諸木 注文書ニ付御鑑札頂載)	保高組等々力町村 井掛り惣代 堰役 条右衛門外3人	井口半蔵	紙	
467	36	2	文政12・3	1829	請負申一札之事 (矢原堰宮裏上樋請負)	細萱村 請負人 武兵衛外2人	井掛御役中	紙	奥書あり。
403	36	2	文政12・3	1829	請負申一札之事 (矢原堰宮裏上樋普請の請負証 文)	細萱村 請負人 武兵衛外2人	井掛り御役人中	紙	奥書に細萱村役人名あ り。
199	36	2	文政13	1830	新堰井口水均寸分帳	堰頭 丈左衛門		紙	井口の大きさ
742	36	2	文政13・ 3・3	1830	矢原水門親規建替仕様帳控		御出役 御作事 森善太夫外2人	横半	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
399	36	2	天保4・1	1833	請負申証文之事 (矢原堰細萱宮浦表御普請諸木注文書)	保高組矢原村 請負人 亀重郎外1人	矢原堰井掛り 御役人・堰廻り衆中	紙	奥書として矢原村庄屋・与頭2人記す。
369	36	2	天保4・2	1833	保高組矢原堰細萱宮浦上樋場所目論見帳写	篠田武右衛門	等々力伝右衛門	横帳	
402	36	2	天保4・2・12	1833	奉願口上之覚 (矢原堰細萱村宮浦上樋場所諸木につき御鑑札頂戴)	矢原堰井掛惣代 保高組等々力町村 堰役 条右衛門外3人	等々力伝右衛門	紙	
433	36	2	天保5・12	1834	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮浦上樋御普請)	井掛惣代 保高組等々力町村 庄屋 孫兵衛外3人	等々力伝右衛門	紙	
632	36	2	天保9・12	1838	矢原堰水門并四杵新規建替仕様帳			横帳	No. 631と同綴 新杵の製法、用材の材質・寸法等の説明
625	36	2	天保11	1840	覚 (堰普請、上樋普請の材料)			横帳	No. 624と同綴 栗・松木等
626	36	2	天保11・11	1840	保高組矢原堰宮浦場所目論見帳			横帳	No. 624と同綴 上樋・底樋普請の人足
624	36	2	天保11・12	1840	細萱宮裏御普請諸木注文書	等々力町村 彦兵衛		横帳	No. 626迄同綴
405	36	2	天保12・1	1841	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰御普請諸木持出しの件)	保高組矢原村 与頭 儀右衛門外2人	等々力伝右衛門	紙	
365	36	2	天保13・5	1842	矢原堰御普請所流失書上帳	保高組等々力村 彦兵衛外5人	等々力伝右衛門	横帳	
278	36	2	天保15	1844	拾ヶ新堰御堀立之事御高入地之控			縦帳	新堰堀立願人之事 御高入村々之事
404	36	2	(天保カ) 5月8日	—	口上之覚 (犀川満水時の矢原堰揚口について)			紙	案文にて出所・宛名なし。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1227	36	2	弘化2・3	1845	(袋) 拾箇新堰諸書附入	堰役 彦兵衛		袋	袋のみ
129	36	2	弘化3・4	1846	拾箇堰御普請仕様書上帳	等々力町村 堰役 彦兵衛	市川助一郎外1人	横帳	組別村別材料名・人数 等記入
1009	36	2	弘化3・6	1846	保高組・長尾組・成相組 拾箇 新堰諸木伐限・人足割賦調書上 帳	堰役 彦兵衛控		横帳	「天保八酉年方弘化三 丙午年迄拾ヶ年分」と 記載
165	36	2	弘化3・11	1846	奉願口上之覚 (拾箇堰川東底樋朽損につき仕 建替え願)	拾ヶ村堰関連村々の 庄屋・組頭連名	藤森善太夫 丸山左右衛門 等々力伝右衛門	紙	底樋を作り替えるため の材料数量記述
140	36	2	嘉永元・5	1848	口上書	井懸り 矢原村・細萱村 外8ヶ村		横帳	奉差上口上之覚10枚・ 口上之覚10枚
975	36	2	嘉永3	1850	覚 (安永・宝暦・嘉永年間におけ る書類の所在)			紙	「矢原堰に関する新田 町との取合い」を記載
325	36	2	嘉永3・7・ 22	1850	諸木代金差引勘定帳	堰役 彦兵衛		横半	
305	36	2	嘉永4	1851	宮裏諸木口石積替掘埋人足大工 扶持作料			綴	入札の記録 No. 299と同綴
439	36	2	嘉永4・9	1851	奉差上注文書之覚 (資材明細)	保高組等々力村 堰廻り 彦兵衛 外2ヶ村	等々力伝右衛門	紙	裏面に10ヶ村にて矢沢 半十郎外1人宛の報告書
1183	36	2	嘉永6・1	1853	(袋) 拾箇堰諸書附入	堰役 彦兵衛		袋	袋のみ
1100	36	2	嘉永6・4・ 19	1853	矢原堰諸書附入	堰役 彦兵衛		袋	紙袋のみ
743	36	2	嘉永7・2	1854	(袋) 拾箇堰埋枠普請書附入	堰役 彦兵衛		袋	袋のみ

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
434	36	2	嘉永7・3	1854	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏底樋について)	井掛り惣代 保高組矢原村 庄屋 臼井弥五左衛門外4人	藤森善太夫	紙	
527	36	2	嘉永7・3	1854	矢原堰細萱宮裏底樋注文書 上			横帳	No. 524と同綴
629	36	2	嘉永7・3	1854	成相組・保高組 矢原堰細萱宮 裏底樋場所目論見帳	松野誥右衛門	等々力伝右衛門	横帳	
301	36	2	嘉永7・4・ 5	1854	矢原堰細萱宮裏底樋上戸仕建替 諸木石持届ヶ人足別帳			横帳	諸木 多田井村より 石 烏川より No. 299と同綴
303	36	2	嘉永7・7	1854	矢原堰盆前諸入用 細萱宮裏諸 事諸入用帳	堰役 彦兵衛控		横帳	No. 299と同綴
427	36	2	嘉永7・10	1854	奉願口上之覚 (矢原堰寺所地内水門普請の御 見分願)	保高組等々力町村 堰役 彦兵衛 外9ヶ村	藤森善太夫外1人	紙	案文あり。
631	36	2	嘉永7・ 12・4	1854	矢原堰水門御修覆仕様帳	堰役 彦兵衛		横帳	No. 633迄同綴 用材の樹種・規格寸 法、使用箇所等の説明
406	36	2	嘉永7・12	1854	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰御普請入用品の件)	保高組等々力町村 外7ヶ村	藤森善兵衛外1人	紙	案文 正式文章でなく出所・ 宛書等紙の空所に書 く。
529	36	2	嘉永7カ	1854	覚 (矢原堰普請の諸木書上げ)	細萱村 源蔵外1人	矢原堰 御役人衆中	紙	No. 528の附紙
428	36	2	安政5・11	1858	差出申請負一札之事 (矢原堰細萱宮裏上樋仕立替に ついて)	保高組細萱村 請負人 今蔵外1人	矢原堰井掛り 御役人・堰廻り衆中	紙	奥書あり。
694	36	2	安政7	1860	拾箇堰井口幅寸尺改帳	堰役 彦兵衛		縦帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1010	36	2	安政7・閏3	1860	成相組・長尾組・保高組 拾箇堰目論見帳		川除方	横帳	
944	36	2	万延2	1861	拾箇堰堀廻し一件ニ付諸事控	堰役 彦兵衛		横半	No. 941と同綴
941	36	2	万延2・2	1861	拾ヶ新堰新堀地水并間数控	堰役 彦兵衛控		横半	No. 945迄同綴 関連5帳面一括
942	36	2	万延2・2・28	1861	拾箇堰尻 松川組富田新田村・嵩下村・耳塚村・新屋村、保高組橋爪村 井筋前見	等々力町村 堰役 彦兵衛外1人		横半	No. 941と同綴
945	36	2	万延2カ	1861	古堰 (一番～二十七番、堰堀区間)			横半	No. 941と同綴
643	36	2	文久元・4	1861	拾箇新堰井口定控	堰役 彦兵衛		横半	No. 642と同綴
921	36	2	文久2・3	1862	成相組・長尾組・保高組 拾ヶ堰目論見帳	川除方	井掛り 村々庄屋・組頭	横帳	拾ヶ堰補修箇所毎に必要な材料・人足数書上の計画書
536	36	2	文久3・1・18～	1863	懐中記録帳 (矢原堰・新堰・勘左衛門堰普請の記録)	堰役 彦兵衛		横半	
511	36	2	文久4・2	1864	(貝梅新堤の人足名と略図)			紙	
537	36	2	慶応3・2・6～	1867	拾ヶ堰下目論見帳 (普請の区間・人足数)	堰役 彦兵衛控		横半	
295	36	2	慶応4・3	1868	矢原堰寺所村地内水門仕建替諸事控帳	等々力町村 堰役 彦兵衛		綴	
296	36	2	慶応4・3	1868	保高組矢原堰水門御修覆仕様帳			横帳	No. 295と同綴
319	36	2	慶応4・3	1868	保高組矢原堰水門御修覆諸木積帳			横帳	No. 295と同綴

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
550	36	2	慶応4・閏 4・5	1868	横堀下見帳			横半	作業区間と人足割
644	36	2	慶応4・5・ 26	1868	拾箇堰堀替御目論見控			横半	No. 642と同綴 井懸村々役人・堰役人 立合、本村右左衛門堰 元役人立合
547	36	2	慶応4・5	1868	拾箇堰川東荒所下見帳			横半	普請場所と入用材料 (木材)
642	36	2	慶応4・5	1868	拾箇堰川東荒所御見分ニ付書上 帳	堰役 彦兵衛		横帳	No. 645迄同綴
645	36	2	慶応4・5	1868	拾箇新堰川東新堀目論見帳			横帳	No. 642と同綴
630	36	2	明治2・3	1869	矢原堰砂堀普請下見書上	等々力町村 堰役 彦兵衛	等々力伝右衛門	横帳	普請予備調査の集計帳
938	36	2	明治4・5・ 12	1871	北堰新堀下見帳	安曇郡等々力町村 二木昇平控		横半	
592	36	2	11月10日	—	口上 (矢原堰宮裏底樋願書の件につ き廻状)	等々力町村 彦兵衛	御役人衆中	状	
669	36	2	7月10日	—	書簡 (矢原堰水揚に係る帳面の件)	等々力村 望月十三郎	等々力町村 二木武左衛門	紙	「甚暑の石切ニ御座候得 共益々…」の記載あ り。
683	36	2	7月1日	—	書簡 (烏川と横堀人足)	上堀金村 役人	拾ヶ堰 御堰役中	状	
693	36	2	4月19日	—	書簡 (矢原堰口普請の丁場割等につ いて)	望月十三郎	等々力町村 二木彦兵衛	状	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
882	36	2	12月19日	—	書簡 (飛脚を以て啓上仕り候)	保高町村 丸山佐左衛門外1人	町村御堰役 浜与五兵衛	状	「川東底樋諸木梓川筋 川下ヶ仕度候…」と記載
965	36	2	12月10日	—	書簡 (堰水の暮割について)	堰役 米倉方	御堰役 二木彦兵衛	状	
1043	36	2	3月24日	—	廻状 (堰普請の議)	堰役 十三郎	御堰役 御衆中	状	「急用」と記載
733	36	2	9月22日	—	書簡 (矢原堰宮浦底樋の資材明細帳 について)	等々力伝右衛門	矢原村 庄屋・組頭中	状	
734	36	2	3月3日	—	書簡 (宮裏上樋の件での相談につい て)	岡村源一郎	二木彦兵衛外2人	状	
226	36	2	年代不詳	—	文化十二年十二月二日御許容ニ 相成申候拾ヶ新堰御掘立目論見 帳			包紙	包紙のみ
291	36	2	年代不詳	—	一札之事 (拾ヶ堰の流末村々の規定)			紙	草稿
323	36	2	年代不詳	—	下堀金村出郷扇町ニ而出金書上 之覚			紙	宝永2酉 旱魃 新堰
400	36	2	年代不詳	—	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮浦底樋)			紙	案文途中
535	36	2	年代不詳	—	拾ヶ新堰実地反別 (各村の拾ヶ堰灌溉面積)			紙	
668	36	2	年代不詳	—	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰宮浦底樋普請)			紙	入用資材の注文書下書
784	36	2	年代不詳	—	口上 (矢原堰について)	町 彦兵衛	保高村 御庄屋 伊藤弥兵衛	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
785	36	2	年代不詳	—	断簡 (村継早々)	等々力伝右衛門	等々力町村 拾ヶ新堰々役中	包紙	
893	36	2	年代不詳	—	書簡 (鮭川と川除け)			状	
943	36	2	年代不詳	—	(烏川を天満沢迄拾ヶ堰堀立堰筋前見)			横半	No. 941と同綴
1134	36	2	年代不詳	—	水門木品注文書			紙	木材の種類と寸法を記載
1229	36	2	年代不詳	—	(包) 拾ヶ堰書類			包紙	包紙のみ
1220	36	2	年代不詳	—	書簡 (拾ヶ村新堰の中曾根埋樋普請について)			状	虫食い
1257	36	2	年代不詳	—	(屋丁、井懸り役 新田町村土井等)			横帳	
986	36	3	寛文	—	(正保・寛文・元禄・正徳・延享の川除村名、代官名)		御代官	紙	
603	36	3	寛保2・4	1742	井口柱数覚 (本数と寸法)		松村作太夫外2人	横半	No. 607迄同包
638	36	3	天明2・3	1782	保高組・成相組・長尾組 勘左衛門堰新堰目論見帳	成相組相町村 庄屋 勘治外13ヶ村 32人	等々力丈右衛門外1人	横帳	人足及び入用 勘左衛門堰の大改修
637	36	3	寛政10・2	1798	勘左衛門堰寄御普請丁場割覚帳	保高村 庄屋 弥兵衛外2人		横帳	
651	36	3	享和元・ 3・25	1801	堀田口五ヶ村組合寄御普請人足帳	柏原村 庄屋 善右衛門外2人		横帳	人足数・人名の覚

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
362	36	3	文化14・ 3・5	1817	矢原堰上樋仕立元出諸木人足附 覚帳			横半	
364	36	3	文化14・ 3・6	1817	矢原堰細萱宮裏上樋諸木石寄人 足帳			横帳	「宮裏注文直段付覚」 文政9年書き 3枚同綴
163	36	3	文政2・4	1819	三ヶ年仮規定之事 (拾ヶ村新堰の普請引請規定の 延長の件)	保高組長尾組成相組 各村惣代9人	金井条右衛門 丸山円十郎 井口半蔵 藤森善太夫	紙	出人足の割合規定
526	36	3	文政11・ 5・18	1828	矢原堰正覚院西掘替人足丁場割 帳			横半	No. 524と同綴
499	36	3	文政11・7	1828	差出申一札之事 (矢原堰宮裏上樋の土手砂留流 失)	保高組細萱村 本人 忠五郎外3人	堰廻り衆中	紙	奥書あり。
500	36	3	文政11	1828	差出申一札之事 (矢原堰宮裏上樋の土手砂留流 失)	本人	堰廻り中	紙	No. 499の下書カ
501	36	3	文政11	1828	差出申一札之事	保高組柏原村 当人 道太郎外2人	堰役人衆中	紙	奥書あり。
462	36	3	天保9・2	1838	奉願口上之覚 (矢原堰寺所水門の普請)			紙	
759	36	3	天保10・1	1839	新堰・矢原堰日記帳	保高 二木彦兵衛		横帳	普請人足、お出張の役 人の記載
760	36	3	天保11・1	1840	新堰・矢原堰日記帳			横帳	普請人足・普請状況の 記載
412	36	3	天保11・12	1840	差上申一札之事 (矢原堰細萱宮裏上樋破損場所 等普請について)	井掛惣代 保高組等々力町村 堰廻り 丈右衛門 外5人	横内代右衛門外1人	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
389	36	3	天保カ	—	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰細萱村宮裏上樋御普請)	等々力町村 源十外16ヶ村47人	等々力伝右衛門外1人	綴	
131	36	3	弘化4	1847	(矢原堰砂掘り人足・普請入用等雑記)			綴	
1018	36	3	嘉永2	1849	矢原堰出入一件・拾ヶ新堰之事・井掛り出人足割之事			横帳	
321	36	3	嘉永3	1850	戌夏諸差引帳 (堰普請の費用)			横半	
761	36	3	嘉永4・1	1851	拾箇堰・矢原堰日記帳	保高 二木彦兵衛		横帳	普請毎の人足状況の記載
421	36	3	嘉永5・3	1852	差上申請負証文之事 (矢原堰細萱宮裏底樋御普請の請負について)	重柳村 請負人 新四郎外2人	井掛り 御役人衆中	紙	
279	36	3	嘉永6	1853	拾箇堰・矢原堰日記帳	保高 二木彦兵衛		横帳	
616	36	3	嘉永6・1	1853	懐中記録帳 (矢原堰普請の記録)	保高 不多津喜選弥		横帳	
392	36	3	嘉永6・11	1853	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏底樋の修理申請)	保高組等々力町村 堰役 彦兵衛外9ヶ村	藤森善太夫外1人	巻紙	
304	36	3	嘉永7・3	1854	矢原堰細萱宮裏底樋御普請諸入用代銀書上書	堰役 彦兵衛控		横帳	No. 299と同綴
1016	36	3	安政3・1・1	1856	懐中記録帳 (新堰の普請)			横帳	
220	36	3	安政3カ	1856	辰年取集貳百三拾七兩壱分壱朱			紙	矢原堰宮浦普請諸道具

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
414	36	3	安政5・11	1858	差出シ申請負一札之事 (矢原堰細萱宮裏上樋御普請石 工大工等人足数)	保高組矢原村 請負人 市左衛門 外1人	矢原堰井掛り 御役人・堰廻り衆中	紙	矢原村庄屋の奥書あ り。
438	36	3	安政5・11	1858	差出申請負一札之事 (矢原堰宮裏普請について)	保高組細萱村 請負人 常右衛門 外1人	矢原堰井掛り 御役人・堰廻り衆中	紙	奥書あり。
623	36	3	万延元	1860	□□□記録 (矢原堰・拾ヶ堰普請の記録 等)			横帳	万延元年～安政7年迄
541	36	3	文久2・2	1862	拾箇堰矢原堰記録	堰役 彦兵衛		横帳	
636	36	3	文久2・4	1862	(矢原堰普請の人足割)			綴	
281	36	3	元治元	1864	拾箇堰記録帳 (普請の記録)	堰役 彦兵衛		横半	
540	36	3	元治2	1865	懐中記録控 (拾ヶ堰・矢原堰の普請)	堰役 彦兵衛		横半	慶応元年改ル
284	36	3	慶応2・3	1866	拾箇堰砂堀丁場割帳	御普請 堰役 彦兵衛控		横半	
283	36	3	慶応2・4	1866	拾箇堰横堀目論見帳	堰役 彦兵衛		横半	村名、仕事に出た人数
297	36	3	慶応2・11	1866	寅盆後拾ヶ堰入用切手			横半	
282	36	3	慶応3・3	1867	拾箇堰砂堀人足元帳			横半	村々からの人足数
549	36	3	慶応4・閏 4・7	1868	横堀丁場割帳			横半	作業区間と村別の人足 割
548	36	3	慶応4・閏 4・16	1868	横堀下目論見帳			横半	作業区間と人足割

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
869	36	3	慶応4・4	1868	矢原堰御普請屋丁人足元帳	堰役 彦兵衛		横半	
640	36	3	慶応4・6	1868	成相組・保高組・長尾組 拾箇堰振替目論見帳写	堰役 彦兵衛	横内代右衛門外2人	横帳	No. 641同綴 弘化3年～慶応4年の川除等人足について
542	36	3	明治2	1869	拾箇堰川東砂堀・横堀人足割元丁場割控	堰役 彦兵衛控		横半	5月12日分普請
544	36	3	明治2・3・13	1869	拾箇堰砂堀丁場割流末方中丁場迄			横半	
551	36	3	明治2・3・13	1869	三箇組砂堀重割元帳	堰役人		横半	成相組・長尾組・保高組の各村の人足割
543	36	3	明治2・3・19	1869	拾箇堰上丁場割			横半	普請区間と村別の人足割
546	36	3	明治2・3・22	1869	拾箇堰川東砂堀堰代除係普請丁場割	堰係控		横半	
641	36	3	明治2・5	1869	保高組・長尾組・成相組 川東荒所新堀三ヶ組屋丁割合ニ付		保高組等々力町村 堰役 彦兵衛	綴	No. 640と同綴 文政2年三ヶ組で歩合を定める。
545	36	3	明治2・6	1869	川東堰代除普請丁場割元	堰係 彦兵衛控		横半	
913	36	3	明治6	1873	(水野壱岐守様分地・拾ヶ村新堰工事・田沢村山入の事等、史実の記録)	等々力町村 堰役 彦兵衛		横帳	正保・正徳・宝永代の諸事を後年(明治)に記録した物。近世に分類
161	36	3	6月26日	—	拾ヶ堰横堀普請人足割	等々力伝右衛門	右村々庄屋与頭中	紙	包紙に「急御用 吉野始メ」とあり。
170	36	3	4月22日	—	(十ヶ堰飯田地内切入小海渡村押入の件)	藤森善兵衛	十ヶ新堰世話役中	紙	普請の方法について記述。
201	36	3	寅3月	—	梓川水門諸木持届人足附	新堰堰廻り 月番	小栗助九郎外1人	横帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
224	36	3	4月22日	—	(長尾組人足数の書上)			綴	
322	36	3	11月26日	—	(熊倉堰・勘左衛門堰・新田堰の揚方、堰役、堰廻りの氏名)	彦兵衛		紙	11月26日改め書上
324	36	3	3月22日	—	(矢原堰・十ヶ堰の砂堀)	等々力伝右衛門	堰役 彦兵衛	状	通知
326	36	3	4月21日	—	廻状・拾箇堰横堀人足割	丸山左衛門	村々庄屋・組頭	紙	11ヶ村へ人足割
662	36	3	5月25日	—	書簡(横堀御普請仰付られと承知)	庄屋 高橋彦太郎	堰役 二木彦兵衛	状	
667	36	3	4月23日	—	書簡 (矢原堰口下見における必要人足数)	熊倉宿方 望月十三郎外1人	二木彦兵衛	紙	
672	36	3	5月晦日	—	書簡 (揚口普請の着手により水引揚)	矢原村 西沢忠兵衛外1人	二木彦兵衛	状	「一翰啓上仕候…」の記載あり。
687	36	3	4月14日	—	廻状 (拾箇堰横堀普請人足調)	丸山左右衛門	右村 庄屋・与頭衆中	紙	
885	36	3	辰8月	—	(川除関係・松本藩士一覧)			紙	川除記録方ほか地域分担等、松本藩士の氏名一覧の記載あり。
894	36	3	6月	—	拾ヶ堰横堀普請人足割	庄屋 丸山左右衛門	庄屋・与頭中	紙	
1037	36	3	4月16日	—	廻状 (拾箇堰横堀普請人足割)	等々力伝右衛門	右村々 庄屋・与頭中	紙	
1045	36	3	5月11日	—	廻状 (拾箇堰横堀普請并川東砂堀之人足割)	等々力伝右衛門	右村々 庄屋・与頭中	紙	吉野村外9ヶ村人足8,099人

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1046	36	3	4月21日	—	廻状 (拾箇堰横掘普請人足割)	等々力伝右衛門	右村々 庄屋・与頭 中	紙	虫食い 吉野村外9ヶ村の人足
1047	36	3	4月5日	—	廻状 (拾箇堰横掘普請人足割)	等々力伝右衛門	右村々 庄屋・与頭 中	紙	吉野村外9ヶ村の人足
1048	36	3	4月16日	—	廻状 (拾箇堰横掘普請人足割)	等々力伝右衛門	右村々 庄屋・与頭 中	紙	吉野村外9ヶ村の人足
1094	36	3	6月16日	—	拾箇堰横掘普請人足割 (小田多井外7ヶ村)	丸山杢右衛門	右村々 庄屋・与頭中	紙	「急御用 拾ヶ堰」の 表書
1095	36	3	6月26日	—	拾箇堰横掘普請人足割 (上中堀外10ヶ村)	長尾組 庄屋 丸山杢右衛門	右村々 庄屋・与頭中	紙	「急御用」の表書
1096	36	3	6月	—	拾箇堰横掘普請人足割 (下中堀外10ヶ村)	丸山杢右衛門	右村々 庄屋・与頭中	紙	
1107	36	3	5月	—	口上 (川東人足代)	庄屋 新四郎	御堰役 彦兵衛	紙	
729	36	3	12月17日	—	書簡 (新堰御普請の人足割通知状)	高橋彦太郎	二木彦兵衛	状	
749	36	3	3月5日	—	書簡 (御普請長々ニ而嘸々御苦勞被 成候…)	庄屋 彦太郎	堰役 彦兵衛外1人	状	
751	36	3	6月15日	—	書簡 (御普請ニ付長々御苦勞被成下 …)	踏入村 小穴口四郎	御堰役 嶋田治郎兵衛	状	
752	36	3	4月15日	—	書簡 (新堰横掘御普請当組方出人足 之儀…)	下堀金村 庄屋	御堰役 彦兵衛外1人	状	「薄暑之砌益御安康可 被成御勤存候条…」の 記載
424	36	3	年代不詳	—	請負申一札之事 (矢原堰細萱村宮裏底樋請負の 件)			紙	案文

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
509	36	3	年代不詳	—	(3月21日の廻状の差出人)			横半	各村々の人足差出数
685	36	3	年代不詳	—	覚 (保高組・成相組の村別人足数)			紙	
688	36	3	年代不詳	—	矢原堰砂堀人足割 (16町村2,444人)			紙	
911	36	3	年代不詳	—	(覚書・拾ヶ新堰普請の諸事記録)	二木彦兵衛		横帳	
1093	36	3	年代不詳	—	三ヶ組歩合割 (成相組・長尾組・保高組の拾ヶ堰普請)			紙	
1126	36	3	年代不詳	—	覚 (吉野村、上・下堀金村、柏原村の村別人足数)			紙	
1131	36	3	年代不詳	—	十ヶ堰砂堀人足割		御堰役中	紙	村々に割当た人足について記載
1340	36	3	年代不詳	—	口上之覚 (矢原堰出役の人足)			紙	虫食い
58	36	4	寛政12・2	1800	ぬる堰残水細萱村矢原村地内ニ而矢原堰方合水新堀目論見帳写			綴	普請諸掛計上人足1,880人外資材書上
646	36	4	文化13・9	1816	新堰上樋并諸事覚帳	引請人 将兵衛		横帳	普請の日誌と人足・区間等
715	36	4	文化14・2	1817	矢原堰細萱宮裏上樋仕立直し控帳	等々力町村 堰廻り 丈右衛門	井掛り村々 御役人・堰廻り中	横帳	細萱宮裏上樋注文覚 栗杵柱 長壺丈等…
495	36	4	文化14・4・4	1817	請負金請取一札之事 (金子32両のうち諸木代の残金)	保高組矢原村 請負人 久米右衛門 外1人	堰廻り 御役人衆中	紙	矢原堰上樋

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
415	36	4	文化14・4・6	1817	請負金請取一札之事 (金子4両2分受領証)	保高組柏原村 伝三郎	堰廻り 御役人衆中	紙	
418	36	4	文化14・7	1817	拝借仕候金子之事 (矢原堰・40両借用)	保高組寺所村 庄屋 源次郎外9ヶ村	服部五左衛門外2人	紙	
588	36	4	文化15・4	1818	奉願口上之覚 (矢原堰水揚用水の採取)	庄屋 与四郎	大庄屋	紙	下書 入山は農事に支障ある 為買入に用立てたい。
648	36	4	文政2・10	1819	成相組・長尾組・保高組 拾箇 新堰目論見帳	堰役 彦兵衛		横帳	No. 649と同綴 拾箇堰川東堀替普請の 諸木人足等覚
650	36	4	文政8・7	1825	ぬる堰 上堀金村・小多々田井 新田村 地内新堰拾ヶ村組合目 論見帳	堰廻り 丈右衛門 外1人	井口半蔵外2人	横帳	普請の資材・人足
448	36	4	文政8・10	1825	奉願口上之覚 (夏秋満水にて細萱村宮裏の植 木流失)	保高組等々力村 堰廻り 丈右衛門外 8ヶ村26人	井口半蔵 藤森善太夫	紙	
449	36	4	文政9・2	1826	請負申一札之事 (矢原堰普請の木材納品)	保高組保高町村 請負人 藤吉外3人	井掛り 御役人・堰廻り中	紙	
720	36	4	文政9・3	1826	矢原堰宮裏石敷控人足割賦石数 覚帳	丈右衛門		横半	細萱神社裏の堰普請用 石材等の記述
721	36	4	文政9・3	1826	矢原堰細萱宮裏御普請注文書上 帳	堰廻り 丈右衛門		横帳	ぬる堰敷鏡石等の記述
722	36	4	文政9・3	1826	矢原堰細萱宮浦御普請諸木書上 帳控	堰廻り 丈右衛門		横半	
195	36	4	文政9・4	1826	矢原堰樋御修覆仕様注文帳	御作事所		綴	修復用資材一覧
719	36	4	文政9・4	1826	矢原堰宮裏御目論見控帳 并人足諸道具割賦	丈右衛門	御出役 貝谷三木太夫外2人	横帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
524	36	4	文政9・7	1826	矢原堰細萱宮裏修覆諸入用覚帳	堰廻り		横帳	No. 524～529まで同綴
692	36	4	文政11・6	1828	奉願口上之覚 (拾ヶ村新堰水門底樋費用として50両借用)	成相組成相新田村 組頭 定七外1人		紙	下書
239	36	4	文政11・7	1828	拝借証文之事 (拾ヶ堰関連50両拝借)	拾箇村新堰井掛 惣代5人	御通用御役所	紙	
711	36	4	文政12・6	1829	矢原堰諸入用書上控帳	堰廻り		横帳	堰廻り役の諸費用
710	36	4	文政カ	—	矢原堰細かや宮裏内目論見覚			綴	柱・板等の資材における覚書
422	36	4	天保3・11	1832	奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏上樋の普請用諸木の注文)	保高組等々力町村 堰役 丈右衛門外3人	等々力伝右衛門	紙	
425	36	4	天保4・1	1833	請負申証文之事 (矢原堰細萱宮裏御普請諸木明細及び請負について)	何組何村 請負人 誰	矢原堰井掛り 御役人・堰廻り衆中	紙	案文
716	36	4	天保4・2	1833	矢原堰細萱宮浦諸木書上帳	等々力町村 堰役 丈右衛門	近藤茂右衛門外1人	横帳	堰普請の資材木等
419	36	4	天保4・10	1833	乍恐奉願口上之覚 (矢原堰細萱宮裏上樋工事入用金)	保高組等々力町村 庄屋 平八外8ヶ村	等々力伝右衛門	紙	
57	36	4	天保6	1835	矢原堰宮裏御普請之覚			綴	矢原堰普請資材について過去の分別記
253	36	4	天保6	1835	井戸出金割合覚 (支出と名前)			紙	一紙片のみ
718	36	4	天保9・3	1838	保高組矢原堰目論見帳			横帳	普請箇所別人足数

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
586	36	4	天保11・12	1840	請負申一札之事 (矢原堰樋工事)	松川組嵩下村 請負人 □弥外1人	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	
922	36	4	天保12・10	1841	保高組・長尾組・成相組 組合 新堰樋橋御改書上帳	堰役 彦兵衛控	御郡屋様	横帳	井掛り5ヶ村の樋・橋 51ヶ所における木品調 査等の記載あり。
584	36	4	天保カ	—	書簡 (早魃対応について)	小川儀左衛門	二木彦兵衛	状	
382	36	4	弘化3・7	1846	保高・長尾・成相組合新堰御用 留書帳	保高組等々力町村 堰頭 彦兵衛		横帳	拾ヶ新堰普請の資金、 資材、人足割当
128	36	4	嘉永3	1850	拾箇新堰井代初割賦控帳	堰役 彦兵衛		横帳	10ヶ村地方役人名記 す。
16	36	4	嘉永3・ 10・29	1850	矢原堰一件 御府中仲間差引勘定帳	細井 二木		横帳	日を追って出費の明細 を記し最後に計を示 す。
370	36	4	嘉永3・ 10・29	1850	矢原堰一件御府中臨時物取替帳	細井 二木		横帳	
367	36	4	嘉永4・9・ 12	1851	細萱宮裏諸木石垣注文書			横半	
446	36	4	嘉永4・12	1851	請負申一札之事 (矢原堰細萱村宮裏底樋の破 損)	保高組細萱村 請負人 玉吉外1人	井懸り 御役人・堰廻り中	紙	
383	36	4	嘉永5・2	1852	成相組・長尾組・保高組 拾箇 新堰目論見帳	河原曾一右衛門	藤森善太夫外2人	横帳	拾ヶ堰普請の資材、人 足割当
447	36	4	嘉永5・11	1852	請負申一札之事 (矢原堰細萱宮裏底樋御普請の 石代金)	保高組等々力村 請負人 与五左衛門 外1人	御役人・堰廻り中	紙	
525	36	4	嘉永5・11	1852	矢原堰宮裏諸木入用書上帳	等々力町村 堰役 彦兵衛控		横帳	No. 524と同綴

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
731	36	4	嘉永7	1854	御受申証文之事 (矢原堰用水引揚の費用請負について)	保高組寺所村 請負人 治左衛門 外3人	井懸り 御役人衆中	紙	
366	36	4	嘉永7・3・9	1854	矢原堰細萱宮裏御請書控	等々力町村 堰役 彦兵衛		横帳	
444	36	4	嘉永7・11	1854	請負申証文之事 (矢原堰冬季用水引揚について)	保高組寺所村 請負人 治左衛門 外2人	井掛り 御役人衆中	紙	
460	36	4	嘉永7・12・7	1854	差出申御請書之事 (矢原堰用水路の普請)	保高組等々力町村 請負人 三代吉外8人	御作事所	紙	
633	36	4	嘉永7・12	1854	矢原堰水門御修覆諸入用積帳			横帳	No. 631と同綴 材質・寸法・数量、入 札結果等の記録
528	36	4	嘉永7カ	1854	(矢原堰普請の入札と石工・大工の人別費用)			横帳	No. 524と同綴
320	36	4	嘉永カ	—	(堰の底樋工事代金)			綴	
443	36	4	安政5・11	1858	差出申し請負一札之事 (細萱宮表上樋御仕立御普請について)	保高組細萱村 請負人 源蔵外4人	矢原堰井掛り 御役人・堰廻り衆中	紙	
714	36	4	安政5・11	1858	矢原堰細萱宮裏御普請御請書	堰役 彦兵衛外27人	新井佐七右衛門外1人	横帳	普請の資材・人足
384	36	4	文久元・3	1861	成相組・長尾組・保高組 拾箇 堰目論見帳	川除方	井掛り村々庄屋・組 頭	横帳	拾ヶ堰普請の資材、人 足割当
717	36	4	文久2・2	1862	矢原堰細萱宮表底樋注文書	等々力町村 堰役 彦兵衛外4人	藤森善兵衛	横帳	底樋破損による普請の 諸木注文
880	36	4	文久2・6	1862	(矢原堰維持管理費用集計帳の一部カ)	矢原組 堰廻り 忠兵衛外3人	藤森善太夫	紙	横帳綴中の1枚カ 金額・メ高の記載あり。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
647	36	4	元治元・ 7・18	1864	諸差引勘定帳 (堰普請の諸木代金)	彦兵衛		横帳	
1113	36	4	慶応2	1866	寅盆暮諸□□(諸費用)			横半	No. 1114と同綴
298	36	4	慶応2・11	1866	寅盆後堀堰入用切手 (堰普請等の費用)			横半	2綴りと紙片
1114	36	4	慶応2・11	1866	寅盆後鑿堰入用切手 (堰の掘立て費用)			横半	No. 1113と同綴
130	36	4	慶応3	1867	保高組諸木代 (横掘り作業用)			綴	
385	36	4	慶応3・3	1867	成相組・保高組・長尾組 拾箇 堰目論見帳	郡所	丸山重右衛門外2人	横帳	拾ヶ堰普請の資材、人 足割当
198	36	4	慶応3・7	1867	矢原堰盆前諸入用書上帳	年番 白金村庄屋 望月忠蔵外4人	等々力伝右衛門	綴	矢原堰補修用道具資材 目論見
196	36	4	明治元・ 11・22	1868	辰盆後年番堰廻り毛代書上控			綴	
197	36	4	明治元・ 11・22	1868	矢原堰盆後諸入用書上控	等々力町村 堰役 彦兵衛		綴	
498	36	4	明治2・3	1869	差上申請負証文之事 (矢原堰諸道具代金)	寺所村 善兵衛外3人	等々力村 堰役 善兵衛外2人	紙	
649	36	4	明治2・3	1869	成相組・保高組・長尾組 拾箇 新堰川東掘替御普請仕様書上帳	等々力町村 堰役 彦兵衛	岩竹才助外1人	横帳	No. 648と同綴 資材・人足等の村割当
639	36	4	2月15日	—	木曾川水門注文覚・払逆仕立之 覚			綴	必要資材の目論見
663	36	4	3月22日	—	書簡 (矢原堰宮裏普請の資材)	矢原村 西沢忠兵衛	等々力町村 二木彦兵衛	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
821	36	4	丑4月	—	覚 (拾ヶ堰水門普請における井掛り村々の調達資材明細)	御代官所		横帳	代官所の引取数量
737	36	4	4月22日	—	廻状 (井懸村々屋丁で1軒につき出す物について)	堰廻り	寺所村外8ヶ村 御役人衆中	状	「益各々様御安康ニ御勤役被為遊…」の記載 屋丁壹軒ニ付牛木9本、俵2ツ、縄1把、そだ6束を出す事の通知
249	36	4	年代不詳	—	(新堰堀立の節の貝梅村分の出金等)			紙	
539	36	4	年代不詳	—	(堰の費用収支)			横半	新堰分
1087	36	4	年代不詳	—	断簡 (堰の水揚)			紙	堰の費用を記載
1088	36	4	年代不詳	—	断簡 (堰普請の負担金カ)			紙	
1000	36	5	延享2・4	1745	等々力村・等々力町 芝□□ニ付所中ら取置証文	彦四郎外33人	庄屋 清左衛門外2人	横帳	等々力町村内で芝を切らせないと記載
605	36	5	安永7・5	1778	一札之事 (当村新堰堀口の出入)	御領所田沢村 長百姓 嘉右衛門外2人	矢原堰拾箇村 御役人中 噯人6人	紙	天保13年に彦兵衛が書写
290	36	5	文政6・11	1823	差出申一札之事 (拾ヶ堰末流の村々の苦渋と改善申出)	柏原村 長百姓 忠蔵外11人	久野亦太夫外5人	紙	
166	36	5	天保13・2	1842	差上申済口一札之事 (飯田村十ヶ堰切れ砂入水害等の苦勞訴えの件解決)	飯田村	御役所	紙	案文
194	36	5	嘉永元	1848	矢原堰出入出府雑用調控	彦兵衛控		綴	矢原堰をめぐる訴訟のため江戸への出張経費書出

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
141	36	5	嘉永元・5	1848	矢原堰井掛り村々ト田沢村ト争論ニ付願書控	等々力町村 矢原堰役 彦兵衛	御願所 御役所	横帳	
371	36	5	嘉永元・6	1848	矢原堰出入一件口上書之控	等々力町村 井掛惣代 彦兵衛		横帳	
142	36	5	嘉永元・12	1848	矢原堰揚口ニ付田沢村江掛り御裁許書控	保高組等々力町村 堰役 彦兵衛	拾ヶ村 惣代衆中	横帳	
832	36	5	嘉永2・6・4	1849	矢原出入ニ付出府雑用控	二木彦兵衛		横半	
833	36	5	嘉永2・6	1849	江戸行見舞帳	長百姓 彦兵衛控		横半	矢原堰出入一件惣代ニ付出府（6月4日～11月9日）
835	36	5	嘉永2・6	1849	出府中 矢原堰一件記録	等々力町村 二木彦兵衛		縦帳	3口水門の図面あり。
60	36	5	嘉永2・10	1849	差上申済口証文之事 (矢原堰取水口をめぐる出入り済口証文)	訴訟人 細萱村 庄屋 宗兵衛外2人	寺社御奉行所	巻紙	
621	36	5	嘉永3	1850	矢原堰出入一件并矢原堰之事・拾ヶ新堰之事	拾ヶ新堰・矢原堰 堰役 二木彦兵衛		横帳	矢原堰・拾ヶ新堰の出入に関わる8件を収録
834	36	5	嘉永3・10	1850	出府中 矢原堰一件記録	惣代 二木彦兵衛		縦帳	10月19日着府
836	36	5	嘉永3・10	1850	出府中 矢原堰一件記録	保高組等々力町村 惣代 二木彦兵衛控		縦帳	
459	36	5	嘉永4	1851	嘉永四年出入一件済口 (矢原堰底樋の諸木石垣工事)	等々力町村 堰廻り 彦兵衛外4人		紙	前半分破損
363	36	5	嘉永5・10	1852	矢原堰揚口田沢村江相掛り出入一件出府中雑用調御救願書上帳	堰役 彦兵衛	御役所	横帳	
468	36	5	慶応4	1868	田沢村方一札			包紙	No. 469の包紙

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
469	36	5	慶応4・3	1868	差出申誤証文一札之事 (矢原堰水門取壊し詫状)	田沢村枝郷徳次郎耕地 本人 曾平外1人	矢原村外 井掛村々御役人衆中	紙	包紙あり。
1349	36	5	明治	—	口上之覚 (犀川満水時の喧嘩)			紙	虫食い
735	36	5	6月1日	—	書簡 (柳原耕地の富弥から御無心の件)	熊倉村 庄屋 高木幾野右衛門	矢原堰々役 二木彦兵衛	状	「各様益御安康ニ可被成御座奉珍重候…」の記載
993	36	6	安永4・4	1775	矢原堰出井口改之覚	保高組相原村 庄屋 彦兵衛外12人	等々力丈右衛門	綴	No. 992と同綴 明治に加筆カ
971	36	6	文化14・7	1817	議定之事 (新堰における水引・井口の取決め)	井掛十ヶ村 等々力町村 庄屋 民右衛門外28人		紙	
178	36	6	文政2カ	1819	梓川水揚請負証文之事	成相組飯田村 受負人 惣代外	拾箇村新堰御役人中	紙	案文
221	36	6	文政4	1821	出勤日之覚 (川除普請の記録)			綴	
223	36	6	文政4カ	1821	(田の水口別徴収金)			紙	
184	36	6	文政6・11	1823	差上申規定一札 (新堰諸入用の規定)	堰廻り外	平光堅次外5人	紙	
126	36	6	文政9	1826	文政九年戌出勤日之覚 (拾ヶ新堰掘立之節之控帳)			横帳	堰見廻り記録
177	36	6	文政9・5	1826	新堰干水ニ付拾ヶ村組定之事	長尾組下堀金村 堰廻り 平倉六郎右衛門外役人	津村長右衛門外3人	紙	
289	36	6	文政11・2	1828	拾箇村新堰木曾川口・梓川口水門諸木注文書	等々力町村 堰役 丈右衛門		横帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
429	36	6	文政11・6	1828	差出申一札之事 (矢原堰細萱宮浦上樋場所砂留 粹流失につき詫証文)	本人 組合	矢原堰 堰廻り中	紙	案文
508	36	6	文政12・ 5・10	1829	文政十二丑年五月十日御改			綴	役人2人による井口・堰 の改め
410	36	6	文政カ	—	(拾ヶ村新堰・堰筋畑田成等につ いて)	二木		紙	何枚かの内1枚(欠落)
164	36	6	天保4・4・ 21	1833	差上申一札之事 (新堰不順水の件)	上堀金村外8ヶ村の庄 屋 与頭 作世話人	草間藤内 広瀬小左衛門	紙	
162	36	6	天保5・2	1834	指出申一札之事 (拾ヶ村新堰の儀今後5ヶ年の 間、金50両にて諸事引請との一 札)	柏原村 長立 忠蔵外7人	拾ヶ村井掛り 御役人中 御堰役人中 御堰廻り中	紙	庄屋織右衛門外与頭2人 の奥書あり。
182	36	6	天保5・2	1834	差上申儀定之事 (新堰掘立て以降、対処すべき 約束事)	吉野村外4ヶ村役人		紙	
292	36	6	天保6・11	1835	乍恐奉願口上之覚 (柏原村へ新堰入用金の催促訴 状)	等々力町村 堰役願主 丈右衛門 外2人	等々力伝右衛門	紙	
618	36	6	天保9・3	1838	新堰・矢原堰日記帳	保高 二木彦兵衛		横帳	極めて細字にて記入
695	36	6	天保12	1841	新堰・矢原堰日記帳	保高 二木彦兵衛		横帳	
681	36	6	天保14・4	1843	矢原堰規定之事	保高組堰廻り 堰懸り役人	等々力伝右衛門	紙	古紙にて裏打
132	36	6	天保15	1844	(天保14~15年の矢原堰・十ヶ 堰の雑記録)	彦兵衛		綴	
180	36	6	天保15・4	1844	一札之事 (拾ヶ堰の干水時の取決め)	長尾組中堀新田村 役人中	拾ヶ村御懸り御役人 中	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
696	36	6	天保カ	—	拾箇堰・矢原堰口日記	二木		横帳	普請割、人別数等の記録
183	36	6	弘化2・2・4	1845	規定之事 (長尾組中堀新田村の井掛組合規定)	保高組吉野村 庄屋 与兵衛外10ヶ 村村役人		紙	
709	36	6	嘉永元・5	1848	矢原堰揚口之儀	由緒并ニ井掛り惣代 彦兵衛外2人		横半	5月5日より矢原堰揚口の田沢村との交渉過程
708	36	6	嘉永2・5	1849	矢原堰一件堰中・用水引入口 井掛り方田沢村掛合	井掛り惣代 飯沼彦兵衛外2人		横半	矢原堰水引での田沢村との出入
445	36	6	嘉永2・10	1849	差出申詫一札之事 (犀川筋方引入矢原堰にての狼藉出入)	役人小前惣代 田沢村 組頭 八左衛門外2人	矢原堰組合拾ヶ村惣代 細萱村 庄屋 宗兵衛外2人	紙	
607	36	6	嘉永2・10	1849	為取替申議定一札之事 (矢原堰につき田沢村と細萱村の出入)	矢原堰組合拾ヶ村惣代 細萱村 庄屋 宗兵衛外5人		紙	
306	36	6	嘉永3・10	1850	乍恐以返答書奉申上候 (熊倉村、田沢村間の地境出入返答書)	拾ヶ村15人代表 柏原村 庄屋 喜太右衛門外1人	御評定所	紙	
604	36	6	嘉永4・閏4	1851	差出申御請書之事 (矢原堰田植時期の水不足)	宗兵衛外2人	御奉行所	紙	下書
968	36	6	嘉永4・6	1851	為取替申議定書之事 (矢原堰揚口之儀ニ付及出入候一件)	田沢村役人惣代 訴詔人 名主 八郎右衛門外8人	藤森善実外1人	紙	
591	36	6	嘉永5	1852	矢原堰宮裏御普請之覚 (頂載金子と粃量記録)			紙	寛政10年、文化14年、文政9年、天保4年～6年、嘉永5年迄の記録あり。
442	36	6	嘉永7	1854	矢原堰書類 (矢原堰宮浦御普請願書複数入ル)			包紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
686	36	6	嘉永7・4	1854	差上申詫一札之事 (矢原堰宮裏の普請)	長尾組岩原村 当人・石工 新五右衛門	保高組矢原堰井掛り 御役人衆中	紙	
617	36	6	安政2・1	1855	懐中記録帳 (拾ヶ新堰・矢原堰について堰 役彦兵衛控)	保高 二木彦兵衛		横帳	
219	36	6	安政3カ	1856	(井口と水代集金記録)			綴	
1138	36	6	安政3・9	1856	差出申一札之事 (水車屋への水路通における冥 加糶差上の件)	保高組等々力村 借主 初次郎外2人	等々力町村 彦兵衛	紙	
450	36	6	文久2・2	1862	奉願口上之覚 (堰普請・大底樋)	保高組等々力町村 堰役 彦兵衛外4人	藤森善太夫	紙	
496	36	6	慶応2	1866	差出し申一札之事 (車屋・水車の井掛不心得)	踏入村 曾兵衛外6人	井掛り村々 御役人衆中	紙	
698	36	6	慶応3・2	1867	拾箇堰・矢原堰記録帳	保高 二木彦兵衛		横帳	川普請割等の記録
464	36	6	慶応3・8	1867	差出し申詫一札之事 (用水を干川して漁をした)	田沢村 殺生詫人 甚之助 外2人	矢原堰井掛り村々 御役人衆中	紙	奥書あり。
1141	36	6	明治元・12	1868	差出申一札之事 (水門脇の底穴で水車大破につ き詫状)	保高組等々力村 右水車屋仲間 惣代 源兵衛外2人	当町村 彦兵衛	紙	
293	36	6	明治2・4	1869	差出申詫一札之事 (拾ヶ堰普請での酒酔参加の詫 証文)	等々力町村 本人 作右衛門外2人	同町村 長百姓堰役 彦兵衛	紙	
697	36	6	明治5	1872	拾ヶ新堰・矢原堰日記帳	等々力村 堰役 彦兵衛控		横帳	慶応4年～明治5年迄の 記録、近世の史料が 入っているので近世の 分類とする。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
171	36	6	5月2日	—	覚 (村役人召集の差紙)	堰役 兩人	成相町村外7ヶ村 役人衆中	紙	松田勝太夫外3人宛の廻 文
172	36	6	4月吉日	—	差上申拾ヶ村申談事 (7ヶ条の取決め)	拾箇村役人		紙	
175	36	6	亥4月	—	(新堰拾ヶ村方願候左之通)	藩役人		紙	9項目の取決め
176	36	6	3月16日	—	廻達 (上堰の水止め指示通達書)	高口甚太郎 大橋藤一郎	4堰の堰役堰廻り中	紙	
606	36	6	申6月	—	口上之覚 (矢原堰揚口の出入)	安曇郡南中村 忠三郎由緒惣代 柳左衛門外3人	御役所	紙	
670	36	6	2月18日	—	書簡 (ぬる堰尻の新田町村地境下ま で延長について)	二木条右衛門	飯沼宗兵衛	紙	
680	36	6	12月1日	—	書簡 (矢原堰盆後調での御出掛願)	望月十三郎	等々力町村 二木彦兵衛	状	
748	36	6	6月27日	—	書簡 (矢原堰用水下り不申ニ付…)	武左衛門	等々力町村 二木彦兵衛	状	「大暑之砌ニ御座候得共 …」の記載
757	36	6	5月22日	—	書簡 (拾ヶ堰土手の井口メ切におけ る願文)	等々力孫右衛門	拾ヶ堰掛り 御役人衆中	状	
889	36	6	3月8日	—	書簡 (十ヶ堰普請・談事の通知)	武左衛門	等々力町村 二木彦兵衛	状	「急用」の記載
1128	36	6	3月	—	差紙 (拾箇堰の検分)	井掛り 庄屋・組頭中	加藤宇太夫外1人	紙	案内役の招請を記載
1129	36	6	7月21日	—	書簡 (十ヶ堰流末の田方干上で至急 手配を連絡)	二木武左衛門	等々力町村 二木彦兵衛外1人	状	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1132	36	6	3月21日	—	書簡 (矢原堰用事)	矢原村 西沢忠兵衛	等々力町村 二木彦兵衛	状	諸道具等を記載
1283	36	6	7月20日	—	書簡 (拾ヶ堰・満水)	武左衛門	二木彦兵衛	状	「急用」の記載
1292	36	6	4月4日	—	書簡 (拾箇新堰々役の拝命と仕事)	等々力源衛	二木□□	状	虫食い
690	36	6	年代不詳	—	拾ヶ村相定之事			紙	新堰管理運営上の細則
732	36	6	年代不詳	—	書簡 (矢原堰の件について至急相談 の通知)	等々力□郎太	等々力町村 堰役 彦兵衛	状	
754	36	6	年代不詳	—	書簡 (矢原堰会合の通知)	矢原村 忠兵衛	等々力村 御同役 重三郎外1人	状	矢原堰井掛の件での相 談願を記載
788	36	6	年代不詳	—	(堰廻り矢原村云々…)			紙	矢原堰橋口での井掛り 問題対応
1125	36	6	年代不詳	—	井口 (井口の場所と口径)			紙	矢原堰の各井口につい て記載
1127	36	6	年代不詳	—	断簡 (拾箇堰飯田水門の口径不足)			紙	書簡の下書カ
1130	36	6	年代不詳	—	書簡 (御用向之事)	武左衛門	等々力町村 二木彦兵衛	状	「十ヶ新堰川東普請所 へ急ぎ届ける事」と記 載

37 土建 18点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1013	37		天保10・ 8・21～	1839	家普請諸事覚帳 (普請手伝の人別)			横帳	No. 1012と同綴
1014	37		天保10・ 8・28	1839	家普請見舞并議受納帳			横帳	No. 1012と同綴 家の建前における覚書
481	37		明治3	1870	土蔵建前金子渡方控	二木武左衛門		横半	上堀金村 大工 虎松
1341	37		明治3	1870	新開利子子細金銭控 并車屋大工作料諸品控			横半	
919	37		明治3・ 12・12	1870	土蔵普請諸事控帳	塩屋		横帳	2点添付 下請業者への支払明細 (発注当初分)
1381	37		明治3・ 12・12	1870	覚 (家の建築代金25両 受取書)	上堀金村 虎松外1人	上 彦兵衛	紙	
146	37		明治3・ 12・26	1870	請負申証文之事 (土蔵の瓦工事)	瓦師 房吉外1人	等々力町村 武左衛門	紙	
266	37		明治3・12	1870	請負申証文一札之事 (土蔵建築請負契約書)	長尾組上堀金村 請負主 小林虎松 外1人	等々力町村 二木武左衛門	紙	
920	37		明治4・2・ 28	1871	土蔵普請祝儀受納帳	二木武左衛門		横帳	祝儀受納明細及び大 工・石工・山師等への 祝儀贈呈控
583	37		7月13日	—	書簡 (金10両受取・橋方出金につい ての村々分配と受取金)	御同役 米倉彦三郎	御堰役 二木彦兵衛	状	
891	37		10月11日	—	書簡 (家の建築)			状	大和屋の世話で8間の家 を建てた報告と礼を記 載

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1378	37		8月18日	—	覚 (金札10両 受取書)	上堀金村 虎松	等々力町 彦兵衛	紙	
1379	37		11月29日	—	覚 (金2両也 受取書)	建具屋 与五右衛門	御苗彦兵衛	紙	
1380	37		11月16日	—	覚 (金2両 受取書)	寺所村 兼右衛門	等々力町 御苗彦兵衛	紙	
1382	37		11月10日	—	書簡 (大工への米・味噌等の無心願)	上堀金村 虎松	等々力町 彦兵衛	状	
1383	37		3月6日	—	覚 (木材等…)	与祢房	塩屋彦兵衛	紙	
1384	37		12月5日	—	覚 (板戸18本外…)	寺所村 指物屋 与五右衛門	保高町 御苗彦兵衛	紙	
728	37		年代不詳	—	寅御用水請負証文之事 (請負における18項目の遵守事項)			紙	下書 水揚諸道具と請負について記載

### 38 治安 13点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
334	38		寛政3・10	1791	差出申一札之事 (詫状)	当人 文蔵	庄屋 彦兵衛外3人	紙	
109	38		寛政9・8	1797	一札 (酒依存症、不行跡を叱責された詫状)	本人 治兵衛	彦兵衛外1人	紙	
203	38		寛政10・ 2・11	1798	御公儀様御裁許御濟断之覚	二木彦兵衛控		縦帳	表紙裏に「徳川様御代御濟断之写」とあり。
152	38		享和3・2	1803	差上申一札之事 (若者たちの傍若無人な振舞についての戒め)	保高組等々力町村 五人組頭 惣右衛門 外6人	庄屋 藤兵衛外2人	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
329	38		享和3・2	1803	差上申一札之事 (若者飲酒の上狼藉による始末書)	保高組等々力村 五人組頭 吉右衛門 外12人	庄屋 彦兵衛外2人	紙	
602	38		文政2・1・21	1819	(酒乱ニ付詫証文)	保高組等々力町村 治兵衛		紙	案文
331	38		文政5・8	1822	乍恐奉願口上之覚 (貝梅村の作場道の争い)	池田組青木花見村 十四郎外5人 (貝梅村 居住)	御郡所	紙	本文書に貝梅村長立彦 四郎外4人の返答書貼付
151	38		天保3	1832	差上申済口証文之事 (喧嘩内済までの経過)	矢原村 願方 久米右衛門 外35人	村瀬宗蔵外2人	紙	
333	38		嘉永5・2	1852	詫一札之事 (酒酔の上狼藉に及んだ事の詫状)	等々力町村 当人 孝重外2人	当町村 長百姓 彦兵衛	紙	
664	38		安政3・5	1856	差出申一札之事 (酩酊上の打擲・雑言に対する詫証文)	当人 勇治外1人	等々力町村 長百姓 彦兵衛	紙	下書
37	38		文久元・6	1861	五月廿七日御届之写 (幕末江戸湾での警固の様子)	宗対馬守		紙	対馬領の警固等の記述
1039	38		4月	—	一札 (酒犯狼藉の詫状)	本人 清兵衛外4人	富左衛門外1人	紙	案文
1084	38		年代不詳	—	差出申一札之事 (夜盗後の御赦免における詫状)	本人 おなか外1人	等々力町村 彦兵衛	紙	案文

### 39 軍事 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
237	39		天保3・8	1832	差上申一札之事 (隠鉄砲所持する者無しとの一札)	保高組等々力町村 与頭 惣左衛門外1人	等々力伝右衛門	紙	

40 宗教 99点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
202	40		天正18・4	1590	吉祥山東龍寺引立替帳 (此度本郷より等々力新田へ寺 引申候)	二木彦兵衛控		横帳	本尊名・客殿形状・境 地
906	40		慶安4	1651	鹿島境内際有地			紙	慶安4年竿請、土地・面 積の下に人名記載あ り。
974	40		元禄8・10	1695	醍醐三宝院末寺牛龍山真龍院大 門閤法印弘範様御守札	沙門弘範		紙	守札
3	40		元禄11・4	1698	穂高組邑々寺社御改帳	丸山安右衛門	中根又右衛門	横帳	穂高組内の村々にある 寺社の明細
144	40		宝永2	1705	(東龍寺縁起の写)			紙	末尾に東龍寺天正十八 年に等々力村へ移転の 追記
973	40		享保2	1717	醍醐三宝院末寺牛龍山真龍院弘 範様御守札	伝燈大阿闍梨法印 弘 範		紙	守札
907	40		享保9	1724	(組中村々の堂社数書上)			紙	大草太郎左衛門の申付 による調査
909	40		享保9	1724	乍恐以口上書奉申上候覚 (鹿島社の神社免外諸事記録)			紙	下書 等々力町村と等々力村 の社領争い
781	40		延享元	1744	断簡 (十王堂切払)	等々力町村		紙	控 「等々力町村前々方切 払之儀…」と記載あ り。
932	40		延享4・2	1747	鹿嶋・八幡 両社神事修覆帳	等々力庄屋 清左衛門外50人		横帳	表紙付厚紙にて挟む。
791	40		宝暦8・4	1758	差出申一札之事 (鹿島大明神社地について)	等々力町村 組頭 林左衛門外1人	等々力村 庄屋 次左衛門外1人	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
789	40		宝暦9	1759	断簡 (鹿島大明神社の場所について)	保高組等々力村 庄屋 治左衛門外5人		紙	
2	40		宝暦9・9	1759	保高宮社号社人神主下社家組下 共ニ書上控	保高村庄屋1人 組頭2人長百姓1人 外9人	御郡所	横帳	9月23日大庄屋竹内市郎 兵衛願より書上げ申候 と表紙に記されている。 持分宮口についての記載 帳添付
1248	40		宝暦9・9	1759	覚 (寺社改め時の届出文書控カ)	信州安曇郡等々力町 村 庄屋 武左衛門外2人	御郡所	紙	No. 1250迄同綴 「八幡宮は古来より当 村に有った御社である …」と記載
790	40		宝暦9・10	1759	覚 (鹿島社の社人別当について)	等々力村 庄屋 治左衛門外5人	御郡所	紙	白沢豊後が鹿島大明社 の社人だが別当ではな い件
1054	40		寛政9・11	1797	一札 (松尾寺離末に係る全村民連印 の同意書)	五人組頭 勸兵衛 外52人	庄屋 彦兵衛外5人	紙	
104	40		寛政9・12	1797	為後証差出置一札之事 (松尾寺離末に当って金200両 を請取った)	真龍院	等々力町 役人中 外3衆中	紙	
1055	40		寛政9・12	1797	為後証差出置候一札之事 (松尾寺離末に伴う法式金200 両の件)	真龍院 法爾	等々力村 役人・長立・五人組 頭中、檀中惣代	紙	No. 1056と同一文書
1056	40		寛政9・12	1797	為後証差出置候一札之事 (松尾寺離末に伴う法式金200 両の件)	真龍院 法爾	等々力村 役人・長立・五人組 頭中、檀中惣代	紙	No. 1055と同一文書
338	40		寛政10・3	1798	宗門御改御用諸事覚帳	等々力町村 庄屋 彦兵衛		横帳	
271	40		享和3・11	1803	奉願口上之覚 (伝法灌頂修行の御許容願い)	願主 真龍院外2人	等々力伝右衛門	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
510	40		文化2・1	1805	口上 (境内の諸木伐採)	保高村 庄屋 □□□外3人	保高村 伊豫外1人	紙	写
340	40		文化2・2	1805	東龍寺江湖振舞奉加入別帳	由緒人 平八外1人		綴	折紙の綴、No. 341と同綴
148	40		文化9・ 10・10	1812	一札之事 (旦那寺の変更)	等々力町村 真龍院		紙	東龍寺から真龍院へ
361	40		文政11・7	1828	穂高司馬御神領畑田成願書控	立入 市右衛門外1人	井口半蔵	横帳	
272	40		天保2・1	1831	書面之事 (東龍寺亮淳の後住の人選について)	真々部村 真光寺	東龍寺 惣代衆中	紙	
265	40		天保2・12	1831	乍恐奉願上口上之覚 (東龍寺後住人選の件)	等々力村 惣代 重左衛門 外28人	庄屋 望月三五郎外1人	紙	
269	40		天保2・12	1831	乍恐奉願上口上之覚	等々力村 東龍寺	庄屋 藤松外1人	紙	東龍寺住職が隠退を勧告されたことに対する反論
780	40		天保3・2	1832	断簡 (枯木壺本戌年・鹿島社)			紙	「鹿島宮免下々畑壺反四畝歩…」と記載あり。
1	40		天保6	1835	醍醐天皇御宇延喜五年延喜式選 (信濃国四捨八社載)			横帳	伊那郡外8郡の神社名を列記
787	40		天保6・3	1835	(信濃国安曇郡等々力鹿島大明神…)			紙	宝永～天保における神主神道裁許状の件
910	40		天保7	1836	(鹿島大明神の社木について合意書)			紙	下書 等々力村と等々力町村の合意文書
1006	40		天保12・ 1・12	1841	当院十二世潮音遷化控	長百姓 彦兵衛控		横帳	等々力町村真龍院12世法山法印遷化時の控

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
806	40		天保13・ 12・19	1842	鹿島明神風折レ木ニ付口上書上控	保高組等々力町村 長百姓 彦兵衛	百瀬及左衛門外4人	横帳	鹿島明神風倒木における口上書の覚書
862	40		天保14	1843	鎮守鹿嶋社木出入一件	保高組等々力町村 長百姓		袋	破損 紙袋のみ
792	40		天保14・1	1843	乍恐奉願口上之覚 (鹿島社境内の風倒木処理について)	等々力町村 願方・五人組頭 新右衛門外10人	等々力伝右衛門	紙	
807	40		天保14・1	1843	鎮守鹿嶋遷宮修覆留帳			横帳	文化14年6月からの記録控
808	40		弘化2・4	1845	口上書 (鹿島明神境内の出来事)	等々力町村		横帳	口上の記録
1057	40		弘化4・4	1847	差上申済口証文之事 (鹿島大明神出入済口証文)	保高組等々力町村 庄屋 新四郎外25人	等々力伝右衛門	紙	「鹿嶋神社出入済口証文」と記載の包紙あり。 社地立木等について 等々力町村が等々力村を訴えた済口証文
345	40		弘化4・6	1847	書簡 (5月7日晚東龍様御遷化に付…)			状	
350	40		嘉永元	1848	東龍寺参代奉加人別帳控		信明和尚	横帳	人名と金高のみの記載 住持遷化に関わるもの (12枚)
351	40		嘉永4・7・ 16	1851	覚 (右之通り取立差上申候間、御改御受取可被下候)	等々力町村 彦兵衛	東龍寺御方丈	紙	11人の名前と金額の書出し、外4枚
276	40		嘉永6	1853	書簡 (29日朝四ツ時までに来訪の通知)	等々力村 東龍寺	等々力町 新四郎外1人	状	
341	40		嘉永6・8	1853	東龍寺江湖振舞奉加帳	等々力町村 檀那惣代 新九郎 外1人		横帳	No. 340と同綴

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
763	40		安政元・ 8・29	1854	法印龍岳進山万事控	等々力町村 長百姓 彦兵衛		横帳	進山式の諸準備
933	40		安政2・2・ 10	1855	三ツ峯山勸請帳并奉加人別帳附	等々力町村 長百姓 彦兵衛控		横帳	表紙付厚紙にて挟む。
1187	40		安政4・1・ 12	1857	宗門御改ニ付真龍院普請目論見 帳控	長百姓 彦兵衛		綴	195mm×85mm 建立内容の記載
559	40		安政5・1	1858	妙授伝集知恵之海	二木家		横半	赤茶染之伝・人喰犬を 留める法外、諸々の列 挙 No. 557と同綴
1118	40		安政5・2	1858	後藤筆子名前記 (随松院石碑請入用控)			横帳	嘉永5年に没した松本浪 士後藤長弥(随松院居 士)の弟子名・奉加の 覚と17回忌の追記およ び裏表紙に「…随松院 高養夏月居士…」の記 載あり。
339	40		安政5・8	1858	修覆・転衣奉加簿	東龍寺 祥仙和尚代	彦兵衛	横帳	
557	40		安政6	1859	神導加持 (謹上再拝々々)	二木家		横半	天道神祇・観音経秘鏡 の外、祝詞・呪文・寺 院由来等を書留
61	40		文久2・2	1862	(穂高大明神地内神宮寺・仁王 の代りに寄進された大石の件)	保高村・保高町村・ 等々力町村・等々力 村四ヶ村村役人11人		紙	大石ニツ牧村地内より引 いてきて立てる。
923	40		文久2・4・ 11	1862	牛流山真龍院古新什物改帳 法印龍岳改請取控	庄屋 新四郎外4人	雄清法印外1人	横帳	複数の什物覚、雄清法 印代新添什物に分け品 名・数量確認と引渡を 記載

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
48	40		文久4・1	1864	永代万度講証書之事 (永代万度講加入につき毎年祈 禱確約) 請書之事 (金1両納入、領収証同封)	従四位荒木田神主 堤 織部太夫	信州安曇郡保高 二木彦兵衛	紙	包紙に納方寄藤武八 郎、関谷勝治の貼紙あ り。
347	40		元治元	1864	東龍寺奉加之控			紙	名前と金高のみ20人を 記載
387	40		元治2・4・ 20	1865	東龍寺御修覆奉加帳	惣代 新四郎外1人	浄仙和尚	横帳	
726	40		慶応元	1865	覚 (大般若木札壹枚寄附)	東龍寺	等々力町 彦兵衛	紙	
727	40		慶応元	1865	永代居士大姉号許状	東龍寺 住寺 亮仙	等々力町 彦兵衛	紙	包紙あり。 「金貳拾両の格別な寄 附につき」の記載
747	40		慶応3・9・ 27	1867	掟 (陰陽師免許)	家司奉之	二木武左衛門	紙	包紙に在中
47	40		明治2・8	1869	奉金請取一札之事 (八幡宮再建奉加金)	八幡宮御普請世話人 南沢三郎右衛門 北川原金重郎外3人	保高組轟町村 二木彦兵衛	紙	包紙に「上」とあり。
879	40		明治2・8	1869	八幡宮永代神楽	御普請 会所	保高組轟町村 二木彦兵衛	木札	
1298	40		明治	—	大冠官御祓 (祈禱文)			紙	祝詞の記載
30	40		2月23日	—	従隣村保高両町江申達候趣	惣代中	両町役人中 百姓中	紙	大札の節必要な物を借 用
39	40		12月28日	—	寄進金御礼	真龍院	二木彦兵衛	状	金二百疋也
41	40		癸亥1月8日	—	覚 (永代万度講奉加金の受領証)	堤織部太夫代官 葉月太夫	二木彦兵衛	紙	金三百疋也の奉加

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
273	40		10月20日	—	書簡（通知状） （大沢寺移転の件）	等々力村 東龍寺	等々力町 新四郎外1人	状	
275	40		10月24日	—	書簡（通知状） （大般若転読を行うので御参詣 の御通達こいねがう）	東龍寺	等々力町 新四郎外1人	状	
346	40		丑12月	—	覚 （東龍寺の奉賀金領収書）	東龍寺	等々力町 彦兵衛	紙	
348	40		5月18日	—	廻章（口演・遷化された住職の 遺書について御相談）	東龍寺鑑司 同村役人	等々力町村 平八外1人	紙	
349	40		未5月28日	—	（大急用 東龍寺の骸見につい て）	井口新四郎	二木彦兵衛	状	
353	40		1月19日	—	等々力町村 廻状	東龍寺	等々力町村 新四郎外1人	紙	御相談したい案件あ り。
354	40		丑1月25日	—	東龍寺他村且中申談事定之事			横帳	廻状外村名、人別、配 役など8枚
746	40		9月24日	—	覚 （免許御下げニ付金子受取）	池田鹿之助	二木武左衛門	紙	包紙に在中
1038	40		9月	—	書簡 （一筆啓上致シ候）	堤織部太夫	二木丈右衛門	状	「二木丈右衛門様…」 の包紙に在中 神前にて家内長久の御 祈禱を奉納
1251	40		3月14日	—	書簡 （穂高神社内の小丘について私 見）	二木昇平	望月秀司	状	「穂高神社本殿裏の小 高地は綿津見神の 陵カ」と記載
98	40		年代不詳	—	（津島御師役人よりの永代一万 度御祓の通知）	津島御師役人 山本弥左衛門	保高町 彦兵衛	紙	御初穂料につき記され ている。
267	40		年代不詳	—	口演（依頼状）	等々力村 東龍寺	等々力町 新四郎外1人	紙	勸化金を約定通り御納 下さる様御願ひ。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
268	40		年代不詳	—	(法蔵寺開基より五代までの経緯)			紙	
270	40		年代不詳	—	奉願口上之覚 (東龍寺住職古伝和尚が身持不埒でお咎め)	檀中惣代	成相組真々部村 真光寺	紙	下書
342	40		年代不詳	—	等々力町村真言宗牛流山真龍院			紙	真龍院の概要について書上
352	40		年代不詳	—	書簡 (通知状)	東龍寺	等々力町 新四郎	紙	定例の転読法要を行う。
587	40		年代不詳	—	(前文略・神社に関わる内済結果)			紙	小笠原大明神と唱えて来たのを以後諏訪大明神と唱えるとの事
666	40		年代不詳	—	乍恐奉願口上之覚 (当村諏訪大明神の村方役場での取計について)			紙	訴状の下書
723	40		年代不詳	—	神官 御免許 (紙袋 玉樹様印鑑入)			木札	木鑑札焼印 「玉樹門生」
798	40		年代不詳	—	天照皇太神宮 (宝勅)			紙	
799	40		年代不詳	—	宮・境内の図 (鹿島社及び周辺の土地)			絵図	
800	40		年代不詳	—	境内の図 (鹿島社境内及び周辺の土地)			絵図	
804	40		年代不詳	—	社務所祓木分			綴	折紙3丁 「敷梁4本外」の記載あり。
898	40		年代不詳	—	奉納天満宮御広前			紙	裏に覚 「証状」記載の包紙に在中

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
908	40		年代不詳	—	(鹿島宮社の風倒木処置について)			紙	下書 等々力村と等々力町村 の交渉経過記録
997	40		年代不詳	—	覚 (信州安曇郡大町組及び筑摩郡 の寺社等覚書)			横帳	
1154	40		年代不詳	—	御守虎巻秘密法	二木氏伝家		巻紙	
1190	40		年代不詳	—	断簡 (幣の原案図)			紙	
1267	40		年代不詳	—	(包) 宗門送書并出状在中	会田宿 多村木兵衛	穂高町 二木武左衛門	包紙	包紙のみ
1288	40		年代不詳	—	焼との呪(呪文)			紙	下書
1306	40		年代不詳	—	(祈祷の用語解説)			綴	豎折32枚綴
1308	40		年代不詳	—	(加持祈祷用語の説明書)			冊子	破損あり。
1334	40		年代不詳	—	(庚申塔へ祈願)			紙	「八幡大菩薩、帝釈天 への祈り」を記載
1376	40		年代不詳	—	八幡社の由来 (宝暦9年の史料から叙述)			紙	原稿用紙4枚、後世の記 述 宇佐八幡宮についても 記載

41 凶災 4点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
931	41		享和3・2・9	1803	松本火災灰寄被仰出御條目	等々力孫右衛門	出役人 白金村庄屋 三五郎 外3人	横帳	No. 930と同綴 人足出の決め事
930	41		享和3・2・16	1803	松本御城下安原火災ニ付灰寄人足割賦帳			横帳	No. 931と同綴 火事後始末における保高組の人足配置・人名等を記載
1012	41		天保8	1837	火事見舞御納帳			横帳	No. 1014迄同綴 5月12日の夜間に消失
768	41		弘化4・3・24	1847	大地震ニ付犀川之水泊り新町近村拾六ヶ村水中之控	保高組等々力町村 二木武左衛門		横帳	

42 救恤 3点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
25	42		寛政12・11	1800	乍恐奉願上口上之覚 (御救糶百俵願い)	保高組等々力町村 長百姓 吉郎兵衛 外2人	大庄屋 等々力孫右衛門外1人	紙	
5	42		文政3	1820	保高組御用捨御引上之節村々元糶覚			紙	保高組15ヶ村ごとの石高記載、惣93石2升3合7勺
388	42		嘉永4・11	1851	乍恐奉願口上之覚 (新堰出水により御救糶2百俵頂戴)	保高組保高町村 堰役 彦左衛門外7村 7人	藤森善太夫外2人	横帳	彦兵衛控

43 身分 19点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
64	43		享和3・2	1803	差上申一札之事 (若者共の狼藉な振舞に注意)	保高組等々力町村 五人組頭 太兵衛 新五郎外6人	庄屋 彦兵衛 利右衛門 長百姓 弥右衛門	紙	
229	43		天保13・11	1842	転居人請書	辻田実作	上様	紙	包紙あり。
1329	43		弘化2・5	1845	一札之事 (父親の暴言につき詫証文)	本人 銀次郎外1人	彦兵衛	紙	
125	43		嘉永4	1851	一札之事	等々力町村 当人 潤作	嵩下村 伯父 富之丞外2人	紙	行状が悪く離談を申し 渡されたが素行が直っ たら復縁
147	43		安政3・5	1856	差上申一札之事 (酒狂人の行状の詫び文)	当人 祐治郎外2人	等々力村 長百姓 彦兵衛	紙	
92	43		安政7・4	1860	奉公人請状之事	保高組柏原村 本人 袈裟吉 親 庄右衛門 請人 亀太郎	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	一ヶ月に6日間の間 (ひ ま) を約束
93	43		文久3・ 12・13	1863	奉公人請状之事	松川組嵩下村 置主 願人 嘉忠治 本人 甚右衛門 請人 末吉	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	嘉忠治弟・甚右衛門、 給金4両2朱にて1ヶ年季 奉公。
49	43		慶応元・ 12・13	1865	奉公人手形之事	嵩下村 本人 甚右衛門 置主 玉蔵 等々力町村 請人 新十郎	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	1年季で1ヶ月に5日宛の 日引にて給金5両2分
78	43		慶応2・12	1866	奉公人手形之事	保高組重柳村 本人 左馬吉外2人	等々力町村 彦兵衛	紙	音蔵の弟・左馬吉、給 金6両2分にて1年季奉公
42	43		慶応3・3	1867	奉公人手形之事	松川組嵩下村 置主 甚右衛門 請人 玉吉	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	8ヶ月間、給金1両3分 にて。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
81	43		慶応3・ 12・13	1867	奉公人手形之事	松川組新屋村 置主 秀吉	保高組 彦兵衛	紙	秀吉忰兼太郎、給金5両 1分にて1年季奉公
52	43		慶応3・ 12・13	1867	奉公人手形之事	松川組嵩下村 置主 甚右衛門 受人 玉吉	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	1ヶ年3両2分の割合にし て2両3分1朱とする。
262	43		明治元・ 12・13	1868	奉公人手形之事	松川組嵩下村 置主・親 新次郎	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	
897	43		明治元・12	1868	奉公人手形之事	両瀬村 本人 岩右衛門外2人	彦兵衛	紙	1年季奉公の給金として 8両受取
102	43		明治2	1869	奉公人手形請状之事	松川組古厩村 本人 継治郎 同村請人 重三郎 同組新屋村 加判 秀吉	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	1年季奉公
95	43		明治2・ 12・13	1869	奉公人手形之事	松川組古厩村 本人 継治郎 請人 十三郎	保高組等々力町村 彦兵衛	紙	1年季奉公、給金9両2分
143	43		4月28日	—	(自宅へ帰らない息子・浪蔵の 行状について)			紙	取調べの記録
730	43		5月20日	—	口上之覚 (忠兵衛の行衛不知における願 出について)	忠兵衛由緒惣代 両人		紙	案文 「願出への御役所様の 仰附に異議あり」の記 載
1228	43		年代不詳	—	(包) 奉公人手形			包紙	包紙のみ

44 家 20点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1347	44		延享2	1745	分家二木家之事			紙	
149	44		明和4	1767	縁組ニ付永代ニ譲渡申屋敷田畑 鯉川之事	譲主 武左衛門	買主 幸治郎外1人	紙	
36	44		寛政11・4	1799	濟口内濟為取替証文之事	等々力町村 訴詔人 兵左衛門 五人組相手方 勘兵 衛外6人		紙	兵左衛門居屋敷と郷御 蔵屋敷の地境入込みの 件
63	44		文化15・1	1818	一札之事 (借家請証文)	保高組等々力町村 請人 儀八外2人	保高組等々力町村 丈右衛門	紙	
1304	44		嘉永4	1851	家内訳立会割賦	立会人由緒 富之丞外2人		横半	姉みつ、弟潤作の家内 分を記載
212	44		嘉永6・7	1853	潤作家財道具調帳 由緒 立会調			横帳	二木屋の家財の種類と 員数調べ
211	44		嘉永6・ 12・2	1853	二木屋家財調帳	組合由緒立合控		横帳	競売時の落札者と金 額・数量
982	44		安政元・12	1854	(袋) 由書諸書出シ入	塩屋		袋	
55	44		安政3・5・ 25	1856	家移之次第 (新宅を出す時の持物)	二木彦兵衛		紙	「彦兵衛姉おさき分家 の節の分」と記あり。 衣類外勝手道具類
825	44		安政3・5	1856	家督相続分家記録帳	二木家		横帳	二木彦兵衛継代の記録
818	44		万延元・ 12・21	1860	婚礼祝儀受納帳	二木仙弥 (武左衛 門)		横帳	No. 820迄同綴 裏表紙に「千鶴万亀」 和田町の八郎右衛門娘 と婚姻

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
820	44		文久3・8・25	1863	婚礼祝儀受納帳	二木玉蔵		横帳	No. 818と同綴
935	44		慶応3・6	1867	御沙汰ニ付書上控帳 (二木家家族構成及び持高)	等々力町村 長百姓 彦兵衛控		横帳	
1219	44		明治元	1868	(包) 会田町宿年寄 鳥羽甚兵衛殿 辞世之歌并御先祖之事有			紙	包紙に4点在中 (歌2、 覚1、おぼえ1)
750	44		明治4・7	1871	書簡 (細越町皆川忠左衛門の世話で との挨拶状)	越後見附宿 渡辺空内外1人	保高宿 御用水懸り 二木彦兵衛	状	封筒に在中
1333	44		8月19日	—	書簡 (御礼の挨拶状)	□山神平	塩屋武左衛門	状	
286	44		年代不詳	—	辰盆暮調金帳			横帳	人足費用
1135	44		年代不詳	—	覚 (家具・用具の種類と数)			紙	
1188	44		年代不詳	—	(御蔵屋敷・彦兵衛屋敷・民右 衛門屋敷の間口と裏行間数)			絵図	切図
1198	44		年代不詳	—	覚 (部屋毎のト占)			紙	

#### 45 飲食 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
566	45		年代不詳	—	(酒ヲ作る法)			横半	

46 習俗 7点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
769	46		元治元・ 12・13	1864	婚姻受納帳	二木友衛門正將		横帳	御領所会田宿の年寄甚兵衛娘さくを娶る。
53	46		慶応2	1866	久太郎 (御宮参り)	二木		紙	4月22日、保高神社外2社へ
186	46		10月16日	—	書簡 (おさくが病没したことに對する御悔み及び疎遠の詫状)	鳥羽	二木	紙	
45	46		年代不詳	—	(父死去につき神葬祭の知らせ)	曾根原彦市	等々力町 二木彦兵衛	紙	
187	46		年代不詳	—	包紙 (慶安四年御下ヶ札入 二木彦内)			包紙	
190	46		年代不詳	—	役附 (葬儀の役割分担表の下書)			紙	
225	46		年代不詳	—	(イロハ順お仕着せ人名・金額)			紙	

47 学芸 78点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1022	47		明和6・9	1769	挿華諸具寸法并口訳	霍(ママ)養齋鼈石丈所持		横半	
1023	47		明和8	1771	挿花伝書序	羈養齋鼈石丈所持		横半	
1024	47		明和9・9	1772	挿華伝書 釣舟花挿様の事	霍(ママ)養齋鼈石丈所持		横半	華道の釣舟作法を記載
1025	47		明和カ	—	(挿華の図解集)			綴	No. 1022～1024の附属資料

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1042	47		天明7	1787	三才三停六府之伝	紫玉堂門人 玉黄堂		紙	人相観の伝導文
1272	47		文化	—	短冊（和歌）・書画等			短冊	包紙に在中（和歌20、書画12）
579	47		文政7	1824	（俳諧集・桃春霊神）	穂高町 塩屋		縦帳	表紙に汎那瑚字起 全
580	47		天保7	1836	（詩歌・書画・俳諧集）			縦帳	弘竜雲遊選
581	47		天保7	1836	（詩歌・書画・俳諧集）			縦帳	
568	47		天保14	1843	三河後風土記正説大全（1～5）	保高塩屋		縦帳	小川政義 天保14年写す。
569	47		天保14	1843	三河後風土記正説大全（6～10）	保高塩屋		縦帳	小川政義 天保14年写す。
570	47		天保14	1843	三河後風土記正説大全（11～15）	保高塩屋		縦帳	小川政義 天保14年写す。
571	47		天保14	1843	三河後風土記正説大全（16～20）	保高塩屋		縦帳	小川政義 天保14年写す。
572	47		天保14	1843	三河後風土記正説大全（21～25）	保高塩屋		縦帳	小川政義 天保14年写す。
573	47		天保14	1843	三河後風土記正説大全（26～33）	保高塩屋		縦帳	小川政義 天保14年写す。
574	47		天保14	1843	三河後風土記正説大全（34～41）	保高塩屋		縦帳	小川政義 天保14年写す。
575	47		天保14	1843	三河後風土記正説大全（42～50）	塩屋		縦帳	小川政義 天保14年写す。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1079	47		天保14・9	1843	(殿中手まり歌・歴史的事柄等の記録)			紙	
1157	47		弘化2	1845	民家必用條目 (全)			冊子	発行元 東都池田義信 板元 本屋又助
564	47		弘化5・2	1848	神法神選宝記	二木彦兵衛		横半	
1156	47		嘉永2・4	1849	(柳下亭種員選集)			冊子	
867	47		嘉永4・1	1851	算盤之覚帳			横帳	算法の説明
562	47		嘉永5・7	1852	天文地理 籠篋 (ほき) 上下 日選善悪	二木彦兵衛		横半	
561	47		安政3・2	1856	天文雲気 晴雨・日選・方角 吉凶	二木姓		横半	日選び・方角占について
563	47		安政3・5	1856	神法神選秘			横半	
558	47		安政6・10	1859	家相暈間取五行配当	二木彦兵衛		横半	卜筮・占相術の図説・ 解説文 No. 557と同綴
555	47		元治元・4	1864	知恵の海笑草葉口			横帳	数多くの生活の知恵を 列挙
556	47		元治元・8	1864	家相秘録集			横半	家の建て方、建物の配 置等家相の観方
1366	47		慶応2	1866	(慶応3年丁卯及び天保壬寅の 曆)	伊勢度合郡山田 西嶋左内		その他	折本
1026	47		慶応3・1・ 12	1867	和歌月次詠草	宅麻呂		横半	季語と歌

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
552	47		慶応4・1	1868	易学□伝□			横帳	易の観相方法を詳述
951	47		明治元	1868	告諭大意			縦帳	No. 949と同綴 裏表紙に「素耕先生之 写リシ御書也」と記載あり。
1261	47		明治2	1869	詠草（短歌・俳句集）	二木将光（昇平）		縦帳	自作の短歌及び辞世の 句等を記載
1262	47		明治2・8	1869	和歌詠草 第七番	二木宅満		縦帳	和歌とその詠歌の添 削・校正を記載
1271	47		明治	—	短冊（和歌）			短冊	包紙に在中（松沢求策 外39点）
1299	47		明治	—	短歌 （君が代の祝歌）			紙	朱墨あり。
1396	47		明治	—	書 「寒夜客来リ…」	王溪権天人		紙	裏打ち
1397	47		明治	—	書 （七十二翁を祝す歌）			紙	宝珠の図
135	47		年代不詳	—	（高島章貞の自筆弘竜建立の芭 蕉碑について）	高嶋文麿		紙	自筆の弘竜（二木家当 主）建立について
372	47		年代不詳	—	書（一行書） 「花不及□□」			その他	七十一叟 齋奴蘇書 形態 半折
373	47		年代不詳	—	画 （書と座僧図）			紙	「昏中消息何人…」
374	47		年代不詳	—	画（山水画） 「贅居」作			紙	
375	47		年代不詳	—	書（扁額 三文字） 「不違農」			紙	源朝臣大給親存之印と あり。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
376	47		年代不詳	—	画 (笹竹之図)			紙	「ふしとこに ちとせ を」 七十五翁 林良 本書 美原田恕画
377	47		年代不詳	—	書 (名号縦書) 「諏方大明神」			紙	権祝神光書
378	47		年代不詳	—	画 (芙蓉之図)			紙	賛「露落つる かけひ まじきの 下あかり」
379	47		年代不詳	—	書 「春夏の…」			紙	七十叟 藤村□□書
380	47		年代不詳	—	画 (松樹図)			紙	賛「松かえに…」 美原田恕画
381	47		年代不詳	—	画 (梅之図)			紙	賛「うるわしき…」 希 言 美原田恕画
504	47		年代不詳	—	(易道の事象に関わるメモカ詳 細不明)			紙	
507	47		年代不詳	—	(譬話・俗説等を記したメモの 綴)	松川組須沼村 松坂屋多門		綴	
553	47		年代不詳	—	人相之本写			横帳	人相見立の要点を記述
554	47		年代不詳	—	(易観相の方法を詳述)			横帳	
567	47		年代不詳	—	(屋敷内配置及び間取り平面 図)			紙	易占の資料
578	47		年代不詳	—	花乞食 (俳諧集)	二木弘竜 二木節利		縦帳	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
949	47		年代不詳	—	うつら衣 (短歌・随筆集)			縦帳	No. 951迄同綴 正三位有功卿編纂による「うつら衣」の写本
978	47		年代不詳	—	老祖母八十四歳 辞世			紙	「おし可らぬ老の此身も奈可らへ天、花諸共に散ると女崑しき」と記載
976	47		年代不詳	—	(短歌 五首)			紙	2枚 5人の短歌を記載
1119	47		年代不詳	—	底示乎波必用 (字句意味等の用法)	持主 本塩屋		冊子	
1120	47		年代不詳	—	(式亭三馬 新水鳥記、和歌・俳句の写し等)	二木		冊子	版本の合冊
1303	47		年代不詳	—	画 (俵図)			紙	475mm×610mm 賛「杜生ハ唐山…」
1307	47		年代不詳	—	初学和奇式 卷六 (和歌一句ごと索引)			冊子	破損あり。
1309	47		年代不詳	—	詠草 第一番 初讀 (短歌集)			綴	No. 1313迄同綴 朱墨による朱正
1310	47		年代不詳	—	笑詠草 第二番 (短歌集)			綴	No. 1309と同綴 朱墨による朱正
1311	47		年代不詳	—	詠草 上 第三番 (短歌集)			綴	No. 1309と同綴 朱墨による朱正
1312	47		年代不詳	—	四委乱題御笑詠草初学 第四番 (短歌集)			綴	No. 1309と同綴 朱墨による朱正
1313	47		年代不詳	—	四時應雑題詠草 第五番 (短歌集)			綴	No. 1309と同綴 朱墨による朱正
1184	47		年代不詳	—	備州長船住人則光 (刀劍鑑定札)			紙	「鑑定小札」の包紙に在中

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1189	47		年代不詳	—	(桃青靈神碑の建立設計図)			絵図	高さ1丈6寸
1192	47		年代不詳	—	(包) 狩野探幽斎守信筆…			包紙	包紙のみ
1197	47		年代不詳	—	覚 (家光公と大久保彦左衛門の逸話を写書き)			紙	
1263	47		年代不詳	—	新三十六歌仙			その他	折本 和歌の教本
1264	47		年代不詳	—	詠草 上 (短歌集)			綴	朱墨による朱正
1302	47		年代不詳	—	書 「月輪」			紙	285mm×535mm 高野山名僧山川書
1367	47		年代不詳	—	(暦易断表)			紙	750mm×800mm 厚紙の表裏総面に記載 「吉凶・方位・日柄等…」の易断全般
1375	47		年代不詳	—	(俳句・2首)			紙	初秋の句会カ
1377	47		年代不詳	—	(易占・運勢等早見表集)			紙	730mm×730mm 方位・本命吉凶早見表 等各種の張合せ
1395	47		年代不詳	—	書 「二皆窓家熱客出し」			紙	元旦書

#### 48 医術 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
565	48		年代不詳	—	(眼病症状の説明及び眼病薬製法の記載)			綴	

49 通史 2点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
451	49		享保12・9	1727	(職分之儀者文永年中…)			紙	前半部分破損
883	49		年代不詳	—	断簡 (貝梅城御館の由来)			紙	2枚綴

51 地誌 6点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1031	51		寛政12	1800	信府統記(眼)	池田屋 浅井氏		冊子	写本 (No. 1036迄全6卷) 「寛政十二庚申 松井三楽筆 季夏吉辰写之」と記載
1032	51		寛政12	1800	信府統記(耳)	池田屋 浅井氏		冊子	写本 No. 1031の備考欄参照
1033	51		寛政12	1800	信府統記(鼻)	池田屋 浅井氏		冊子	写本 No. 1031の備考欄参照
1034	51		寛政12	1800	信府統記(舌)	池田屋 浅井氏		冊子	写本 No. 1031の備考欄参照
1035	51		寛政12	1800	信府統記(身)	池田屋 浅井氏		冊子	写本 No. 1031の備考欄参照
1036	51		寛政12	1800	信府統記(意)	池田屋 浅井氏		冊子	写本 No. 1031の備考欄参照

## 52 絵図 28点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
843	52		正保2	1645	正保二年御絵図之写 (穂高組村々と石高等)	二木彦兵衛所持		絵図	彩色 480mm×510mm
847	52		正保2	1645	正保二年 (松川組村々と石高等)	二木彦兵衛所持		絵図	彩色 510mm×640mm
852	52		正保4・8	1647	(穂高嶽周辺の山名、神かうち 川等)			絵図	彩色 555mm×710mm 鍵ヶ嵩、双六ヶ嵩、笠 谷嵩、新池、浄念が 洞、ぬく湯等図示
856	52		元禄8	1695	(有明山麓村々の川除地分担)		高瀬 黒田軍左衛門外4人	絵図	彩色 690mm×1530mm 鳥川・油川・中房川・ 乳川、寺社等図示
1320	52		享保9・4	1724	享保九辰年四月 水野隼人正様 … (本から寿川欠壊図)		水野隼人正様 御支配御役人御中	絵図	彩色 1140mm×1030mm 保高町村、保高村、貝 梅村等周辺図
857	52		延享2・4	1745	(等々力村川除瀬違場、保高 川、白狐宮の周辺)	等々力村 庄屋 治左衛門外5人		絵図	彩色 620mm×940mm 覚(貼付)川除普請ニ付 吟味ト裁許 村境、道、芝、川除等 色分
849	52		寛政9・8・ 26	1797	(等々力町村 郷蔵・土蔵・民 右衛門居屋敷)			絵図	520mm×655mm
851	52		天保15・ 10・14	1844	天保十五辰年十月十四日御川除 様江書上絵図控 (貝梅村・生地)		御川除御役人 小沢有砦右衛門外6人	絵図	彩色 840mm×625mm
850	52		弘化2・4	1845	(神社周辺、等々力町村・等々 力村の道・川・田・花見等)		御郡奉行 尼子右勝 外4人	絵図	彩色 635mm×820mm

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1317	52		弘化3・11	1846	鹿罵大明神 社地見取墨引	保高組等々力町村 願方 五人組頭 新左衛門外10人	同組等々力村 相手方 五人組頭惣 代 源蔵外12人	絵図	彩色 915mm×1315mm 「立会人 臼井喜多右 衛門外1人」の記載
846	52		弘化4	1847	信濃国大地震火災水難地方全図 (犀川・千曲川周辺)			絵図	彩色(木版画) 410mm×680mm 上梓、稻荷山宿、茂喬 の図示及び図画・書 記・彫工名の記載あ り。
1315	52		嘉永元	1848	(矢原堰揚口、犀川・熊倉橋周 辺川除普請ヶ所)	矢原村庄屋 紋十郎外9村26人	寺社奉行所 脇坂淡路守	絵図	彩色 410mm×710mm
1318	52		嘉永3	1850	嘉永三庚戌年 (犀川両岸村及び熊倉橋、松本 往来道)			絵図	彩色 780mm×950mm
853	52		嘉永3・ 10・25	1850	(木曾川・梓川合流地域)	松本丹羽守領分 矢原村庄屋 紋十郎 外16人	御評定様へ上ル 御席 脇坂淡路守 外3人	絵図	彩色 780mm×960mm 田沢村、矢原堰、熊倉 橋、番所、松本往還等 を図示
1316	52		嘉永3・ 10・25	1850	嘉永三庚戌十月廿五日 御尊判 … (犀川両岸村及び熊倉橋番所の 川除ヶ所を表記)	矢原村 庄屋 紋十郎外2人	御勘定 池田播磨守	絵図	彩色 780mm×945mm 「願人 矢原村庄屋 紋十郎外16人」の記載 あり。
854	52		嘉永4	1851	(犀川周囲村々と熊倉橋、矢原 堰、がま川、松本往還等)	田沢村 八野右衛門外4人		絵図	彩色 790mm×960mm 覚(貼付)徳次郎耕地 境の済口
842	52		嘉永7・10	1854	保高川筋筏川下難渋願絵図 (但し川除普請要所、狐嶋橋・ 烏川・保高等)			絵図	彩色 565mm×675mm 「嘉永七甲寅年十月六 日見取墨引」の記載あ り。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1144	52		安政2・3	1855	字北条畑地図引之写	井口喜左衛門	一柳市野右衛門	絵図	畑数十枚を記載 325mm×800mm
1322	52		安政3	1856	(等々力町狐島村の番杭打込の場所)	保高組等々力町彦兵衛		絵図	切図 1620mm×940mm
1319	52		安政3・10	1856	元禄十一戌寅年二月十七日差出申控… (国郡図・成相組境より松代境の犀川東側)	保高組白金村 庄屋 出役 望月口代蔵 等々力町村 庄屋 彦兵衛	御郡御奉行所 川村惣太夫外2人	絵図	彩色 580mm×2300mm
845	52		安政カ	—	(木曾川・拾箇堰筋水門附近)	拾ヶ新堰々役彦兵衛		絵図	彩色 300mm×800mm 松本往還を図示
844	52		万延元・11	1860	(日光寺周辺、拾ヶ堰・勘左衛門堰)			絵図	95mm×785mm 井口、道、底樋等図示
1314	52		文久4・2	1864	規定之事 (等々力町村周辺の苜敷花見新開に伴う規定要図)	庄屋 新四郎外11人		絵図	彩色 395mm×565mm 裏面に「規定之事」記載
848	52		元治2	1865	元治二乙丑年四月六日矢原堰揚口振替目論見ニ付認ル (徳次郎耕地周辺)			絵図	彩色 330mm×440mm
855	52		明治	—	(等々力町 地番・面積・屋並図)			絵図	彩色 880mm×1780mm 鹿島社、堰、道等図示
841	52		年代不詳	—	(二木家 屋敷・居宅 間取方位図)			絵図	彩色 300mm×410mm
1321	52		年代不詳	—	(等々力町村と周辺図)	保高組等々力町村 二木彦兵衛所持		絵図	彩色 1390mm×1640mm 真龍院と矢原堰末流を図示
1323	52		年代不詳	—	伊豆七島全図 (東京湾沿岸の村々)	阿部喜任外2人		絵図	折本、彩色 760mm×450mm 江戸室町 須原屋市兵衛刊行

## 53 その他 5点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1236	53		天保13・12	1842	(袋) 天保十三年・極月 寅冬 書出シ入			袋	袋のみ 280mm×190mm
1133	53		明治	—	(柏原村藤兵衛の帰国等における雑記)			紙	破損あり。
1221	53		4月13日	—	書簡	等々力口左衛門	二木彦兵衛	状	
1239	53		年代不詳	—	(袋)			袋	記載なし 320mm×180mm
1270	53		年代不詳	—	(包) 保高町 塩久様	六九町 忠蔵出	塩久様行	包紙	包紙のみ

近現代

101 戸口 2点 (3)戸籍 2点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1235	101	3	明治6・1・11	1873	(二木家戸籍)	二木彦内		綴	3枚綴 文化9年～記載
1136	101	3	明治19・12・10	1886	寄留御届 (谷沢浪蔵一家三人)	谷沢浪蔵外1人	南安曇郡東穂高村 柏原村戸長 森本元□	罫紙	

102 政治 23点 (1)法規 1点 (2)人事 8点 (5)財政 9点 (6)地籍 1点 (7)町・村勢 1点 (9)町会・村会・区会 2点 (10)郡政・町政・村政・区政 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
981	102	1	明治5・12・7	1872	(御一新之始メ四役人ヲ廃し之御沙汰)	戸部署		紙	
1027	102	2	明治5・9	1872	上(乍恐奉願口上之覚)	副戸長越役 願主 二木彦内	副戸長 望月善平 外1人	縦帳	病身のため副戸長を辞退
1030	102	2	明治5・10	1872	上(奉願口上書)	第七拾区安曇郡等々 力村 副戸長 二木彦内 外2人	筑摩県御役所	縦帳	老衰と病氣にて副戸長の辞任を要望
1101	102	2	明治27・5・29	1894	任命書 (東穂高消防組へ任命)	長野県豊科警察署	二木久太郎	紙	
1185	102	2	明治27・5・31	1894	辞令書 (東穂高消防組消防手)	長野県警察部		紙	受命者 二木久太郎
1193	102	2	明治32	1899	覚 (明治32年迄の二木久太郎の履歴)			罫紙	
970	102	2	明治	—	奉願口上書 (副戸長の辞退願)	第七拾区安曇郡等々 力町村 副戸長 願人 二木彦内外2人		紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1106	102	2	明治	—	第百九十六区 博業学校 (月給4円 下條貞掩)			紙	
1290	102	2	年代不詳	—	記 (29銭3分7厘5)			紙	大区組7人分支払票
704	102	5	明治5・8	1872	御年貢諸役金之通	貝梅村 入作 二木彦内		横半	
706	102	5	明治6・4	1873	第二番等々力町村所新切人別持 割合帳	二木昇平		横半	
707	102	5	明治6・4	1873	第一番等々力町村所新切人別持 割合帳	二木昇平		横半	
1098	102	5	明治7・4	1874	絞油税受取	筑摩県庁 租税課	等々力村 二木彦内	紙	
868	102	5	明治8	1875	貝梅耕地・等々力町耕地・等々 力耕地 田畑番号控	等々力町耕地 二木彦内		横半	田畑地番の附与状況が 記載
83	102	5	明治12・ 7・1	1879	地券 (林5畝15歩・地価18銭)	長野県	東穂高村 二木昇平	紙	
940	102	5	明治21・9 ～	1888	等々力茂登太郎 租税諸掛上納 控	代納人 二木富衛茂		横半	代納地域は東穂高村、 柏原村、有明村の3村
94	102	5	明治23・ 4・14	1890	荷車税領収証 (25銭)	豊科支金庫	二木昇平	紙	右ハ新調致し、本日収 税部豊科所検印済に仕 候の紙片貼付。
1194	102	5	年代不詳	—	(保高川大井原 芝地の面積)			罫紙	
248	102	6	明治6・1	1873	奉差上済口一札 (橋爪村貝梅村の境界の件)	第十大区小六区安曇 郡橋爪村 惣代 遠藤元一外4人		紙	
987	102	7	明治37	1904	(道路工事に伴う各屋敷の様 子)			紙	各戸の屋敷について記載

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
991	102	9	明治16	1883	夜廻り順番			綴	夜廻りの班分け帳
455	102	9	明治32・11	1899	(南安曇郡豊科村長以下各村々長名21人)		東筑摩郡中川村 村長 岩淵静一郎	紙	歎願書カ 一部破損(1枚~2枚目)
390	102	10	明治5・10	1872	奉願口上書 (8月就任した副戸長職を病氣老弱の為辞す)	第七拾区安曇郡等々力町村 副戸長 願人 二木彦内外2人	副戸長 望月善平 外1人	綴	

### 103 農業 1点 (5)特用作物 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
38	103	5	11月1日	—	覚 (納品書)	狐嶋 セ話役方	等々力村 お世話中方	紙	わさび外

### 104 林業 1点 (1)官公私有林 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1051	104	1	明治11・2・20	1878	持林之控 彦内分 (林の面積と場所)			紙	罫紙と2枚綴 裏面に「穂高神社奉射講中人名」の記載

### 107 商業 2点 (1) 商店2点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1102	107	1	明治6・9	1873	奉願口上之覚 (絞油業の鑑札願)	右村副戸長 青柳道蔵外1人	筑摩県 権参事 高木惟矩	罫紙	附箋貼付
796	107	1	明治18・6・10	1885	第784号 茶業組合之証	長野県下 南安曇郡茶業組合	長野県信濃国南安曇郡東穂高村 二木昇平	紙	包紙に在中 鑑札

109 金融 36点 (1)無尽・貸借・売買 36点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1199	109	1	明治7	1874	記 (金銭授受)	二木彦内		紙	
70	109	1	明治7・2	1874	借入金証書之事	安曇郡第十大区内五 小区 等々力町村 借用人 白沢留吉 請人 村山喜四郎	等々力町村 二木彦内	罫紙	
241	109	1	明治7・2	1874	借入金証書之事	安曇郡第十大区等々 力町村 借用人 白沢留吉 外1人	等々力町村 二木彦内	紙	
1330	109	1	明治7カ	—	借用申証書 (金子借用証)	東穂高村 片坂紋弥	東穂高村 二木彦内	紙	
251	109	1	明治8・5	1875	借用申証書之事	安曇郡東穂高村等々 力町耕地 本人 丸山新十郎 外1人	等々力町耕地 二木彦内	罫紙	
99	109	1	明治10・4	1877	記 (寛政4年の貸金の元利合計が 38万9379円55銭)	みなとや甚平	二木彦内	紙	寛政4年12月、金3両の 元金・利子1割5分、年 月84年5ヶ月の元利合計 が記載
1352	109	1	明治10・ 5・9	1877	借入金証書	借り主 須坂紋弥	二木彦内	紙	「金2円也 抵当として 田2畝8歩」の記載
84	109	1	明治12・ 4・1	1879	地所売渡証書	南安曇郡東穂高等々 力町 売主 二木條助 保証人 二木常口	同村 二木昇平	紙	芝地2反2畝15歩、2反7 畝6歩、代金20円也
887	109	1	明治12・4	1879	林売買の願	二木条助		罫紙	二木条助の林・芝地3筆 を二木昇平に売却する 願書

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
82	109	1	明治13・ 2・14	1880	小作証書	東穂高村 小作人 宮沢嘉藤治 請人 幡場惣三	東穂高村 二木昇平	紙	
86	109	1	明治13・ 5・22	1880	借用申証書之事 (保高川端苜蓿敷林1ヶ所)	安曇郡北穂高村 高橋橋治郎	東穂高村 二木昇平	罫紙	
89	109	1	明治17	1884	借地証書 (4反3畝15歩、小作米1石6斗)	南安曇郡東穂高村 借主 谷沢浪蔵 受人 等々力太重	二木昇平	罫紙	敷金10円
1153	109	1	明治17・12	1884	地所売渡証書及び宅地売渡約定証	売渡人 二木昇平		罫紙	6枚綴 (地所5件・宅地1件)
1260	109	1	明治18	1885	地所売渡シ約定証書等	売渡人 二木昇平外	丸山藤平外	綴	罫紙8枚 売渡シ約定証書6点外受 取書、公証願あり。
1149	109	1	明治18・ 2・10	1885	請取証 (地所売渡の代金)	二木昇平	小川宇吉	罫紙	
1152	109	1	明治18・4	1885	地所売買ニ付地券書替願	売渡人 二木昇平 外1人	南安曇郡長 丸山英一郎	罫紙	6件 (6枚綴)
1364	109	1	明治18・ 7・17	1885	書簡 (借金の返済)	松山甚兵衛	塩屋久太郎	状	
983	109	1	明治19	1886	地所売渡シ証	売渡人 二木昇平 外1人	山崎太忠治	罫紙	原野3筆 代金21円
1150	109	1	明治21・ 1・22	1888	金子借用証	借用人 二木昇平	竹内仙一	罫紙	4枚綴 「墨消」にて返済ず み。
1052	109	1	明治22・ 1・27	1889	借入金日延書	東穂高村 二木昇平	北穂高村 竹内仙一	罫紙	墨消 一金貳拾四円 決裁済
1232	109	1	明治	—	(屋敷・建具・土蔵 150円売 払い)			紙	下書

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1148	109	1	明治カ	—	地所売渡証書			罫紙	書式の記載
79	109	1	8月25日	—	(金銭返済遅延の詫状)	望月忠蔵	二木彦内	状	往年の借入金と利息不足分
1053	109	1	2月14日	—	受取証 (地所売渡シ代内取)	南安曇郡東穂高村 二木昇平	同郡同村 矢口源助	罫紙	一金拾円也
1137	109	1	5月8日	—	書簡 (家の買取・家賃等の事)	岡本元文	二木彦兵衛	状	包紙に在中 (2枚綴)
1200	109	1	2月3日	—	書簡 (金融取引)	望月忠蔵	二木彦内	状	
1201	109	1	1月17日	—	書簡 (金融取引)	望月忠蔵	二木彦内	状	
1203	109	1	1月6日	—	書簡 (貸借)	望月拝	二木様	状	
1204	109	1	4月13日	—	書簡 (利子の払い)	望月忠蔵	二木彦内	状	
1205	109	1	10月20日	—	書簡 (金融取引)	望月忠蔵	二木昇平	状	借入金について記載
1206	109	1	2月27日	—	書簡 (貸借)	望月忠蔵	二木彦内	状	包紙に在中
1207	109	1	3月1日	—	書簡	望月拝	二木様	状	包紙に在中
1211	109	1	4月28日	—	書簡 (利息支払)	望月拝	二木屋様	状	
1212	109	1	2月24日	—	書簡 (貸借・利子)	望月忠蔵	二木昇平	状	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1240	109	1	年代不詳	—	記 (合計地価265円10銭)			紙	紙片
1300	109	1	年代不詳	—	(無尽会へ願出)	鳥羽	二木昇平	紙	

110 生活 19点 (1)衣 1点 (2)食 1点 (6)物価 2点 (7)生活全般 15点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
85	110	1	年代不詳	—	(色々な布類と数一覧表)			紙	注に「池田へ行縁談之時おや元着物之覚也」と記あり。
505	110	2	明治34・3・9	1901	菓子秘法 (菓子の製造法)			綴	
76	110	6	明治9・12・6	1876	請取証書 (水油槌玉1丁)	東穂高等々力耕地 等々力藤十郎	二木昇平	紙	
560	110	6	大正5	1916	通帳	二木幹夫		横半	
819	110	7	明治7・10・8	1874	婚礼祝儀受納帳	二木家恵女		横帳	No. 818と同綴
899	110	7	明治8・9・4	1875	近江屋・塩屋 差引控入外利子 計算書			紙	包紙内に慶応3年～明治7年の3通あり。
15	110	7	明治9・2・20	1876	二木昇平・二木玉蔵 訳地調帳 (土地・品々の分与)	父 二木彦内 母 まさ		横半	
805	110	7	明治10・2・1～	1877	月縛金銭出入貸帳	二木彦内		横半	
1282	110	7	明治11	1878	記(分家の諸事記録)	二木昇平		綴	横帳・横半・罫紙の合冊
972	110	7	明治11・2	1878	書置之事(遺書)	二木彦内	同姓衆中	紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1124	110	7	明治19	1886	書簡 (祝儀の日限)	等々力	二木様	状	
1372	110	7	明治19・ 3・5	1886	書簡 (婚礼招待の御礼)	等々力藤十郎	二木昇平	状	「松本より」の封筒に 在中
506	110	7	明治カ	—	覚 (塩屋私家の方位)			紙	部屋ごとの方角
1287	110	7	昭和	—	御先祖役職調べ			紙	寛永11年～明治16年迄 の先祖の事績
797	110	7	3月6日	—	断簡 (6円差上げ)			紙	
1215	110	7	12月14日	—	書簡 (縁談)	鳥羽甚兵衛	二木昇平	罫紙	
1386	110	7	1月24日	—	書簡 (縁談について)	寺島嘉輔	五十嵐武左衛門	状	
1295	110	7	年代不詳	—	覚 (家ヲカシ土蔵ニ住ム…)			紙	覚書き
1373	110	7	年代不詳	—	(袋) 目薬貝三百枚			袋	袋のみ

112 経済関係諸団体 5点 (2) 水利5点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
357	112	2	明治12・4	1879	記 (請負契約書)	南穂高村 請負人 森山多吉 外1人	矢原堰 年番世話役	罫紙	
358	112	2	明治12・4	1879	記 (請負契約書)	西穂高村 請負人 萩原倉吉 外2人	矢原堰 年番世話役	罫紙	矢原堰諸木代

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
359	112	2	明治12・4・26	1879	諸木水揚請負証書	南保高村 請負人 細萱治平 外1人	矢原堰年番村吏 堰世話役	罫紙	
355	112	2	明治14・4	1881	諸木請負証	東穂高村 請負人 望月念吾 外1人	矢原堰 年番世話役	罫紙	
356	112	2	明治14・4	1881	宮浦水揚諸木請負証	請負人 飯沼与四郎 外1人	矢原堰 年番世話役	罫紙	

114 交通・通信 14点 (1)道路橋梁 5点 (2)鉄道 1点 (5)通信 3点 (6)郵便 5点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
227	114	1	明治16	1883	記 (道路開鑿のための義捐金)			綴	
119	114	1	明治22・10	1889	(糸魚川街道が天朝工事によつて県道になった周辺事情)	東穂高村等々力町耕地 耕地惣代 二木久太郎外1人		紙	五色々付絵図面付
1337	114	1	明治22・10	1889	覚 (穂高両町道路拡張の概要)	東穂高村字等々力町 耕地惣代 二木久太郎外1人		綴	「穂高両町之真中ニ用水堰…」の記載
984	114	1	明治37	1904	覚 (県道となった千国街道の道路工事経過)			綴	用水工事・電灯設置等の記載
1338	114	1	年代不詳	—	覚 (県道の普請)	南安曇郡東穂高村 等々力町耕地 二木昇平		紙	折紙 「松本方越後国江達ス道路…」の記載
979	114	2	明治36	1903	覚 (明科村の鉄道開通)			紙	「明治三十五年五月十五日之事」と記載あり。

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1357	114	5	1月10日	—	書簡	東穂高村 塩屋丈助	南深志町 御名泰平郎	状	
725	114	5	11月5日	—	書簡 (賦銭帳の写について)	望月喜代蔵	二木□□	状	
860	114	5	年代不詳	—	断簡 (小川為一郎・二木昇平の宛名)			紙	「至急」の記載あり。
1297	114	6	明治25・ 5・3	1892	書簡 (古書図借覧の礼状)	等々力正晴	二木久太郎	状	3銭切手貼付封筒に在中
88	114	6	9月4日	—	書簡 (負債返済遅延お詫び)	望月	二木昇平	罫紙	
1097	114	6	3月25日	—	書簡 (近況報告)	望月秀司	等々力町 二木久太郎	状	封筒に在中 「子息の勉学における 賞賛と相手の療養好転 への願い」を記載
1296	114	6	4月18日	—	書簡 (見舞)	乙葉甚平	二木昇平 御家内中	状	
1374	114	6	年代不詳	—	書簡 (史料提供の礼状)	深遼篆会本部	二木節利	状	手紙の他新聞切抜とパ ンフレットが封筒に在 中

115 宗教 23点 (1)宗派 1点 (2)神社 11点 (4)社寺 11点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1276	115	1	昭和45	1970	吉祥山東光寺由来	東光寺七世 若宮昭三		紙	活版刷
294	115	2	明治8・4	1875	穂高神社由来	安曇郡東穂高村 二木昇平将光		紙	明治3年午より未、申 3ヶ年毎日々参、その成 就を謝して奉呈
865	115	2	明治13	1880	(穂高神社遷宮の建築入用)			紙	遷宮の費用支払(大工 判取・木品等)

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
765	115	2	明治13・9 ～	1880	穂高神社宮築勅使殿木品請取帳	等々力町村 日勤宮繕掛 二木昇平控		横帳	
766	115	2	明治13・9	1880	穂高神社宮築神楽殿木品請取簿	等々力町村宮繕掛 日勤人 二木昇平控	穂高神社 社務所	横帳	明治14年5月15日建前
767	115	2	明治13・9	1880	穂高神社宮築鎮齋殿木品目論見帳	等々力町村宮繕掛 日勤人 二木昇平控	穂高神社 社務所	横帳	明治14年5月13日建前、 5月22日落成
802	115	2	明治14・ 2・26～	1881	穂高神社宮膳ニ附控	宮膳掛り長 日勤人 二木昇平		横帳	明治13年9月～14年2月 普請までの詳細な記録
803	115	2	明治14・ 4・15	1881	記 (穂高神社勅使殿木品之儀)	穂高神社宮膳掛惣代 等々力町村 二木昇平外1人		綴	折紙 各地への木品調達
1103	115	2	明治15・ 9・14	1882	上願書 (穂高神社修繕における官費廃止)	戸長 望月秀司外1人	北安曇郡々長 窪田畔夫	紙	奥書と穂高神社の受付 印あり。
859	115	2	9月29日	—	断簡 (穂高神社入札)			紙	神楽殿・鎮祭殿・回廊
795	115	2	年代不詳	—	社務所木品請負人 (神楽殿木品請負人外勅使殿 等)			紙	
858	115	2	年代不詳	—	(寄附金掛リ人名)			紙	矢原・等々力・穂高耕 地
871	115	4	明治6・3・ 1	1873	信濃国安曇郡保高村 穂高神社 氏子	穂高神社祠官 竹中勝徳外1人	二木昇平 二男 二木甚十良	木札	明治3年9月20日生
872	115	4	明治6・3・ 1	1873	信濃国安曇郡保高村 穂高神社 氏子	穂高神社祠官 竹中勝徳外1人	二木昇平 長男 二木久太良	木札	慶応2年3月6日生
873	115	4	明治6・3・ 1	1873	信濃国安曇郡保高村 穂高神社 氏子	穂高神社祠官 竹中勝徳外1人	二木彦内 長女 や江	木札	弘化3年10月9日生

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
874	115	4	明治6・3・1	1873	信濃国安曇郡保高村 穂高神社 氏子	穂高神社祠官 竹中勝徳外1人	二木潤作 長男 二木林平	木札	天保14年2月22日生
875	115	4	明治6・3・1	1873	信濃国安曇郡保高村 穂高神社 氏子	穂高神社祠官 竹中勝徳外1人	二木昇平 妻 さく	木札	天保10年11月15日生
876	115	4	明治6・3・1	1873	信濃国安曇郡保高村 穂高神社 氏子	穂高神社祠官 竹中勝徳外1人	二木彦内 長男 二木昇平	木札	天保4年12月18日生
877	115	4	明治6・3・1	1873	信濃国安曇郡保高村 穂高神社 氏子	穂高神社祠官 竹中勝徳外1人	二木彦内 妻 まさ	木札	文化11年6月11日生
878	115	4	明治6・3・1	1873	信濃国安曇郡保高村 穂高神社 氏子	穂高神社祠官 竹中勝徳外1人	二木丈右エ門 長男 二木彦内	木札	文化11年3月1日生
1256	115	4	明治7・9	1874	免許状 (神風講社世話掛申付候事)	祭主大教正 三條西季知	等々力町村 二木昇平	紙	包紙に外3点在中、「神風講社世話掛御免許・二木昇平身分証印鑑票」の記載あり。
977	115	4	明治11・9・14	1878	月牌証状	信州善光寺 寺務取大本願上人 執事	二木昇平	紙	包紙に在中
1336	115	4	年代不詳	—	(戒名の控)			紙	折紙 元禄15年～嘉永5年迄の 記載

116 文化・教育 47点 (2)義務教育 22点 (3)高等教育 2点 (4)社会教育 4点 (6)文化財 3点 (7)文学・文芸 16点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
484	116	2	明治6	1873	学校諸件誌簿 (博業学校)	学校世話役 小川為一郎外4人		横半	学校要覧
1028	116	2	明治6	1873	学校元資金利子割			綴	開智・研成学校及び支校につき記載
485	116	2	明治6・5	1873	学校諸件誌簿 (博業学校)	学校世話役 小川為一郎外4人		横半	真龍院廃寺後の学校設立

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1105	116	2	明治6・5	1873	学校ニツキ諸事控入			袋	小袋のみ
1238	116	2	明治6・5	1873	(包) 学校諸帳面入	二木昇平控		包紙	包紙(裏打)のみ 研成并支校の関連
482	116	2	明治6・6	1873	学校庶件出納簿	二木家控		横半	
483	116	2	明治6・10	1873	金刀布出納簿 (学校世話役中)	二木控		横半	
1059	116	2	明治7	1874	断簡 (学校元資金・金銭受取)			紙	8枚同綴
453	116	2	明治7・5・ 26	1874	(研成学校開校訓示)	筑摩県	正副戸長 学校世話役	紙	
1104	116	2	明治7・5	1874	学校書出し入 (木品)			袋	小袋のみ
1099	116	2	明治9・5・ 8	1876	賞状 (学業成績優等により表彰)	筑摩県	穂高学校六級生徒 二木久太郎	紙	
487	116	2	明治16	1883	明治16年度協議費支出予算議案			罫紙	学校経費説明用控
489	116	2	明治16	1883	記 (開智学校・研成学校・支校元 資金)			綴	支援金の人別 惣計389円50銭
1110	116	2	明治	—	請取覚 (木材の運賃)	横沢茂八	等々力町	紙	穂高学校建築の木材
1111	116	2	明治	—	断簡 (学事における3項目の取決 め)			紙	
1293	116	2	明治	—	記 (33人内 男子19人・女子14人 と氏名)			紙	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1294	116	2	明治	—	御届申口上書 (欠席届の雛形)		研成学校幹事	紙	研成学校届出書
452	116	2	1月30日	—	学校元資金利子月々取立控 (研成学校外支校ノ分)			罫紙	
1108	116	2	5月30日	—	断簡 (穂高学校新設における世話役 出勤)	学校世話役 当番	柏原 右御村 御役人中	紙	
1195	116	2	戌9月	—	断簡 (三村の生徒数)			紙	「等々力町村・保高町 村・橋爪村 計83人」 と記載
457	116	2	年代不詳	—	記 (研成学校元資金利子3件)			紙	
1109	116	2	年代不詳	—	断簡 (順廻先休泊附)			紙	「池田町村、細萱村等 …」の記載あり。
486	116	3	明治5・2	1872	明治五壬申年二月松本開智学校 元資金割	学校世話役 林十太郎	筑摩県 権令 永山盛輝	綴	
488	116	3	明治33	1900	安曇中学設立位置選定調査書			罫紙	7枚
1392	116	4	明治18	1885	(慶長15年3月26日 家康公名 古屋坪割之時、各国の石高)			綴	No. 1391と同綴 罫紙1枚 明治18年以降の写
1159	116	4	明治22	1889	和歌詠草	月庵 (二木昇平)		冊子	
1342	116	4	明治35・12	1902	旧俗伝 矢原殿御代々仁科代々 記録并松本城主代々記録	信州南安曇郡東穂高 村 二木昇平		横帳	「後世の者は心得て取 扱べし」との後書あ り。
1158	116	4	明治39・1	1906	戦後読本 光栄の大国民 (全)			冊子	市川源三著 東京盛林堂発行

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
864	116	6	明治20・ 10・3	1887	(穂高嶽・穂高神社の二ノ池石碑までの道案内文)			紙	
1186	116	6	大正7・ 12・8	1918	成相組・長尾組・保高組 拾箇御新堰堀立目論見帳他貸出し覚書	郡史編集者 白沢よ志恵外3人		紙	郡史編纂の資料貸出し覚書
1390	116	6	昭和46・ 11・20	1971	書簡 (長野県史編纂の史料調査依頼)	長野県史刊行会	二木幹夫	状	調査工程表等封筒に在中
516	116	7	明治4	1871	四時慈百五十覚題			縦帳	No. 515と同綴
1393	116	7	明治4	1871	和歌詠草	二木将光		綴	No. 1391と同綴
517	116	7	明治4カ	1871	慈雑口詠草			縦帳	No. 515と同綴
515	116	7	明治4・10	1871	四時慈雑詠草 (短歌集)	二木宅満		縦帳	
950	116	7	明治4・11	1871	林由義大人文能写	二木彦内		縦帳	No. 949と同綴 裏表紙に「本家塩屋」と記載
522	116	7	明治10	1877	徒然詠草	二木宅満		縦帳	
1394	116	7	明治11・1	1878	和歌詠草双紙			綴	No. 1391と同綴
1391	116	7	明治18	1885	明治十八年一月十九日例年之通 宮中御歌会始			綴	No. 1394と同綴 罫紙4枚 御製歌の記録
1247	116	7	明治33・ 4・15	1900	(短歌八首)			紙	「大君のめぐみも深く 匂うなり 花にかすめる 小金井の里」他7首を 記載

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
521	116	7	明治	—	詠百覚歌	二木宅麻呂		縦帳	No. 515と同綴
523	116	7	明治	—	俳諧等 (橘屋治兵衛、板行の写し)			縦帳	
518	116	7	明治カ	—	陪放亀園大人願前詠寄花懐旧歌 詠草	宅満上		縦帳	No. 515と同綴
519	116	7	明治カ	—	(短歌・詠草)			縦帳	No. 515と同綴
520	116	7	明治カ	—	(短歌・詠草)			縦帳	No. 515と同綴
870	116	7	明治カ	—	詞の藝芥 (下)	和泉屋市兵衛 発行		冊子	詞の解説
1269	116	7	年代不詳	—	(包) 上 伊那県北原様短冊	泰口		包紙	包紙のみ

117 厚生・福祉 1点 (3)病氣 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1301	117	3	明治6・7	1873	記 (病状について)	二木彦内	二木昇平外1人	紙	

118 治安・国防 2点 (1)軍事 1点 (4)犯罪・事故 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1112	118	1	明治23・ 7・23	1890	徴兵令十七條ニヨリ兵役免御下 附	第一旅管徴兵署	二木甚十郎	紙	包紙に在中
1151	118	4	明治24・ 4・17	1891	和解ノ為メ相手人呼出願	申立人 二木久太郎 外1人	相手人 勝野清三郎 外8人	罫紙	4枚綴

119 観光 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1155	119		明治28・ 7・15	1895	鎌倉・江の島・金沢名所紫折	発売書肆 相模国藤沢大坂町 広文堂書店		冊子	4枚綴

120 民族・習俗 6点 (1)冠婚葬祭 1点 (2)年中行事 1点 (8)余暇生活 2点 (9)講 2点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1121	120	1	明治20・ 5・1	1887	虎竹腹帯祝ひ控			紙	
1273	120	2	明治	—	幟(端午の節句用)			その他	形態 布 小型・家紋入り
1259	120	8	明治	—	花道甲州御流 手拝登成	堯山公生花甲州御流 家元 聴松庵		冊子	
1278	120	8	年代不詳	—	西国紀行録	東穂高村 二木氏持用		冊子	
901	120	9	年代不詳	—	出納掛り御勤順			紙	No. 900~902迄同包 11月11日、12月1日・21 日等々力治外3人と宮織 掛り小川喜太郎外18人 を記載
902	120	9	年代不詳	—	神風講社中 (名簿)			紙	No. 900~902迄同包 井口平八外1人と役職60 人記載

122 絵図 1点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1324	122		年代不詳	—	(等々力町の番地・名前)			絵図	切図、青焼 700mm×580mm

123 その他 34点

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1268	123		明治7	1874	(包) 小菊 三			包紙	「男十四人 研成学校」等のメモ書あり。
1356	123		明治16・10・12	1883	書簡 (引越と老母の病気)	松山甚兵衛	塩屋昇平	状	包紙に在中
1348	123		明治16・12・14	1883	(封筒) 急要用	鳥羽甚兵衛	塩屋昇平	封筒	封筒のみ
1388	123		明治19	1886	書簡 (年末の礼状)	等々力藤十郎	二木昇平	状	封筒に在中
1387	123		明治19・4・11	1886	書簡 (訪問の礼状)	等々力藤十郎	二木昇平外1人	状	封筒に在中
1277	123		明治	—	(袋) □□喜□衛門の印			袋	袋のみ(265mm×180mm) 破損あり。
1365	123		明治	—	書簡	まつ山甚兵衛	塩屋昇平	状	
1385	123		明治	—	(書状の包紙)	池田より 糀屋嘉輔	保高町 塩屋武左衛門	包紙	包紙のみ 破損あり。
1389	123		明治	—	書簡 (老母の見舞)	等々力藤十郎	二木昇平	状	封筒に在中
1360	123		1月7日	—	書簡	まつ山甚兵衛	塩屋昇平	状	
1326	123		1月11日	—	書簡 (鳥羽氏老母の埋葬費用等借用 依頼)	石井忠兵衛	二木昇平外1人	状	2枚あり。
1209	123		3月10日	—	書簡	二木彦内	望月忠蔵	状	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1222	123		4月19日	—	書簡 (おばへの手紙)	中沢千鶴	二木者川音	罫紙	破損あり。 封筒に在中 (罫紙2枚)
1210	123		4月29日	—	書簡	望月拜	二木昇平	状	
1359	123		5月6日	—	書簡	犬飼馬吉	二木昇平	状	
1346	123		5月13日	—	書簡 (出勤願)		二木昇平	状	
1202	123		5月16日	—	書簡 (出頭の辞退)	社頭ヨリ	二木昇平	状	枢要を記載
1362	123		7月12日	—	書簡	□□□	二木彦兵様	状	封筒に在中
1353	123		7月16日	—	書簡 (乱筆にて…)	壺丁目	二木様 御方様御もとへ	状	包紙あり。
1225	123		7月20日	—	書簡	横内代右衛門	等々力町村 長百姓 彦兵衛	状	包紙2枚
1363	123		8月1日	—	書簡	蔦城	二木様	状	封筒に在中
1354	123		9月2日	—	書簡	壺丁目	彦様おもとへ	状	封筒に在中
1213	123		10月20日	—	書簡 (祭礼の招待)	池田町 山崎十枚拜	二木昇平	状	封筒に在中
1233	123		11月7日	—	書簡 (病気見舞・病状等)	石井忠兵衛	二木昇平	状	「至急用」と記載
1361	123		11月13日	—	書簡 (母訪問へのお礼)	まつ山甚兵衛	塩屋昇平	状	

史料番号	分類	枝番	年月日	西暦	史料名	出所	宛所	形態	備考
1223	123		7月	—	書簡 (内談)	岡村玄保	二木彦兵衛	状	
1355	123		8月	—	書簡	耆丁目方	彦様	状	封筒に在中
1234	123		年代不詳	—	書簡 (本人の病状について)	父 二木彦内	同姓由緒中	状	
1214	123		年代不詳	—	書簡 (親の病状)	二木昇平	二木久太郎 分家衆中	状	
1216	123		年代不詳	—	(ひらがなの練習文)			紙	
1217	123		年代不詳	—	(ひらがなの練習文)			紙	
1266	123		年代不詳	—	(包) 彦様 耆丁目		彦様	包紙	包紙のみ
1289	123		年代不詳	—	(紙袋)			袋	小袋(無地)のみ
1358	123		年代不詳	—	書簡 (松山氏老母の逝去)			状	下書カ

総点数 1401点